

あま市文化財保存活用地域計画 (案)

あま市

目次

序章	3
第1章 あま市の概要	11
第2章 あま市の文化財の概要と特徴	27
第3章 あま市の歴史文化の特性	39
第4章 文化財に関する既往の把握調査・取組	43
第5章 文化財の保存・活用に関する目標	54
第6章 文化財の保存・活用に関する課題と方針	56
第7章 文化財の保存・活用に関する措置	60
第8章 文化財保存活用区域	74
第9章 文化財の防災・防犯	81
第10章 文化財の保存・活用の推進体制	88
資料編	91

序章

1. 計画作成の背景と目的

あま市は、平成 22（2010）年に七宝町^{しっぽうちょう}、美和町^{みわちょう}、甚目寺町^{じもくじちょう}（以下旧 3 町）が合併し、誕生しました。令和 4（2022）年には第 2 次あま市総合計画を策定し、「ともに想い ともに創る ずっと大好きなまち“あま”」を将来像に掲げ、施策を推進しています。

しかし、全国的な人口減少、少子高齢化が進む中、あま市においても、令和 2（2020）年の国勢調査では総人口が減少傾向に転じ、令和 3 年 1 月時点の調査において、高齢化率が約 26 パーセントの超高齢社会となっています。

そのような社会情勢のもと、あま市では市内の各地域で守られてきた祭りなどの文化や風習の担い手、伝統産業などの継承者が不足するといった問題が起きています。また、都市整備などによりかつての自然や景観が失われつつあります。こうした状況で、旧 3 町及び合併後の「あま市」としての歴史文化を整理し、次世代に継承していくための措置を講じる必要があります。

「あま市文化財保存活用地域計画」は、市内に所在する文化財をはじめ、それを支える技術や祭りなどの人々の活動や、それらを取り巻く自然や景観などを含めた歴史文化を総合的に保存活用することを目指すものです。市民が歴史や文化を通じて郷土に誇りと愛着を持ち、魅力あるまちづくりを進めるための基本的な方針及び措置を示すことを目的として計画を作成します。

2. 計画期間

本計画は、あま市の最上位計画である「第 2 次あま市総合計画」の方針を反映させることから、第 2 次総合計画の計画開始後の令和 7（2025）年 4 月から計画を開始し、令和 17（2035）年 3 月までの 10 年間を計画期間とします。「第 2 次あま市総合計画」では、「ともに想い ともに創る ずっと大好きなまち“あま”」という将来像の実現に向け、「基本目標Ⅴ 施策 2①歴史・伝統」において、歴史文化に関する取組の方針が示されています。本計画では、総合計画で示された方針を基に、あま市の歴史文化に関する取組について方針や内容を定めます。

次期計画も、本計画同様に総合計画で示される方針を反映させることから、総合計画策定後に関連計画の方針なども踏まえつつ見直しを行います。

あま市文化財保存活用地域計画の計画期間

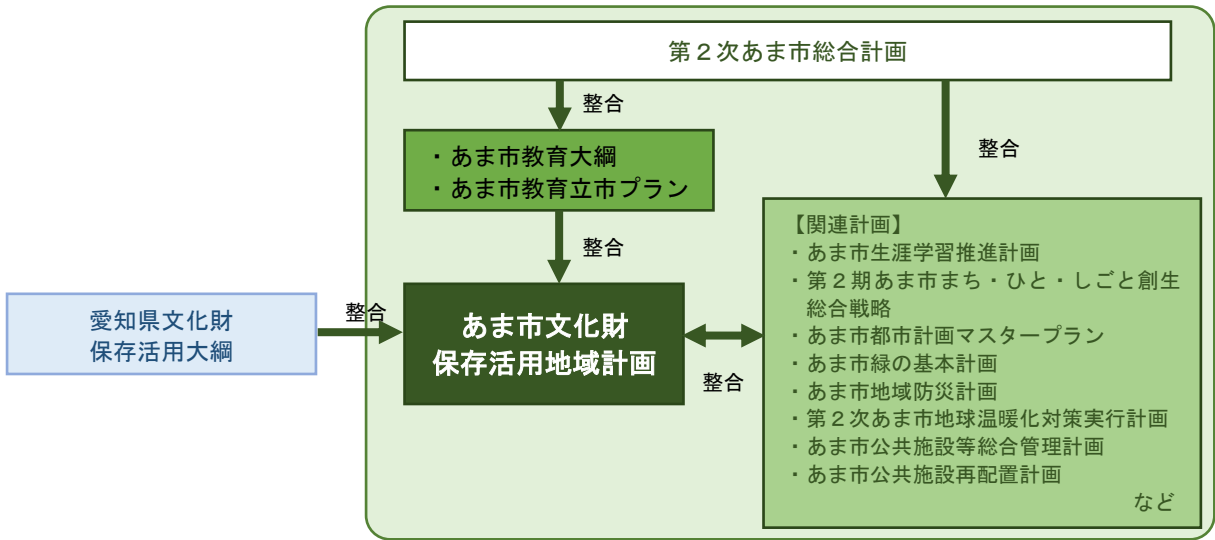
(年度)



3. 地域計画の位置づけ

(1) 全体的な位置づけ

本計画は、「第 2 次あま市総合計画」が示す市の将来像と方向性を踏まえ、上位計画、関連計画との整合や「愛知県文化財保存活用大綱^{たいこう}」との整合性を図りつつ、今後の市内の文化財の保存・活用に関する指針及び具体的な施策を定めるものです。



（２）上位・関連計画における位置づけ

本計画で掲げる取組について、上位計画、関連計画における位置づけを以下に整理します。

① 愛知県の計画

■ 愛知県文化財保存活用大綱 ■

愛知県は、文化財保護法第 183 条の 2 の規定に基づき、令和 2（2020）年 9 月に県内の文化財について保存・活用の基本的な方向性を示した「愛知県文化財保存活用大綱^{たいこう}」を策定しました。

大綱では、各地域に支えられてきた有形・無形の文化財と先端産業が補完し合い「豊かな生活」を支えるとともに「文化財を守り、伝え、活かし、人々の暮らしの中に歴史・文化と未来が共存する県」を将来像として掲げています。

県が講じる措置として、第Ⅱ章の中で「1 文化財の調査と指定」「2 文化財の修理、整備等への支援」「3 文化財の所有者等への支援」「4 人材の確保と育成」「5 保存と活用のための情報の発信」の 5 項目を挙げています。また、重点的な取組や市町村への支援、防犯・防災対策と緊急時の対応など、文化財に関する様々な場面での取組の方針を定めています。

② あま市の計画

■ 第 2 次あま市総合計画 ■

令和 4（2022）年 3 月に策定し、計画期間は令和 4（2022）年度から令和 13（2031）年度の 10 年間となっています。あま市の最上位計画である総合計画では、将来像を「ともに想い ともに創る ずっと大好きなまち“あま”」とし、多様性を認め合い（共^{きょうそう}想）、多様な主体が一緒になってまちづくり（共^{きょうそう}創）に取り組むこととしています。計画の「基本目標Ⅴ 施策 2 ①歴史・伝統」では、市内の文化財の把握や文化財の指定等を推進するほか、ボランティア団体や教育機関などと連携し、観光や教育現場での文化財の活用を図ることとしています。また、市内の様々な伝統行事の保存・伝承を支援するとともに、七宝焼などの伝統産業の伝承についても推進することとしています。その他、歴史文化に関わる情報の発信やイベントの充実、学校における郷土の歴史文化の学習などを推進することとしています。

■ あま市教育大綱 ■

令和 4（2022）年 3 月に策定し、計画期間は令和 4（2022）年度～令和 13（2031）年度となっています。大綱では、「ともに学び ともに育み ともに生きる“夢をもった人づくり”」を謳^{うた}い、「あま市の人づくり」として、3 つの人づくりを掲げています。その内の「地域の課題に取り組

むことができる人を育みます」は、行政の力だけでなく地域住民の力も併せてあま市の歴史文化を守り、継承していくという課題に取り組むことを推進し、また、歴史文化の保存活用のために主体的に活動できる人材の育成を推進することとしています。

■ あま市教育立市プラン「あまっ子」宣言 ■

令和4（2022）年3月に策定し、計画期間は令和4（2022）年度から令和8（2026）年度となっています。あま市教育大綱に掲げる「あま市の人づくり」を具体化し、教育に関する個別の施策を示したもので、計画の「施策5 共に考え、学び、楽しむ生涯学習社会を創る」において、文化財の保護や積極的な活用の促進に取り組むことを定めており、歴史民俗資料館を活用した郷土学習やあま市の歴史文化の保存と継承を促進することとしています。

■ あま市生涯学習推進計画 ■

令和4（2022）年3月に策定し、計画期間は令和4（2022）年度から令和13（2031）年度の10年間となっています。基本理念を「学びのスパイラル 学び・つながり・かかわって ー豊かな地域社会を目指してー」とし、3つの目標を定めています。その中の「目標 学び 指針①きっかけ（3）新たな地域資源の発見・発信」では、本地域計画を策定した上で、歴史文化を含む地域資源についての情報発信の充実に取り組むこととしています。また、「目標 かかわって 指針⑤発信」では、資料館・図書館での地域資源の掘り起こしや、歴史文化に関する調査結果の展示会、講座の充実などに取り組むこととしています。「目標 かかわって 指針⑥参画」では歴史文化を活用したまちづくりの人材育成や、伝統行事、郷土芸能を通し郷土への誇りや愛着を高めながら関わっていくことのできる交流活動の促進に取り組むこととしています。

■ 第2期あま市まち・ひと・しごと創生総合戦略 ■

令和3（2021）年3月に策定し、計画期間は令和3（2021）年度から令和7（2025）年度の5年間となっています。あま市の人口減少とまちの衰退を抑制するため、5つの基本目標を定め、様々な施策に取り組んでいます。その中の「基本目標3 子育て世代の希望をかなえるまちをつくる（イ）学校教育体制の整備」では、地産地消・各地の郷土料理を取り入れた学校給食の推進や「基本目標4 健康で安心に暮らせる、時代に合った魅力的なまちをつくる（イ）生きがい・活力を高めるまちづくり」では、シルバーカレッジ事業としてシニア層が歴史文化を含む地域活動で生かせるスキルの学習機会を提供することとしています。また、「（オ）郷土に誇りと愛

着が持てる、魅力あるまちづくり」では、あま市の地域資源を発掘し、磨き上げる取組を実施していくこととしています。

■ あま市都市計画マスタープラン ■

令和4（2022）年4月に策定し、計画期間は令和4（2022）年度から令和14（2032）年度となっています。都市の将来像として「“あまデカラ”により暮らしやすさや魅力を高める都市づくり」を掲げており、都市づくりの課題や都市の将来像を踏まえ7つのテーマを都市づくりの目標として定めています。目標の1つに「地域の商工観光により魅力を高める都市づくり」を定めており、七宝焼などの地域資源を活用した商工観光の交流拠点の整備や、市内の観光拠点をつなぐネットワークの形成などを目指しています。また、「環境と調和した都市づくり」では、緑の保全・活用や各地域の特性を活かした景観づくりなどに取り組むこととしています。

■ あま市緑の基本計画 ■

令和4（2022）年3月に策定し、計画期間は令和4（2022）年度から令和14（2032）年度となっています。緑の都市づくりの指針を定め、市内の緑に関する様々な取組を実施しています。都市計画に即し、将来像を「歴史と文化をささえ 地域と人をいかす 水と緑の都市づくり」と定め、多くの河川やその水辺の緑、広々とした農地の緑、多数ある寺社林など、あま市の特徴をより活かした水と緑の都市づくりを進めていくこととしています。

■ あま市地域防災計画 ■

災害対策基本法第42条の規定に基づき「風水害等災害対策計画」「地震・津波災害対策計画」「原子力災害対策計画」の3つの計画を地域防災計画として策定し、災害への対策を定めています。計画は令和6（2024）年2月に修正しており、市民などの生命、身体および財産を災害から守り、「災害に強いあま市」を実現するため、市や関係機関、市民および事業所が果たすべき責務と役割、計画、応急対策、災害復旧について定めています。「風水害等災害対策計画」の中で「文化財保護対策」として、防災思想の普及や管理者への指導、連絡・協力体制の確立、修理の実施や防火消防施設の設置などの措置を講ずるものとしています。また、「地震・津波災害対策計画」の中でも「文化財の保護」として重要文化財の耐震対策の措置を講ずることとしています。

■ 第2次あま市地球温暖化対策実行計画 ■

令和4（2022）年8月に策定し、計画期間は令和4（2022）年度から令和8（2026）年度となっています。世界規模で対策すべき地球温暖化対策について、温室効果ガスの排出量抑制を目指しています。その取組の中で、公共工事における環境負荷の低減として、緑化の推進や環境保全活動等の参加に取り組むこととしています。こうした環境保全の取組は、あま市内のメダカやモロコをはじめとした絶滅の恐れのある動植物の生態系の保護につながります。

■ あま市公共施設等総合管理計画 ■

平成29（2017）年3月に策定し、計画期間は平成29（2017）年度から令和48（2066）年度となっており、令和4（2022）年3月に改訂しています。市内すべての公共施設について、費用など中長期的な見込みを立て、更新・統廃合・長寿命化を実施する計画としてまとめています。七宝焼アートヴィレッジや歴史民俗資料館など、文化財に関連する施設の整備についてもそれぞれ方針を定めています。

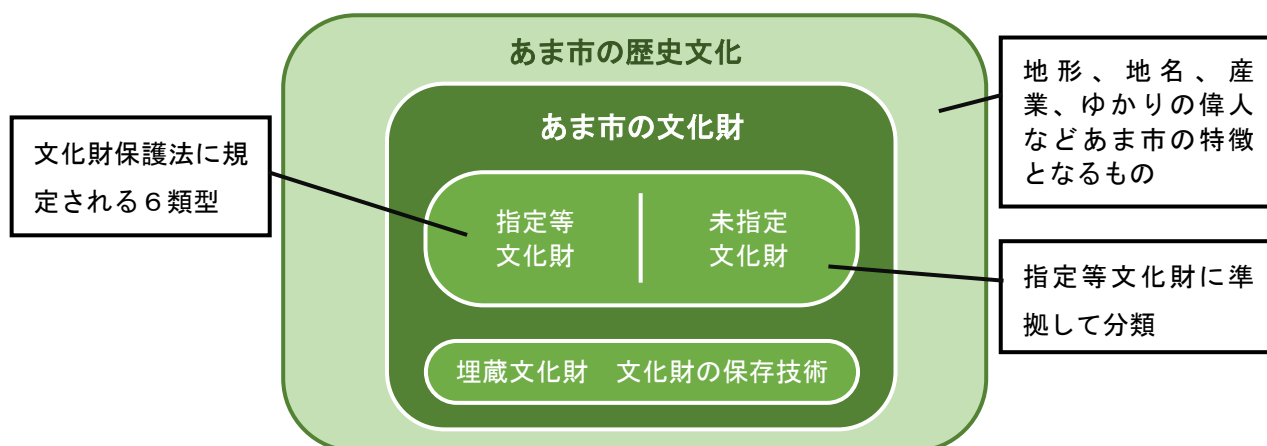
■ あま市公共施設再配置計画 ■

平成31（2019）年3月に策定し、計画期間は平成29（2017）年度から平成78（2066）年度となっており、5年から10年を目途に改訂を行います。市内公共施設について、「公共施設等の安全確保」「公共建造物の縮減」「コストの縮減」といった3つの視点を基本方針とし、七宝焼アートヴィレッジの建物の改修や、市内に複数ある歴史民俗資料館の統合などを検討することとしています。

4. 本計画における文化財の定義

本計画における文化財とは文化財保護法に規定される有形文化財、無形文化財、民俗文化財、記念物、文化的景観、伝統的建造物群の6類型、土地に埋蔵されている文化財（埋蔵文化財）や文化財を次世代へ継承する上で欠かせない文化財の材料制作・修理などの伝統的な保存技術（文化財の保存技術）のことを指します。市内に所在するこれらの指定文化財については、上記の6類型に従い分類しています。また、未指定文化財についても、指定文化財の類型に従い分類しており、以下の表で示す内容を文化財としています。その他、上記の6類型に当てはまらないものの、地形、地名、産業やゆかりのある偉人など、あま市の特性を形づくるものすべてをもって、あま市の歴史文化として定義します。

あま市の歴史文化と文化財の定義



本計画で扱う未指定文化財と区分の仕方

類型			
有形文化財	建造物		建物、門、塔、寺院、神社、宝篋印塔 ^{ほうきょういんとう}
	美術工芸品	絵画	仏画、人物画、風景画、書画
		彫刻	仏像、神像 ^{こまいぬ} 、狛犬 ^{ししがしら} 、仮面、獅子頭
		工芸品	七宝焼、刷毛、刀、鏡、梵鐘 ^{ぼんしょう} 、灯籠 ^{とうろう} 、鰐口 ^{わにぐち}
		書跡・典籍	書跡 ^{しょせき} 、経典 ^{きょうてん}
		古文書	古文書、土地台帳、地誌
		考古資料	土器、瓦
		歴史資料	地図、石碑、棟札 ^{むなふだ}
無形文化財			芸能、工芸・産業技術、食文化 ^{はいかい} 、俳諧
民俗文化財	有形の民俗文化財		神楽 ^{かぐら} 、祭礼道具
	無形の民俗文化財		祭礼行事、舞楽、歌謡、民謡、童謡、風習、年中行事、方言、伝説、風俗慣習、講
記念物	遺跡		集落跡、古墳、城跡、旧宅跡 ^{きゅうたくあと} 、寺院跡、神社跡、城館跡、古戦場、戦争遺跡、伝承地
	名勝地		庭園
	動物・植物・地質鉱物		動物、草花、樹木、地質
文化的景観			街道、用水路、人工池
埋蔵文化財			集落跡、古墳、城跡、旧宅跡、寺院跡、神社跡、城館跡、散布地 ^{さんぷち}

5. 計画の進捗管理と自己評価の方法

計画に位置づける事業を具体的に進めていくためには、文化財に関する専門家や関連団体と相談の上、助言を得たり連携しながら確実に進めていくことが必要です。そのため「あま市文化財保護審議会」にて定期的な事業の進捗確認と評価を行います。また、社会経済情勢の変化や上位・関連計画の見直しなどにより、計画内容に見直しの必要性が生じた場合には、柔軟に対応します。「計画期間の変更」、「市の区域内に存する文化財の保存に影響を及ぼすおそれのある変更」、「地域計画の実施に支障が生じるおそれのある変更」は、文化庁長官の変更の認定を受けます。それ以外の軽微な変更を行った場合は、その変更の内容について、愛知県及び文化庁へ情報提供します。

第1章 あま市の概要

1. 自然的・地理的環境

(1) 位置

あま市は、愛知県の西部に位置し、北に稲沢市^{いなざわ}、北東に清須市^{きよす}、東に名古屋市・大治町^{おおはる}、南西に津島市^{つしま}・蟹江町^{かにえ}、西に愛西市^{あいさい}と、5市2町に接しています。市域は東西 7.9km、南北 7.8km で、面積は 27.49 km²です。

名古屋市の中心部から公共交通機関で約 15 分という立地条件にあり、ベッドタウンとして発展してきました。田園風景と住宅地との調和がとれた緑豊かなまちを形成しています。



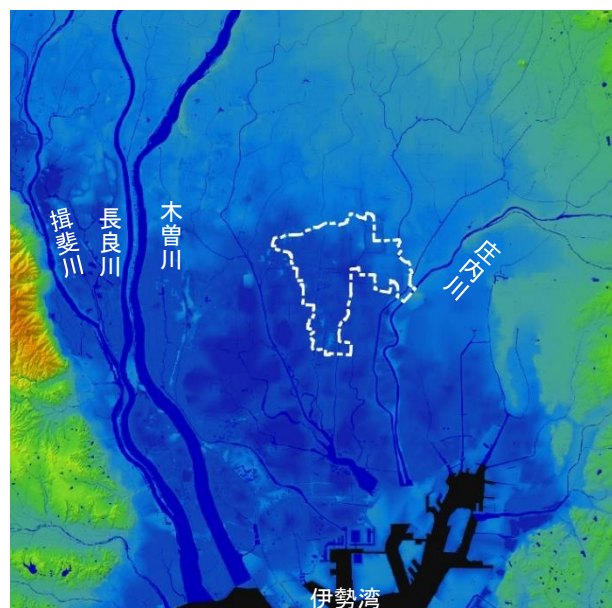
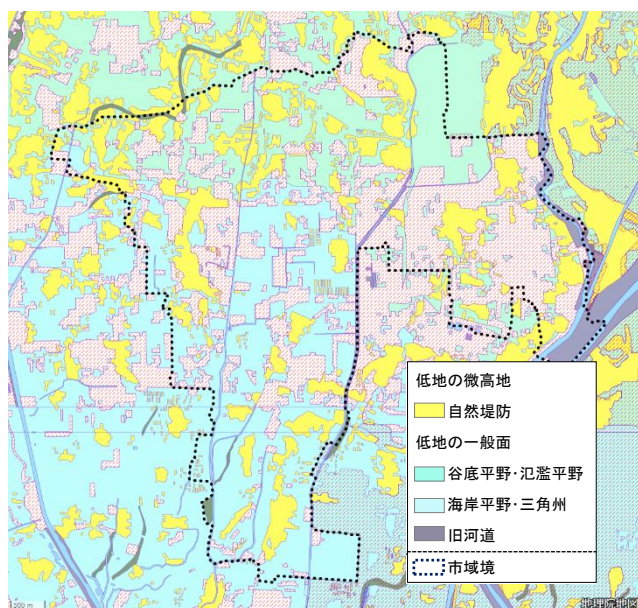
(2) 地区

あま市は、平成 22 (2010) 年に七宝町^{しっぽう}、美和町^{みわ}、甚目寺町^{じもくじ} (以下旧 3 町) の 3 町が合併し、県内 37 番目の市として誕生しました。旧 3 町はそれぞれ独自の歴史的特徴を有しているため、本計画でも地区の区分けをこの旧 3 町の区域に従って設定します。

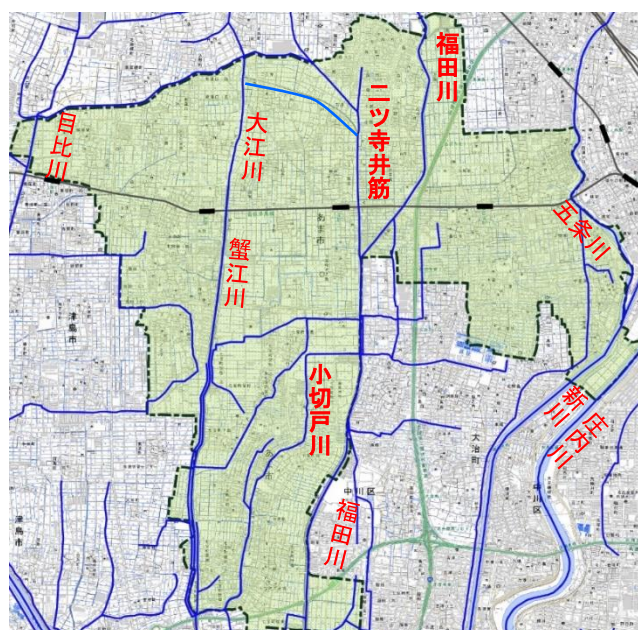


(3) 地形

あま市の地形は、ほぼ全域が標高1メートル未満の海拔ゼロメートル以下となっており、市全域が起伏のほとんどない平坦地です。木曽川水系や庄内川水系によって形成された沖積平野であり、上流（北）から下流（南）に向かって自然堤防、^{こうはいしっち} 後背湿地、^{さんかくす} 三角州という地形構成になっています。市内には^{しょうない} 庄内川、^{ごじょう} 五条川、^{しん} 新川、^{かにえ} 蟹江川、^{ふくだ} 福田川、^{こぎりど} 小切戸川、^{むくいがわ} 目比川といった複数の河川が流れています。



出典：国土地理院「土地の成り立ち・土地利用（数値地図 25000（土地条件））」
 国土地理院 デジタル標高地形図【愛知県】技術資料番号：D1-No.965



出典：国土数値情報 河川データ

(4) 気候

あま市の気候は、太平洋側気候のうち東海式気候に属し、一般に温暖で夏季は湿気が多く、冬季は「伊吹おろし」と呼ばれる北西の冷たい風が吹き、乾燥した快晴の日が多い気候です。平均気温は夏季 27℃前後、冬季 4℃前後であり、平均年間降雨量は 1,600 ミリ程度です。

月別平均気温推移

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年平均(℃)
平成 24 年 (2012 年)	3.6	3.4	7.5	13.5	18.4	21.7	26.6	28.0	25.2	18.4	10.8	4.8	15.2
平成 27 年 (2015 年)	4.9	5.3	9.3	14.9	21.0	22.2	26.6	27.9	22.8	17.9	14.0	9.2	16.3
平成 30 年 (2018 年)	3.7	4.5	10.6	16.2	19.6	23.3	29.2	29.4	23.5	18.7	13.7	7.8	16.7
令和 3 年 (2021 年)	5.9	8.2	12.5	15.6	19.7	23.5	27.5	27.7	23.9	19.8	12.8	7.3	17.0

出典：あま市「海部東部消防組合消防本部」

月別平均降水量推移

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年総量(mm)
平成 24 年 (2012 年)	33.0	103.0	137.5	174.0	67.5	231.0	191.0	74.5	266.5	105.0	70.5	29.0	1,482.50
平成 27 年 (2015 年)	98.5	27.0	126.0	113.5	108.5	216.5	216	341.0	257.0	49.5	135	99.5	1,788.00
平成 30 年 (2018 年)	46.0	16.0	169.0	191.0	227	185.5	184.5	62.5	297.5	19.5	37.5	51.0	1,487.00
令和 3 年 (2021 年)	60.0	39.5	186.0	184.5	187.5	139.0	258.0	342.0	247.5	45.5	57.5	88.5	1,835.50

出典：あま市「海部東部消防組合消防本部」

(5) 植生

あま市における植生として、まずは水田とその周囲における水田雑草群落及び水路の畔に自生する水生植物群落、そして堤防などの草地群落などがあります。これらはいずれも人為的で水田耕作に影響を受けた植生であり、寺社林と同様に、人為的に維持管理されてきた植生といえます。



▲ 蓮華寺寺叢

また、手つかずの自然とは言えませんが、市北西部に位置する蓮華寺寺叢は、尾張平野の自然植生を知るうえで貴重な自然林とされ愛知県自然環境保全地域の第一号になっています。ここには高木のシラカシ、イチイガシ、クロガネモチをはじめ、中木のヤブツバキ、モチノキ、低木ではヤブニッケイ、ヒサカキといった主として常緑広葉樹が繁茂しており、かつてこの寺叢は尾張平野に自生する樹木の縮図であるとも言われました。

(6) 動物

市内に生息する生物については、周辺の市町と変わりはなく、市内に特有の生物は生息していません。宅地開発による田畑や空き地の減少は、生物の生息域を狭め、その数を確実に減らしてきました。例えばキツネやキジなど、あま市には馴染み深い生物も、現在はごく限られた場所でしか確認はできていません。タヌキやイタチといった比較的、人の生活に入り込みやすい動物



▲ タヌキ

でさえ、目撃するのも珍しい状況です。また市内を流れる水路には、ミシシippアカミミガメが甲羅干しをする光景が一般化し、市内にはライギョの釣り場として有名な水路がいくつもあるように、すぐに目にできる生物は外来種になりつつあります。

また、ここ数年、市の北部を中心に、稲ではなく麦の栽培に取り組む地区が増えています。かつての水田に水が入ることはなく、青々とした麦畑があたり一面に広がっており、水田に起因する生物、とりわけカエルなどが生息できず、それを餌とする鳥類も見ることが少なくなりました。市内に生息する生物の数は、将来的には減少する傾向にあるとも言えるでしょう。

(7) 災害史

あま市に甚大なる被害をもたらした台風あるいは地震などで、主に明治期以降、記録に残された自然災害には次のようなものがあります。

①水害

和暦	西暦	被害状況
享和元年	1801 年	大雨による排水問題により市内を東西に通る津島街道を挟んで北の8か村と南の5か村が争う。
慶応4年5月	1868 年	入鹿池（犬山市）の決壊により、上萱津に大水が流れ込み、多数の流木とともに遺体も流れ着き、地区の墓地に無縁仏として葬られた。七宝地区も同様に水が押し寄せた記録があり、その影響で農作物への被害が甚大であったという。
明治29年 8～10月	1896 年	大雨が降り続き、暴風雨による洪水を引き起こした。七宝地区の下田内、蟹江川の東堤防で決壊があり、稲作は壊滅的な被害を受けた。
大正元年9月	1912 年	暴風雨により七宝地区の下田内で蟹江川の西堤防が決壊した。

和暦	西暦	被害状況
大正 10 年 9 月	1921 年	6 月～7 月に雨天が多く、田面が海 ^{でんめん} のようになる状況が続いた。9 月の暴風雨により蟹江川の堤防が 4 か所決壊した。特に七宝地区の鷹居 ^{たかい} 内の西堤防は 50 メートルほどが崩れ、その復旧工事に難航した。
昭和 29 年 8 月	1954 年	台風 5 号、大雨により稲が冠水し、明治 29 年以来の不作となった。
昭和 34 年 8 月	1959 年	集中豪雨により七宝地区の鯰橋 ^{なまずばし} 内、小切戸川 ^{こぎりど} の東堤防が決壊した。
昭和 34 年 9 月	1959 年	伊勢湾台風。最大風速 75m/s の超大型台風。風速、高潮ともに名古屋気象台開設以来の最高を記録した。あま市においても風が最も強かったのは、夜の 8 時から 2 時間半ほどで、北部一帯は強風による家屋及び寺社叢 ^{じしゃそう} などが倒壊した。福田川、小切戸川 ^{こぎりど} 、蟹江川に挟まれた南部地区は、各河川の堤防決壊による浸水被害があり、その水が引くの ^い に 1 か月以上を要した。
昭和 36 年 6 月	1961 年	台風 6 号、集中豪雨により美和地区の蜂須賀 ^{はちすか} 内、目比川 ^{むくい} が氾濫した。また七宝地区の鯰橋 ^{なまずばし} 地内、小切戸川が決壊し同地区は 3～4 日 ^{たんすい} 湛水した。
昭和 46 年 9 月	1971 年	台風 13 号、七宝地区の下田 ^{しもだ} 内にて蟹江川の東堤防が決壊した。
昭和 47 年 9 月	1972 年	台風 20 号、七宝地区の川部 ^{かわべ} 内にて蟹江川の東堤防が決壊した。
昭和 49 年 7 月	1974 年	集中豪雨により下田内、蟹江川の西堤防が決壊し、家屋床下浸水 494 戸の被害を出した。
昭和 51 年 9 月	1976 年	台風 17 号、集中豪雨により目比川が決壊し蜂須賀 ^{はなぎ} 花木地内で浸水した。
平成 12 年 9 月	2000 年	東海豪雨。台風 14 号、東海地方に停滞していた前線に暖かく湿った空気が流れ込み大雨となり、名古屋市西部に大きな被害をもたらした。市では福田川及び新川 ^{しん} の増水により排水機能が低下し、その周辺地域で浸水被害が発生し、災害救助法が適用された。

②地震

和暦	西暦	被害状況
天正 13 年	1586 年	天正地震。沿岸部で 2 から 4 m の津波が発生した。「尾州鳳凰山 びしゅうほうおうざん 甚目寺 略 縁起」には同地震で甚目寺の諸堂が倒壊した記録が残されている。
明治 24 年	1891 年	濃尾地震。被害は県の地震災害史上最大という。市内の被害状況を見ると、約半数以上の家屋が倒壊、あるいはそれに近い状況であった。美和地区二ツ寺 ふたつでら の記録には人々は藪 やぶ の中に蚊帳 かや を吊って仮住まいし、絶え間なく揺れる余震で歩くことも困難であったと記録されており、10 月末に発生した本震から余震は翌年 1 月下旬まで続いたとある。蜂須賀にある蓮華寺 れんげじ の諸堂も仁王門 におうもん を残し、全て倒壊したという。
昭和 19 年	1944 年	東南海地震。建具や納屋などが倒壊した。これ以降、地盤沈下が目立つようになったという。

(8) 戦災

太平洋戦争中の昭和 19 (1944) 年、あま市北東部、現在の清須市、稲沢市にまたがる土地に、名古屋市街地防空のために陸軍の飛行場が建設されました。その建設に際しては、地元民はもとより津島中学（現在の県立津島高校）等の生徒など、多くの人々が作業に従事させられました。軍事施設であるこの飛行場も、当然アメリカ軍による攻撃を受けていますが、幸いにも周辺住民への被害はありませんでした。この飛行場は終戦後、地元民の強い要望により農地に戻されました。

また、名古屋市街地への空襲が激化する昭和 20 年 3 月には美和地区の木田しょういだんに焼夷弾が落とされ 22 軒が全焼しました。同様に、七宝地区あきたけの秋竹、伊福いふくにおいても焼夷弾による被害がありました。



▲ 市北東部に築かれた飛行場

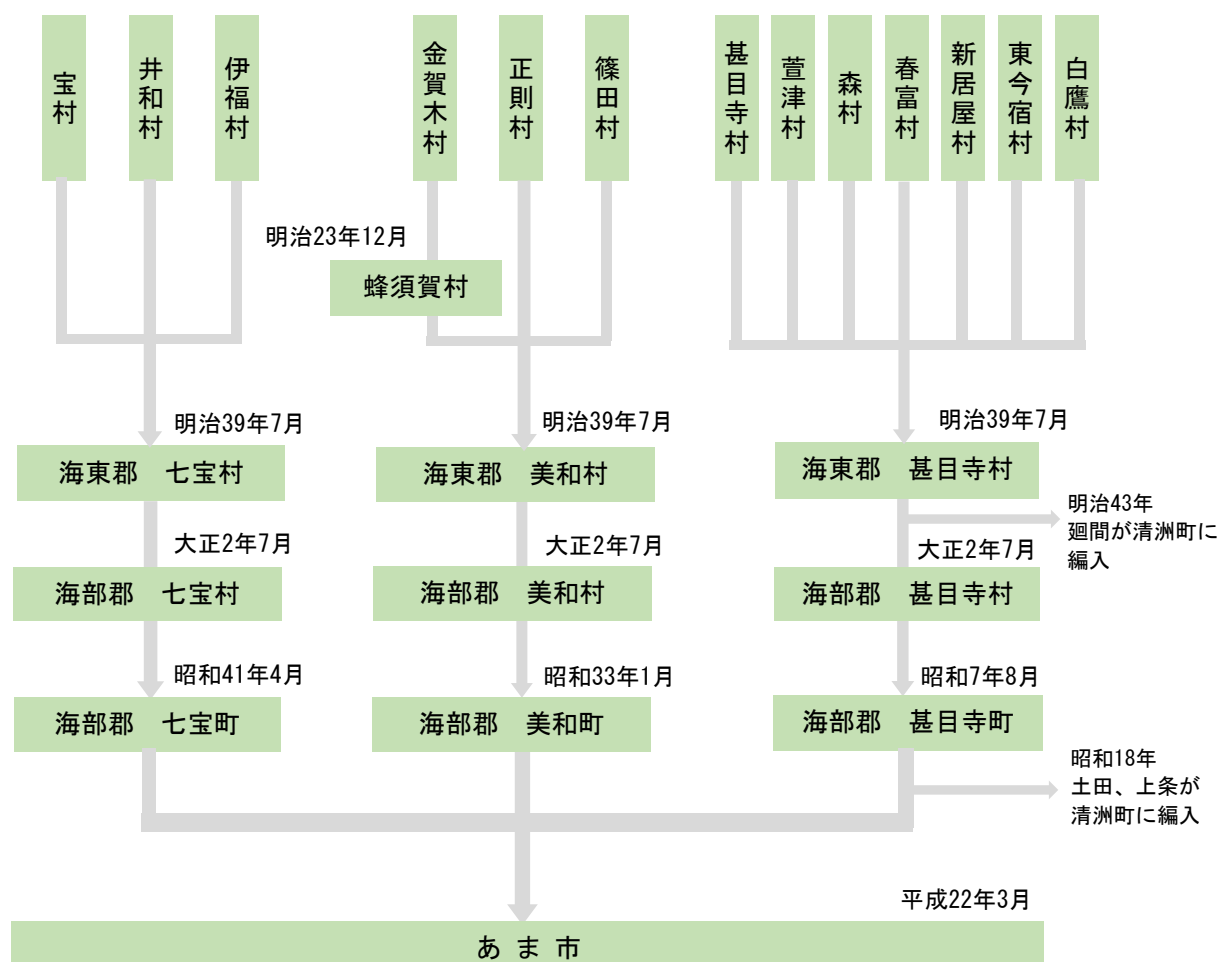
2. 社会的状況

(1) 市の変遷

明治 39（1906）年に行われた大合併により、^{かいとうぐん}海東郡の村として七宝村、美和村、甚目寺村が誕生しました。その後、大正 2（1913）年に海東郡と^{かいさい}海西郡が合併して^{あま}海部郡になり、昭和 41（1966）年までには、それぞれ町制が施行され、甚目寺町（昭和 7 年）、美和町（昭和 33 年）、七宝町（昭和 41 年）となりました。

その後、平成の大合併が全国各地で進む中、^{あまとうぶ}海部東部地域においても平成 14（2002）年から市町村合併についての議論が進み、平成 22（2010）年 3 月 22 日に七宝町、美和町及び甚目寺町の 3 町が合併し、あま市は、県内で 37 番目の市として誕生しました。

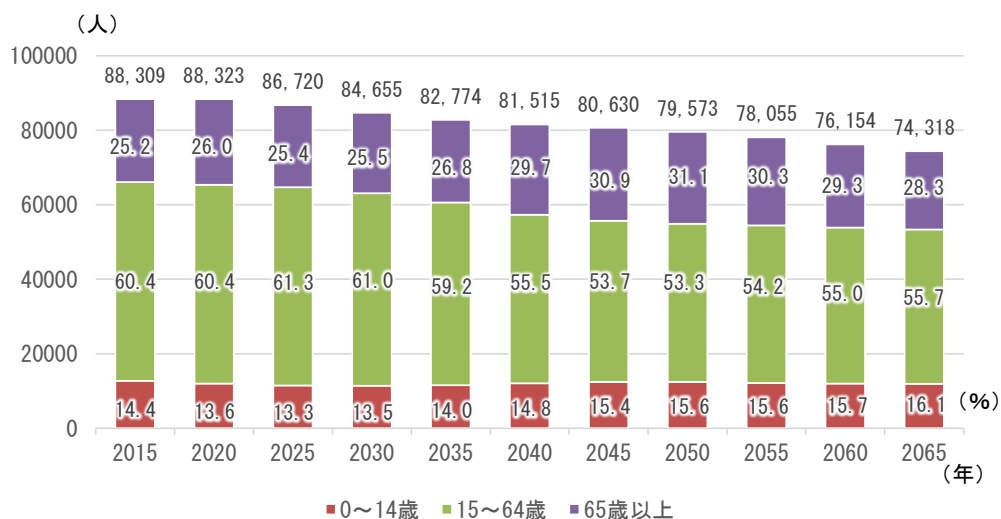
あま市の沿革



（２）人口

あま市の人口はこれまで増加傾向にありましたが、あま市人口ビジョンでは、令和 2（2020）年にピークを迎え、以降は緩やかに減少傾向が継続すると推計しています。

あま市の将来人口と構成比の見通し



参考：あま市「人口ビジョン」のデータを基に作成

（３）土地利用状況

土地利用区分として、「住宅地」、「駅前商業地」、「住商共存地」、「沿道複合利用地」、「工業地」、「住居系土地利用誘導候補地」、「既存工業地・産業誘導候補地・産業誘導ゾーン」、「沿道サービスゾーン」、「自然環境・レクリエーション地」、「農地・集落地」、「農地・集落地（駅周辺、主要な幹線道路沿道等）」を設定し、土地利用を図っています。

また、土地利用施策（市街化区域拡大の検討を含む）を重点化するエリアとして、「街なか居住拠点」や「防災・交流拠点」を設定し、土地利用を図っています。

参考：あま市都市計画マスタープラン

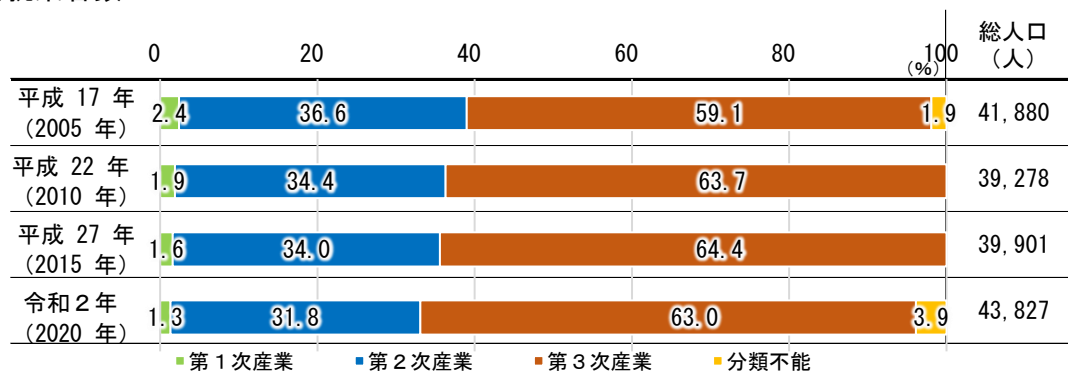
（４）産業

あま市では、販売業を含む第 3 次産業の従事者が最も多く、平成 17（2005）年からの推移をみると、増加傾向にあり、令和 2（2020）年には 63.0%となっています。一方で農業を含む第 1 次産業や製造業を含む第 2 次産業はともに減少傾向で、令和 2（2020）年では第 1 次産業が 1.3%、第 2 次産業が 31.8%となっています。

あま市の伝統的な産業としては、伝統的工芸品として国から指定されている尾張七宝や刷毛の

生産が挙げられます。これらの産業は、七宝地区や甚目寺地区で町の生業として盛んに行われていましたが、需要の低下による市場の縮小や後継者不足により現在は生産が減少しています。

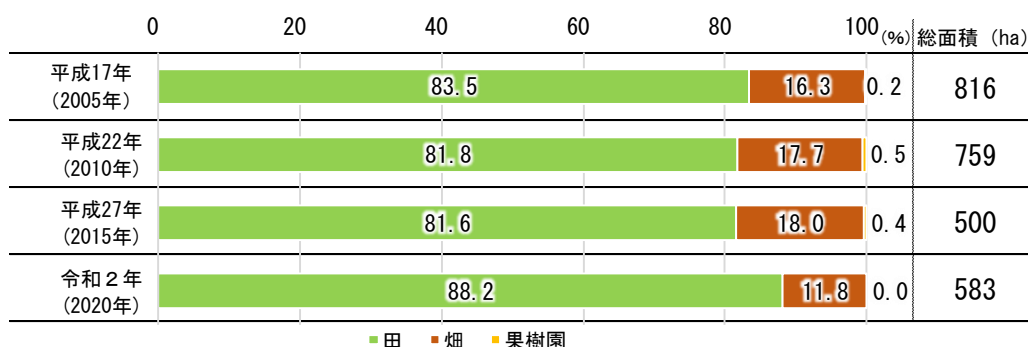
産業別就業者数



出典：国勢調査（令和 2 年）

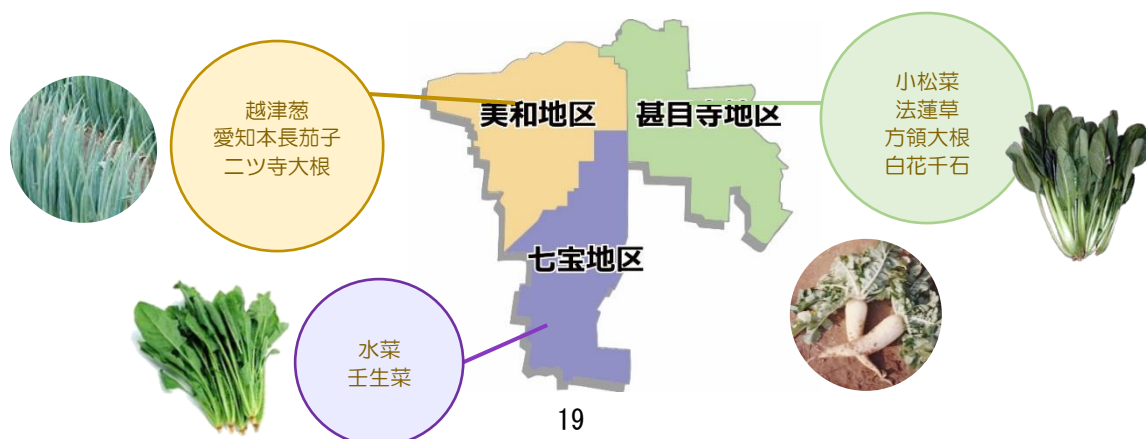
経営耕地面積は田が最も多い状況ですが、畑などを含めた総面積は、平成 17（2005）年から令和 2（2020）年の推移をみると約 3 割減少しています。

経営耕地面積



出典：あま市の統計

あま市の特産品としては、小松菜や法蓮草、水菜、壬生菜などが挙げられます。その他、伝統野菜として、越津葱、方領大根、愛知本長茄子、二ツ寺大根、白花千石などを古くから生産してきました。しかし、近年後継者不足などから生産は減少しています。



（５）交通

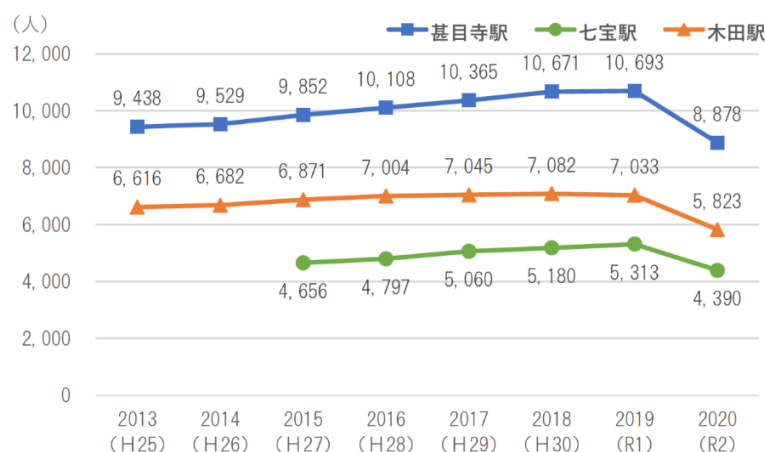
市内には、鎌倉街道や津島街道、^{さや}佐屋街道が通っており、古くから人々の往来で賑わっていたことが伺えます。これらの街道は今も残されており、街道沿いには寺社が多く所在し、部分的に昔のまちなみを伺うことができます。

現在では、主に東西方向にあま^{あいさい}愛西線、名古屋津島線、津島七宝名古屋線、名古屋蟹江弥富線が通り、南北方向には、国道 302 号、一宮蟹江線が通っています。その他、国道 302 号と並行して市内を名古屋第 2 環状自動車道が通り、名古屋の周辺市町村をつないでいます。このため、自動車による都市部や他市町村への往来は非常に利便性が高く、現在も国道 302 号など一部の道路では交通量が極めて多くなっています。また、あま市の特徴ともいえる古くからの住宅街の^{きょうあい}狭隘な路地や農道なども市民が生活道路として利用しています。

鉄道は、名古屋鉄道津島線が東西に横断しており、市域には、甚目寺駅、七宝駅、木田駅の 3 駅があり、名古屋駅まで約 15 分でアクセス可能な好立地と言えます。これらの 3 駅の乗降客数は、令和 2 年（2020）年はコロナ禍の影響で減少しておりますが、それ以前は増加傾向にありました。

また、市内の交通を補完する公共交通として、巡回バスが市内各地を連絡しています。市域南部では名鉄バス及び名古屋市営バスが、名古屋市への交通手段として活用されています。

名古屋鉄道津島線 3 駅（甚目寺駅、七宝駅、木田駅）の乗降者数の推移



出典：あま市資料

（６）文化財など関連施設

■ 七宝焼アートヴィレッジ ■

「おわりしつぽう尾張七宝」として伝統的工芸品の指定を受け、人々に親しまれてきた「七宝焼」について、見て・触れて・学んで・体験することができる総合施設です。あま市の「七宝焼」についての普及、情報発信の拠点として、体験学習や作品の展示、販売などを行っています。



令和元（2019）年度には、入館者数が 12 万人を超えましたが、翌年度以降は、コロナ禍の影響で約半分になっています。しかし、令和 3（2021）年度以降、入館者数は回復傾向にあります。

■ 美和歴史民俗資料館 ■

あま市の昔の人々の暮らしを知ることができる農具・民具といった民俗資料の展示や美和地区で出土した弥生時代以降の考古資料、あま市の歴史文化の紹介を行っています。

また、季節ごとの企画展として、あま市出身の戦国武将らの肖像画や浮世絵などの展示、文化財に関する各種講座を行っています。



入館者数は、毎年度 6,000 人ほどありますが、コロナ禍の影響などで令和 2（2020）年度に約 3,600 人まで減少しました。その後、令和 3（2021）年度には 5,700 人まで増加しています。

■ 甚目寺歴史民俗資料館 ■

甚目寺地区で実施された発掘調査による考古資料や室町時代の甚目寺を復元したジオラマ、普段見ることのできない国の重要文化財である絹本著色けんぽんちゃくしよくぶつねはんず仏涅槃図の複製など、甚目寺に関する資料のほか、農具・民具などの人々の暮らしの道具、伝統的な祭礼や伝統芸能にまつわる資料などを展示しています。また、甚目寺資料館でも、季節ごとの企画展を開催しています。



入館者数は、コロナ禍前までは毎年度増加し、平成 30（2018）年度には約 2,400 人となりましたが、コロナ禍の影響などで令和 2（2020）年度に約 1,600 人まで減少しました。令和 3（2021）年度は 1,800 人とやや増加しています。

■ 人権ふれあいセンター ■

あま市における人権啓発の発信拠点であり、近隣地区のコミュニティセンターとしての役割も担っています。1階のロビーには、甚目寺地区出身の医師でハンセン病患者の人間回復に生涯を捧げた小笠原 登 博士（1888～1970）の功績や遺品が展示されています。令和4年度の入館者数は9,420名でした。



（7）食文化

あま市の食文化は、その多くが尾張地方に共通したものでありあま市独自のものはありません。昔より自家で生産されてきた^{そさい}蔬菜はもとより、川で捕れる魚などは貴重なたんぱく源でした。かつては7月中下旬の水落としの^{みずおと}際に捕れるモロコを押し寿司にするとともに、小ブナ（ハエあるいはシンバエとも呼んだ）もモロコ同様、押し寿司にして食べました。また稲の刈上げ後に行う用水のカイドリではナマズやコイ、フナなどがたくさん捕れ、コイやフナは味噌煮に、ナマズは^{かぼやき}蒲焼として食されました。

戦後まで、どこの家でもニワトリを飼っており、卵や鶏肉は食されていましたが、鶏肉は特別な日、あるいは大晦日の^{おおみそか}晩に食す「ひきずり鍋（^{なべ}ネギと鶏肉のすき焼き）」でしか口にすることはできませんでした。



▲ もろこずし



▲ ふな味噌



▲ ひきずり鍋を食す様子

出典：農林水産省 Web サイト (https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/k_ryouri/index.html)

3. 歴史的背景

あま市は、濃尾平野の中央、愛知県の西部に位置し、名古屋市に隣接する人口 88,457 人（R6.5.1 現在）のまちです。市内のほぼ全域が海拔ゼロメートルであり、市域の約半分が今なお農地であるように、古くから木曾川の水と肥沃な土壌に支えられながら、農業を中心に栄えつつ、人々はこの地で連綿と歴史文化を育んできました。

（１）あま市のはじまり

あま市では、河川により形成された自然堤防と後背湿地上に弥生時代以降の遺跡が発見されていることから、弥生時代には市域内に人が住み始めていたと言えます。弥生時代中期から後期の集落跡である阿弥陀寺遺跡や森南遺跡では、住居跡や大量の土器が発見されており、特に阿弥陀寺遺跡は集落域が東西 450m、南北 330m に広がり、環濠をもつ集落であったこともわかっています。

ムラの有力者が成長し、大規模な前方後円墳が築かれるようになった古墳時代に、近畿地方を中心とするヤマト政権により国土の統一が図られたと考えられています。あま市北部の二ツ寺には二ツ寺神明社古墳が築かれており、海拔ゼロメートル地帯であるこの地にも、有力者が存在したことがうかがい知れます。

律令制度が整備された飛鳥から平安時代、市域内には尾張国の 8 郡のうち海部郡がおかれしました。各地の豪族は律令国家体制に組み込まれることになり、時を同じくして古墳造営に替わって造寺活動が活発に行われています。市域では北方から南方へ人々の生活範囲が広がっていき、甚目寺遺跡・法性寺跡・清林寺遺跡や篠田廃寺といった古代寺院が白鳳時代から奈良時代に築されました。甚目寺町という名前の由来となった甚目寺は、「文永甚目寺縁起」によると推古 5（597）年に、伊勢国甚目村の漁師甚目龍麻呂が海中から引き揚げた聖観音像を草庵に祀ったことがはじまりとされています。平成 2（1990）年から 4（1992）年に行われた発掘調査では白鳳時代の軒丸瓦などが出土しており、少なくとも白鳳時代には伽藍を配した寺院として発展していたと考えられます。



▲ 甚目寺遺跡発掘調査



▲ 単弁蓮華文軒丸瓦

（２）中世のあま市

武家政権による統治が行われ始めた12世紀末、源頼朝が鎌倉に幕府を開くと、各地から鎌倉へ続く街道が整備され、多くの人々や物資が行き交うようになりました。鎌倉街道と称されたこの街道は、あま市の東端にある甚目寺地区の萱津^{かやづ}を南北に貫いており、江戸時代初期に美濃路^{みのじ}が整備されるまでは、陸上交通の要所として繁栄していたと思われます。『吾妻鏡』や『海道記』などにもその記録を残しており、少なくとも4人の鎌倉幕府の将軍が萱津に宿泊するなど、宿場町として大いに発展していたことがわかります。

弘安6（1283）年、鎌倉仏教の1つである時宗^{じしゅう}の開祖、一遍上人^{いつぺんしょうにん}は東国から京に戻る帰路、甚目寺にとどまり「七日乃行法^{なのかのぎょうほう}」を行う途中、食糧が無くなり困窮します。しかし、萱津宿の富豪らの協力を得て無事に行法を終えることができたといえます。国宝である「一遍聖絵^{ひじりえ}」にはそのときの甚目寺伽藍^{がらん}と境内に食糧を満たした御櫃^{おひつ}が並べられる様子が描かれており、当時の萱津の繁栄ぶりを物語っています。

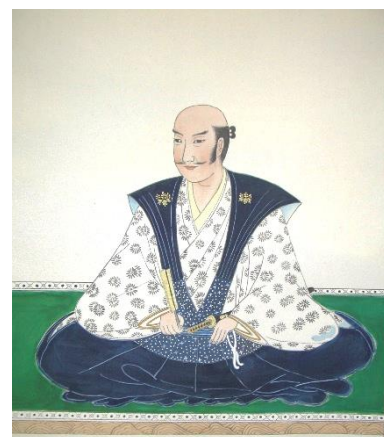
（３）近世のあま市

あま市には豊臣秀吉配下で活躍した武将を複数輩出しており、その天下統一の支えとなって活躍した将もいます。蜂須賀正勝と実子^{いえまさ}の家政、福島正則^{ふくしままさのり}があげられます。徳島城主となった蜂須賀家は、先祖の地である蜂須賀の地を大切にし、こと菩提寺である蓮華寺には他国の領主であるにも関わらず寺領を差配するよう尾張の領主に依頼しています。また福島正則も清洲城主となった際、地元の二ツ寺の神明社社殿を修築するなど、故郷の恩に報いています。

江戸時代には、東海道の迂回路^{うかい}であり市内を東西に走る津島街道・佐屋街道^{さや}が整備され、人や物資の往来も激しくなりました。津島街道沿いにある甚目寺は尾張三十三観音と尾張四観音^{おわりしかんのん}の一番霊場（札所）として全国的にも有名で、多くの参拝者が訪れました。また、国学者本居宣長の門人である木田村（現在の美和地区内）の大館高門^{おおだちかかど}は、自宅を解放して細井平洲^{ほそいへいしゅう}を招き講演会を開催するなど、地域の文化発展に寄与する者もあらわれました。



▲ 蜂須賀正勝公肖像模写



▲ 福島正則公肖像模写

その一方、江戸時代を生きた多くの庶民は、^{みやたようすい}宮田用水など水を得やすい地形に恵まれ、開墾をすすめる田畑を切り広げていきましたが、低地ゆえ排水に苦しみ南北の村々で争いが生じました。また、風水害による被害も受けやすく、あま市の歴史文化を語る上では、水との闘いを切り離すことができません。

(4) 近代のあま市

江戸時代の終わりに、七宝地区遠島の林庄五郎^{はやししょうごろう}が梶^{かじ}常吉^{つねきち}より七宝製造の技術を学び、他言無用の教えに反しながらもその技術を広めたことにより、七宝焼は七宝地区^{とおしま}遠島の産業として発展しました。同様に大正時代には甚目寺地区^{にしいまじゅく}の西今宿^{やまぎまささぶろう}の山崎政三郎^{はまけ}が大阪で刷毛製造技術を学び、それを地域に広め刷毛製造業は西今宿を中心に発展しました。

こうした米作以外で収入を得ようとする動きは各地域でも活発になりますが、あま市の特色のひとつとして、市内各所で^{そさい}蔬菜の品種改良を進め「石作茄子^{いしづくりなす}」、「萱津白蕪^{かやづしろかぶ}」、「^{ふたつでらだいこん}二ツ寺大根」といった地区名を冠した^{そさい}蔬菜を生産、販売したことです。それは今も市西部の美和地区^{はちすか}蜂須賀、^{たんば}丹波、^{なかはし}中橋などは、地域の土壌にあった蔬菜栽培を促進させ同地の「越津葱^{こしづねぎ}」は、今なお盛んに栽培、出荷されています。市南部の七宝地区の伊福^{いふく}周辺では明治の頃から昭和初期まで^{むしろ}蓆・^{なわせいぞう}縄製造など^{わらざいく}藁細工が副業として行われましたが、今ではそのことを知る術もありません。

昭和に入ると甚目寺村（現在の甚目寺地区）では副業組合を結成し各種蔬菜の種を「特産種^{しゅひょう}苗」として日本全国に販売し、あま市の蔬菜が全国に広く知れ渡るきっかけを作りました。こうした先人たちの努力と創意工夫のうえに、今の私たちの生活が築かれていることが理解できます。



▲ 七宝焼制作の様子



▲ 刷毛制作の様子



▲ ネギの出荷風景

（５）あま市の誕生とさらなる発展

このようにあま市は、絶え間ない歴史の変遷のなかで、多種多様な文化財が表出し、多くは今も「地区の宝」として受け継がれています。こうした文化財の本質を正しく伝え、文化的価値の理解を促し、後世に伝え残すべき共通の財産であることを一人でも多くの市民と共有することこそ、今を生きる私たちが担うべき重要な役割と言えるでしょう。

しかし、市内の文化財を取り巻く現状は必ずしも十分とは言えない状況にあります。とりわけ本来、多くの市民にとって身近な文化財である民俗文化財や、寺社などに伝わる美術工芸品などの把握と調査研究は十分ではありません。今後、あま市総がかりによる文化財の保存と活用を考えていく上では、各文化財類型を網羅したバランスの取れた把握や調査研究が望まれます。またあま市の人口は、人口減へと転換しており、今後も高齢化の進行が予想されています。少子高齢化による地域コミュニティの希薄化や活力の低下は、文化財継承の担い手不足や歴史文化への市民の関心の低下につながるとともに、しいては防災対策の不足を生じさせ、これまで各地域で守り伝えられてきた文化財の保存継承に重大な問題を引き起こしかねません。

近年では観光振興や地域活性化などの観点から、文化財を単体の資産としてではなく、その周辺環境も含めた面的な位置づけのもと、他分野と連携を図りながら総合的なまちづくりに活かす動きが高まりつつあります。

第2章 あま市の文化財の概要と特徴

平成 22（2010）年 3 月七宝町、美和町、甚目寺町の合併より誕生したあま市には、それぞれの町で受け継いできた文化財があり、各町の傾向や特徴が見られます。

1. 指定等文化財

（1）指定等文化財の件数

あま市の指定文化財は、国指定が 7 件、県指定等が 11 件、市指定等が 15 件、国登録が 2 件となっています。指定の割合から見ると、市指定が最も多い状況です。類型ごとの割合でみると、有形文化財が 24 件でそのうち美術工芸品が 19 件と多くを占めているのが特徴です。なお、最も多いのは彫刻で 6 件です。数量の多さで見ると彫刻（6 件）、建造物（5 件）、工芸品（5 件）が上位 3 つとなっています。一方で、古文書、考古資料、無形文化財、文化的景観、伝統的建造物群は 0 件となっており、有形文化財に偏っている傾向がうかがえます。有形文化財以外では無形の民俗文化財も 4 件とやや多い状況です。

あま市指定等文化財一覧

類 型			国指定 ・ 選定	県指定	市指定	国登録	合計
有形文化財	建造物		3	－	－	2	5
	美術 工芸品	絵画	2	2	－	0	4
		彫刻	2	2	2	0	6
		工芸品	0	2	3	0	5
		書跡・典籍	0	1	2	0	3
		古文書	0	－	－	0	0
		考古資料	0	－	－	0	0
		歴史資料	0	－	1	0	1
無形文化財			0	－	－	0	0
民俗文化財	有形の民俗文化財		0	－	1	0	1
	無形の民俗文化財		0	－	4	0	4
記念物	遺跡		0	－	2	0	2
	名勝地		0	1	－	0	1
	動物・植物・地質鉱物		0	3	－	0	3
文化的景観			0	－	－	－	0
伝統的建造物群			0	－	－	－	0
合計			7	11	15	2	35

（２）類型ごとの文化財

次に、類型ごとに指定されている文化財を見ていきます。

①建造物

国指定のものは「^{じもくじなんだいもん}甚目寺南大門」「^{じもくじさんじゅうのとう}甚目寺三重塔」「^{じもくじひがしもん}甚目寺東門」でいずれも甚目寺の建物です。南大門はあま市に現存する最古の木造建造物で、^{みなものよりとも}源頼朝の命をうけた^{かじわらかげとき}梶原景時が建久7（1196）年に建立したと伝わっています。三重塔と東門の建立はいずれも寛永年間（1624-1644）ですが、三重塔は室町時代の様式、東門は桃山時代の様式を伝える貴重な文化財です。

国登録文化財は「^{じつじょうじほんどう}實成寺本堂」「^{じつじょうじさんもん}實成寺山門」の2件です。實成寺は元応元（1319）年創建の^{なかかやづ}中萱津にある寺院で、本堂は江戸前期、山門は江戸中期に改修されたと考えられます。



▲ 甚目寺三重塔

②美術工芸品

絵画は、国指定は甚目寺の「^{けんぽんちゃくしよくふどうそんぞう}絹本著色不動尊像」「^{けんぽんちゃくしよくぶつねはんず}絹本著色仏涅槃図」の2件、県指定は^{れんげじ}蓮華寺の「^{こんごうかいおよびたいぞうかい}金剛界及び胎蔵界^{まんだら}曼荼羅」と甚目寺の^{たつちゅう}塔頭の1つ、^{しゃかいん}釈迦院所蔵で尾張出身のやまと派の^{たなかとつげん}絵師田中訥言（1767-1823）による「^{かつこうず}郭公図」、^{ほうき}「^{がま}箒に^ず蝦蟇図」^{きがんずふすま}、「^{けんぽんちゃくしよくふどうそんぞう}帰雁図襖」の4件です。なお「絹本著色不動尊像」は平安時代後期の作とされ愛知県内に伝わる最古の仏教絵画と言われています。



▲ 絹本著色不動尊像

彫刻は、国指定の法蔵寺「^{てつぞうじぞうぼさつりつぞう}鉄造地藏菩薩立像」と甚目寺の「^{もくぞうあいぜんみょうおうざぞう}木造愛染明王坐像」です。「鉄造地藏菩薩立像」には寛喜2（1230）年8月の銘があり、銘のある鉄地藏としては国内でも最古級と言われています。一説には戦国武将の^{はちすかまさかつ}蜂須賀正勝が^{おけ}桶狭間合戦の戦勝祈願のために戦場へ持参しようとするも、あまりの重さに耐えきれず、この地（美和地区中橋）に置き去り戦場へ向かったと伝わっています。

「^{あいぜんみょうおう}木造愛染明王坐像」は、かつて甚目寺三重塔内に安置されていました。平成21年度の調査で、^{たいない}胎内から^{ごうし}合子（球体）が見



▲ 鉄造地藏菩薩立像

つかり、中に小型の木造愛染明王坐像が納められていました。
当時、大変貴重な発見として注目されました。

県指定は蓮華寺蔵で如来像の一部である「木造仏頭」と、甚目寺の南大門内に鎮座する「木造仁王像」です。仁王像はどちらも慶長2（1597）年に清洲城主の福島正則による奉納であることがわかっています。市指定は普明院の「金銅阿弥陀如来立像」及び蓮華寺の「二十五菩薩面」となっています。

工芸品は県指定の「瑞花双鸞八稜鏡」と、建武4（1337）年の銘をもつ「梵鐘」で、どちらも甚目寺の所蔵です。市指定は3件あり、七宝地区の桂にある法光寺の元和4（1618）年製造の「梵鐘」と、同地区の廣濟寺の宝暦11（1761）年に製造された「雲版」となっています。そして七宝焼アートヴィレッジの所蔵の「間取り花鳥文大花瓶」は、明治30年前後に七宝地区の遠島で作成されたもので、同館所蔵品でも最大級の大花瓶であり、当時の七宝職人の技術の粋を集め制作された貴重な文化財です。

書跡・典籍は県指定が蓮華寺の「法華経 紫紙鎌倉版」の1件、市指定は「徳川家康筆 徳政免除証文」「誹諧相伝名目」の2件です。また、歴史資料は市指定の「尾州海東郡富塚村御縄打水帳」1件のみです。これら3件の書跡・典籍、歴史資料はいずれも美和歴史民俗資料館で所蔵しています。

③民俗文化財

有形の民俗文化財は市指定で「甚目寺説教源氏節人形および正本 附 その関連資料」の1件で、その内訳は人形18体、正本81冊、音源テープ5点、紙媒体(冊子・ポスター)11点、写真161点となっています。なお明治から昭和にかけて隆盛を極めた説教源氏節は、昭和50年代に後継者が途絶え消滅しますが、これらの資料は再興の可能性を持つものとして評価されます。



▲ 木造愛染明王坐像



▲ 二十五菩薩面



▲ 甚目寺説教源氏節人形

無形の民俗文化財は、いずれも市指定で「香の物祭」、
「下之森オコワ祭」、^{しものもり まつり}「木田八劔社湯の花神事」、^{きだはちけんしゃ ゆ はなしんじ}「二十五菩薩
お練り供養」^{ね くよう}の4件です。

萱津神社の「香の物祭」は、熱田神宮に奉納する漬物を漬け
こむ神事で、全国でも珍しい神事です。市の南部、七宝地区下
之森に古くから伝わる「下之森オコワ祭」は、特殊神饌^{しんせん}である
オコワを石に打ち付け、餅状になったオコワを参拝者が奪い合
うなど、尾張西部一帯で伝承されてきた祭ですが、現在では
^{あいさいししょばた}愛西市勝幡の勝幡神社と七宝地区の下之森の八幡神社の2か所
に残るのみとなっています。

美和地区木田の八劔社^{はちけんしゃ}で行われる湯の花神事は、地面を掘り
下げてクド（かまど）を築き、5つの湯釜を据えて沸かしたお
湯を飲んで無病息災を祈願します。同地区蜂須賀の蓮華寺で行
われている二十五菩薩お練り供養は、慶長 13（1608）年から行
われていると言われており、25 の菩薩が現世に現れ、民衆を極
楽浄土へ導く様子を再現する行事です。



▲ 香の物祭



▲ 木田八劔社湯の花神事

④記念物

いずれも県の天然記念物に指定される「下萱津のフジ」、^{しもかやづ}「蓮
華寺のカヤノキ」、「遠島八幡神社のラカンマキ」があります。

遺跡では市指定の「甚目寺境内地」と「七宝焼原産地道標」
の2か所で、甚目寺本堂の建替による発掘調査では、建物跡他、
^{のきまらがわら}軒丸瓦や土器なども出土しています。「七宝焼原産地道標」は
佐屋街道から七宝地区遠島^{とおしま}にある七宝焼の窯元^{かまもと}に入る目印、道
標として明治 28（1895）年に建立されました。



▲ 下萱津のフジ

名勝地は県指定の「蓮華寺庭園」1件で、庭園を含む一帯は愛知県自然環境保全地域となっ
ています。

⑤文化的景観、伝統的建造物群

文化的景観、伝統的建造物群についての指定はありません。

このように見てみますと、あま市における指定文化財は寺院や信仰に関するものが多数を占めていることが分かります。また国指定有形文化財について言えば、法蔵寺の「鉄造地藏菩薩立像」以外は全て甚目寺所蔵となります。

県指定文化財についても 11 件中、蓮華寺 5 件と甚目寺 3 件で半数以上を占めています。甚目寺と蓮華寺の歴史が長く、同時に

地域で厚く信仰されてきた故に、寺宝や什物^{じほう じゅうもつ}なども大切にされてきたのでしょう。そのため、「甚目寺南大門^{なんだいもん}」や「絹本著色不動尊像^{けんぽんちゃくしよくふどうそんぞう}」など平安・鎌倉時代まで^{さかのぼ}遡る貴重な文化財が今も残されていると考えられます。また、寺院が長く保護されてきた結果が、「甚目寺境内地」や「蓮華寺のカヤノキ」の天然記念物指定に結びついていると考えられます。愛知県自然環境保全地域に指定されていることから、文化財に限らず境内全体を含めた蓮華寺全体の保存が良好なことがわかります。

寺院ゆかりの有形文化財以外では、有形の民俗文化財「甚目寺説教源氏節人形および正^{しょうほん}本^{つけたり}附^{つけたり} 関連資料」や「香の物祭」をはじめとした無形の民俗文化財が残っていることも注目されます。オコワ祭の伝承されている地域が現在ではごくわずかなことを踏まえても、あま市の民俗文化財は貴重であると思われます。地域の人々の取り組みの結果だと言えるでしょう。

文化財の地理的な傾向を考えると、甚目寺や蓮華寺所蔵の文化財が多いため、この 2 か所に偏っている傾向があります。一方で、年代の傾向としては、平安時代の「絹本著色不動尊像^{けんぽんちゃくしよくふどうそんぞう}」があると同時に「七宝焼原産地道標」のような明治時代の文化財も指定されており、幅広い年代であることがうかがえます。古い歴史文化だけでなく、七宝焼や説教源氏節など新たな文化が生まれ続けたことが、あま市の 1 つの特徴であると思われます。

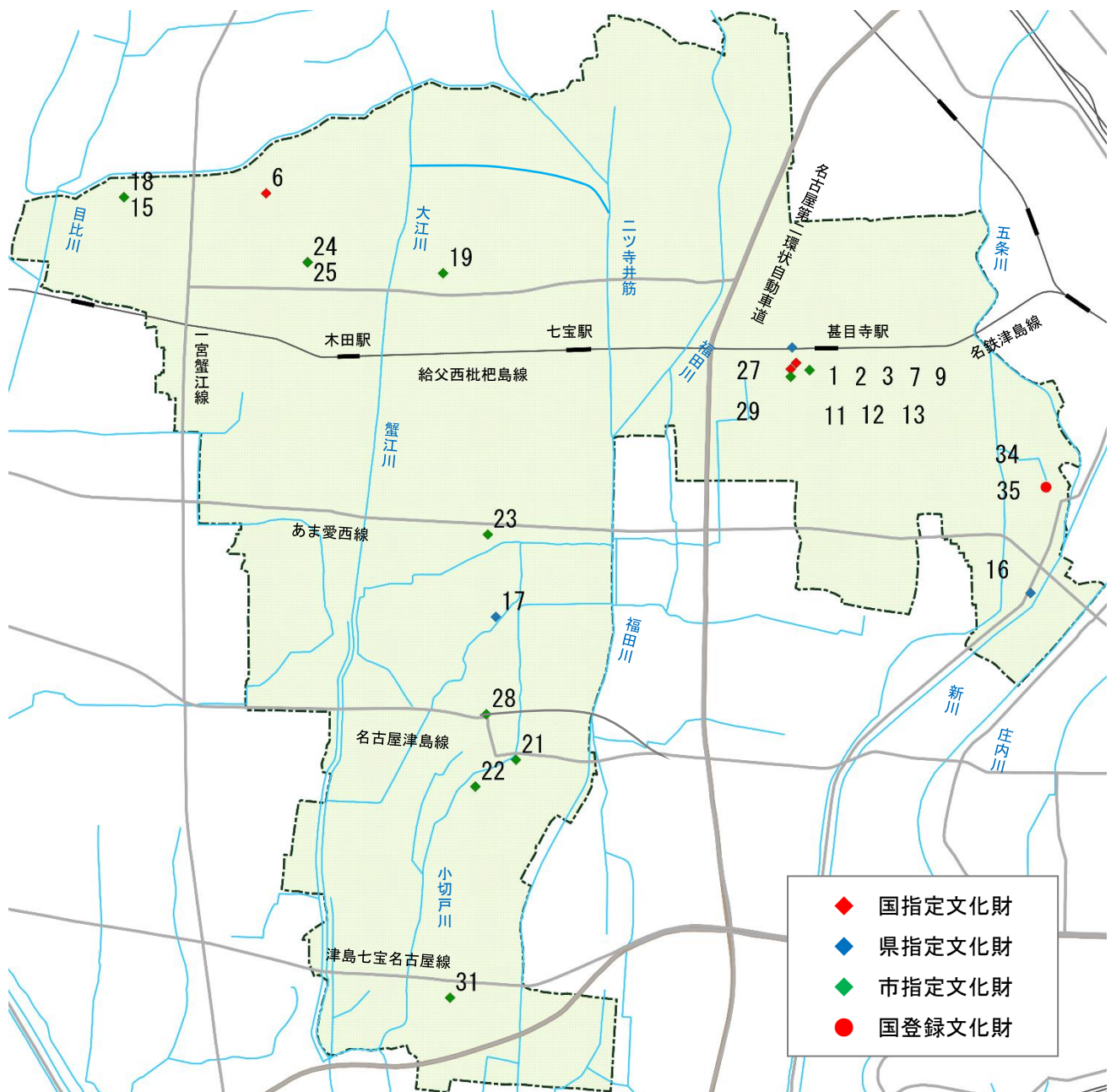


▲ 甚目寺境内地全体

あま市の指定等文化財一覧

No.	類 型	名 称	指定等	所 在
1	建造物	甚目寺 南大門	国指定	甚目寺東門前 24
2	建造物	甚目寺 三重塔	国指定	甚目寺東門前 24
3	建造物	甚目寺 東門	国指定	甚目寺東門前 24
4	美術工芸品（絵画）	絹本着色不動尊像	国指定	東京国立博物館（寄託）
5	美術工芸品（絵画）	絹本着色仏涅槃図	国指定	京都国立博物館（寄託）
6	美術工芸品（彫刻）	鉄造地藏菩薩立像	国指定	中橋郷中 42
7	美術工芸品（彫刻）	木造愛染明王坐像	国指定	甚目寺東門前 24
8	美術工芸品（絵画）	金剛界及び胎蔵界曼荼羅	県指定	蜂須賀大寺 1352
9	美術工芸品（絵画）	田中訥言画蹟	県指定	甚目寺東門前 24
10	美術工芸品（彫刻）	木造仏頭	県指定	蜂須賀大寺 1352
11	美術工芸品（彫刻）	木造仁王像	県指定	甚目寺東門前 24
12	美術工芸品（工芸品）	瑞花双鸞八棱鏡	県指定	甚目寺歴史民俗資料館寄託
13	美術工芸品（工芸品）	梵鐘	県指定	甚目寺東門前 24
14	美術工芸品（書跡・典籍）	法華経 紫紙鎌倉版	県指定	蜂須賀大寺 1352
15	名勝地	蓮華寺庭園	県指定	蜂須賀大寺 1352
16	動物・植物・地質鉱物	下萱津のフジ	県指定	下萱津未見取 1130-42
17	動物・植物・地質鉱物	七宝町のラカンマキ	県指定	七宝町八幡神社
18	動物・植物・地質鉱物	蓮華寺のカヤノキ	県指定	蜂須賀大寺 1352
19	美術工芸品（彫刻）	金銅阿弥陀如来立像	市指定	美和歴史民俗資料館寄託
20	美術工芸品（彫刻）	二十五菩薩面	市指定	蜂須賀大寺 1352
21	美術工芸品（工芸品）	梵鐘	市指定	七宝町桂郷内 1608
22	美術工芸品（工芸品）	雲版	市指定	七宝町桂郷内 1679
23	美術工芸品（工芸品）	間取り花鳥文大花瓶	市指定	七宝町遠島十三割 2000
24	美術工芸品（書跡・典籍）	徳川家康筆 徳政免除證文「徳政之事」	市指定	美和歴史民俗資料館
25	美術工芸品（書跡・典籍）	誹諧相伝名目	市指定	美和歴史民俗資料館
26	美術工芸品（歴史資料）	尾州海東郡富塚村御縄打水帳	市指定	美和歴史民俗資料館
27	遺跡	甚目寺境内地	市指定	甚目寺東門前 24
28	遺跡	七宝焼原産地道標	市指定	七宝町安松南辻田 2540
29	有形の民俗文化財	甚目寺説教源氏節人形及び正本 附その関連資料	市指定	甚目寺歴史民俗資料館
30	無形の民俗文化財	香の物祭	市指定	上萱津車屋 19
31	無形の民俗文化財	下之森オコワ祭	市指定	七宝町下之森屋敷 662
32	無形の民俗文化財	木田八劔社湯の花神事	市指定	木田宮東 16
33	無形の民俗文化財	二十五菩薩お練り供養	市指定	蜂須賀大寺 1352
34	建造物	實成寺 本堂	国登録	中萱津南宿 254
35	建造物	實成寺 山門	国登録	中萱津南宿 254

あま市の指定等文化財の分布



出典：国土地理院 地理院タイルを加工して作成

2. 未指定文化財

あま市には包蔵地より出土した埋蔵文化財、寺社の建造物や灯籠^{とうろう}あるいは伝承などと結びついた石碑、産業の中心となった工芸品やその技術など、文化財保護法や条例による指定文化財ではなくとも、あま市の歴史文化を刻んできた未指定文化財が 2,251 件確認されます。類型ごとの件数は、以下の一覧表に示す件数となっています。

七宝焼、刷毛、刀、鏡、梵鐘^{ぼんしょう}、鰐口^{わにぐち}といったような工芸品が最も多く 924 件、名勝地が最も少なく、1 件です。指定文化財と比べると、工芸品や建造物の割合が多い傾向が見られます。

あま市の未指定文化財一覧

類型			合計
有形文化財	建造物		302
	美術工芸品	絵画	181
		彫刻	218
		工芸品	924
		書跡・典籍	43
		古文書	173
		考古資料	33
		歴史資料	159
無形文化財			28
民俗文化財	有形の民俗文化財		10
	無形の民俗文化財		92
記念物	遺跡		69
	名勝地		1
	動物・植物・地質鉱物		5
文化的景観			13
伝統的建造物群			0
合計			2, 251

(1) 有形文化財

①建造物

建造物においては、神社の有する社殿・舞殿をはじめ、寺院の本堂や諸堂はもちろん庫裏などの付属施設などの木造建造物になります。あま市をはじめ尾張平野一帯に甚大な被害をもたらした明治 24 (1891) 年の濃尾震災により、市内寺社の建造物は多くが倒壊しており、その後の風水害による被害もあり、あま市の寺社の建造物の多くは昭和初期以降の建立と考えられます。ただし、なかには蓮華寺の仁王門のように江戸時代から変わらず、その姿を今に伝える建造物もあります。

また、昭和 11 (1936) 年建立の七宝小学校講堂は、本講堂はアールデコ調の外観、木造であり、床板や窓枠など近年改良されるも、その他は建設当初の姿を今に留めています。また同校及び美和小学校の正門も昭和初期の赤レンガ造と、今では見るできない貴重な建造物の 1 つといえるでしょう。



▲ 七宝小講堂

②美術工芸品

絵画については寺院が所蔵する仏画が主となります。光明寺（中萱津）所蔵の「絹本 著色 仏涅槃図」は萱津の千木下長者の母が、釈迦の入滅を悲しむ弟子や動物たちの中にまぎって手を合わせる姿が描かれています。順正寺（下之森）の「親鸞聖人御影」は、その裏書によれば天正 9 (1581) 年に本願寺教如より同寺良俊に与える旨が記されるなど本図の来歴が分かるもので、いずれもあま市を代表する貴重な美術品の 1 つです。

彫刻も寺院の所蔵する仏像が中心となります。美和地区東溝口にある阿弥陀寺の木造聖観音立像は、胎内に奉納者名を記した紙片、頭髮などが納められており、人々の厚い信仰心を目の当たりに出来るものです。美和地区二ツ寺にある薬師堂の木造阿弥陀如来坐像、木造十二



▲ 親鸞聖人御影

神将しんしょうなど来歴は不明ながらも貴重な仏像を多く残す諸堂も市内各地に所在しています。また、路傍には地藏尊像や馬頭観音像ばとうといった石仏も多く所在しているほか、旧道には通行人への道標や、その役割を担ってきた石仏も残されています。

工芸品としては七宝焼があります。七宝焼アートヴィレッジの所蔵品のなかでも、特に尾張七宝を語るに欠かせない作品が中心となります。今後は、その高い技術力のみならず、世に出されるまでの歴史的な背景を含め、目には見えない部分に注力する必要があります。

考古資料として、33 件の出土品があります。時代は、弥生時代から中世が中心で、種別は集落跡、寺社跡と遺物散布地からの出土品です。出土品は、土器を中心として、瓦や仏具があります。甚目寺遺跡より出土した単弁蓮華文軒丸瓦たんべんれんげもんのきまるがわらは、甚目寺創建時を物語る貴重な史料の 1 つです。

歴史資料として、美和地区二ツ寺の菊泉院きくせんいんが所蔵する福島正則公の肖像画をはじめとした関連資料があります。また、七宝地区の下之森にある八幡神社に残る 33 枚の棟札むなふだは、慶長から昭和 26（1951）年までの神社の維持管理に留まらず、時々ときどきの村の様子を紐解く史料にもなります。

（２）無形文化財

あま市で守り伝えられてきた技術、主に産業としては明治期以降、遠島地区としまを中心に発展した七宝焼の技術と、昭和初期以降に西今宿地区で盛んとなった刷毛製造の技術があります。また当地域で特有の農作業に関する技術も伝え残すべき文化財の 1 つです。

（３）民俗文化財

①有形民俗文化財

人々の生活や生業に関わるもののうち、有形で伝承されたものを指します。美和歴史民俗資料館・甚目寺歴史民俗資料館で収蔵される農機具及び多様な生活道具類は、当地域を物語るもので、先人たちの暮らしを偲ぶことができる唯一無二のものであります。美和地区の木田八剱社湯の花神事で使用する 5 つの湯釜をはじめ、地区で所有する神楽や山車及びそれに関わる道具類などもあります。



▲ 中耕機にて田の草取りをする風景

②無形民俗文化財

無形の民俗文化財は、今も各地域で行われる^{てんのう}天王信仰や秋葉祭などがあります。甚目寺地区では天王祭りと称し、7月第4土曜日に山車が区内を練り歩き、それに合わせ^{ぬりべ}漆部神社では^{ちわ}茅の輪くぐりが行われます。禅宗の寺院のお盆の行事はじめ、子どもの成長を願う^{じゅず}百万遍の数珠繰りや^{うらぼんえ}盂蘭盆会あるいは^{じぞうぼん}地藏盆、そして^{しんしゅうじいん}真宗寺院での^{ほうおんこう}報恩講など、今もいくつもの仏事が市内の各所で執り行われています。



▲ 茅の輪くぐり

(4) 記念物

①遺跡

市内には阿弥陀寺遺跡や^{もりみなみ}森南遺跡などの弥生時代の遺跡や、^{ほっしょうじ}法性寺跡や^{しのだはいじ}篠田廃寺といった古代寺院など複数の遺跡が所在しています。考古資料と同様、文字からはわからないあま市の歴史を再現する手がかりであるといえます。

②動物・植物・地質鉱物

野生動物としては、近年、目撃情報は少なくなりましたが、キツネやタヌキが市内の限られた地域で生息しています。またかつて当市には木曽川水系の下流域に生息する様々な魚類が存在したと推測されますが、昭和40年代以降、用水のパイプライン化と水路の護岸整備などによる生息場所の減少と外来種の増加もあいまって、その種類は少なくなったと考えられます。



▲ ナゴヤダルマガエル

近年の簡易な調査ではナマズ、フナ、オイカワ、モツゴ、カワバタモロコ、ヨシノボリ、ミナミメダカ、ドジョウ、カワエビ、ヌマエビ、ナゴヤダルマガエル、トノサマガエル、ヌマガエルといった在来種を確認しています。

鳥類は、こうした小型の魚類やカエルなどを餌とするサギ類、カウウなどでキジはその個体数を減らしながらも今も見ることができます。

植物については、市内に手つかずの自然は残されておらず、河川の堤防はもとより水田の畔^{あぜ}も含め、繁茂している植物の多くは帰化植物です。

第3章 あま市の歴史文化の特性

第1章、2章で見てきたように、あま市の自然的な環境や社会的な現況、歴史的な背景を基にそれらと深く結びついた文化財について特徴を整理すると、「低地ゆえの水争い」「水田に起因する景観」「戦国に生きた人々の足跡と伝承」「技の継承 刷毛・^{そさい}蔬菜・芸能」「地域の発展のために 海外移民」の5つの特性を見出すことができます。

あま市の歴史文化に見いだされる5つの特性



低地ゆえの水争い



水田に起因する景観



戦国に生きた人々の足跡と伝承



技の継承 刷毛・蔬菜・芸能



地域の発展のために 海外移民

1. 低地ゆえの水争い

木曽川のもたらした肥沃な土壌とその清き流れの恩恵を受け、米所として栄えたあま市は、低地ゆえに水害を被ることも多く、先人たちは長く水との闘いを余儀なくされてきました。水利については^{ごじょうがわ}五条川、^{ふくだかわ}福田川、^{おおえがわ}大江川、^{めくいかわ}目比川の各河川より^{いり}枳を通して引き込まれた水は、市内を縦横に走る用水路を伝って田に供給されました。江戸時代には、田への水入りは必ずシモ（南）からカミ（北）と尾張藩により決められており、この原則が破られない限りは村同士の争いに発展することはなかったといえます。その一方で、排水問題はあま市にとっては大きな悩みの種でもありま



▲ 五八悪水記念碑

した。勾配が無い土地ゆえ自然排水が困難であり、潮の満ち引きに頼るしかなく、満潮と大雨が重なると水害を引き起こしやすく、なかでも享和元（1801）年の大雨による排水問題は市の西部、津島上街道をはさんだ北の8か村と南の5か村による大規模な水争いに発展し、最終的には清洲代官の仲裁にまで至ったケースもあり、その詳しい経緯は天保8（1837）年建立の「^{ごはちあくすい}五八悪水^{きねんひ}記念碑」に刻まれています。またこうした排水問題は市内の各所でも見られ、村同士の水争いに関する記録は近世の古文書で知ることにも出来ます。

2. 水田に起因する景観と信仰

当市に古くから見られる土地利用法の1つに「^{しまばた}島畑」があります。一説には、水田の水持ちを良くするために、田の土を掘って、その土で田^{でんちゅう}中に畑をつくると言われています。おもに平野部の低地に見られる土地利用法で、昭和初期まで市北部を除く全域に存在していました。戦後の耕地整理や土地改良で多くが姿を消し、現在は^{にしいまじゅく}西今宿、^{とみつか}富塚、^{とおしま}遠島地区に^{わづ}僅かに残るのみとなりました。また、豊



▲ 島畑

かな水と自然によって営まれてきた人々の^{なりわい}生業は田の風習とも結びつき、様々な信仰を生み出してきました。今もかろうじて伝承されているものに「^{てんのう}天王信仰」があります。田植え後に、稲に虫がつかないように、あるいは地域に疫病が入り込まないように、津島神社のお札を75日間（市内各地域によって祀る期間は違う）ほど地域内^{まつ}で祀る風習です。ここ数年、地域によっては米作ではなく麦作に転換するなど天王信仰を実施しない地域も増えてきました。

3. 戦国に生きた人々の足跡と伝承

豊臣秀吉の配下の将として活躍した蜂須賀出身の蜂須賀正勝や二ツ寺出身の福島正則のほか、清洲城主である斯波氏に仕え、新居屋に居を構えた赤林孫七郎、七宝地区の沖之島出身の初代加賀藩主前田利家の正妻「まつ（芳春院）」、また、豊臣秀吉の義兄にあたる弥助（のちに三好吉房：犬山城主）と実姉で豊臣秀次の実母である「とも」は乙之子に居住していたという説もあります。こうした人物の生誕地をはじめ菩提寺、供養塔などが市内には点在します。



▲ 萱津合戦の碑

市の東部には、清洲城織田家と那古野城の織田家との争いが、萱津合戦の名で知られています。後世、若き織田信長がこの戦いに勝利し尾張統一への足掛かりとした重要な合戦ともいわれています。ただ合戦は数刻のうちに終わったと「信長公記」には記されています。

その他、同時代を生きた人物としては尾張初のキリシタンとされるコンスタンチノの存在が知られています。コンスタンチノの詳細は地元には何も残されていませんが、ルイス・フロイスの「日本史」に「尾張の伝道師コンスタンチノは花正の出身で…」という記述があります。

4. 技の継承 刷毛・蔬菜・芸能

長い間人々に受け継がれてきた技術も、その土地の歴史と文化を物語る文化財といえます。各種産業や農業、伝統芸能など様々な「技」が伝えられています。

産業では七宝町の名前の由来にもなっている七宝焼が広く知られていますが、大正時代以降、甚目寺地区の西今宿を中心に地場産業として刷毛製造が盛んになります。昭和40年代には国内シェアの7割を占めました。篤農家も多く、蔬菜栽培をはじめ野菜の品種改良を進め橘田茄子、尾張白蕪、萱津南瓜、尾張節成胡瓜など先人たちの努力により様々な伝統野菜が生まれ、今も育てられています。



▲ 鯰橋の若衆による手踊り

芸能の面では、明治時代から昭和にかけて甚目寺説教源氏節が流行しました。人形や道具などが市の有形民俗文化財となっています。また、沖之島文久神楽太鼓や伊福神楽など各地域の神社で奉納されているほか、鯰橋の手踊り（住吉手踊り）なども地域の人々に親しまれていま

した。

5. 地域の発展のために 海外移民

海部津島地域の特徴の1つでもある海外移民は、明治後期からあま市南部の若者たちを皮切りに、北米（アメリカ合衆国）への出稼ぎが始まりました。昭和初期までに150名近い若者が海を渡り、かんなんしんく艱難辛苦の末に財を築き帰国する者、そのまま現地に残り大農場を経営する者も現れました。志なかばに現地で病や事故で亡くなられた方もおり、彼らを追悼する意から同郷の仲間を中心に志が集められ、生まれ故郷であるあま市に石碑が建立されています。

また移民者を出した篠田地域以南の神社の鳥居や灯籠には「在米〇〇」あるいは「帰国記念〇〇」といった奉納物を目にすることができ、また昭和30（1955）年代には、篠田小学校のプール建設に際しても同地区出身の在米者が多額の寄付をしている例もあるなど、移民者の故郷を想う気持ちをうかがい知ることが出来ます。



▲ 農場経営に携わる伊福出身の若者たち



▲ 帰米記念と刻まれる灯籠（七宝町桂）

第4章 文化財に関する既往の把握調査・取組

1. 既往の把握調査

旧3町合併前に実施したものも含め、あま市内の文化財に関する把握調査については、実績として以下のような資料や報告書があります。

(1) 文化財に関する調査

地区	刊行物名	発行元	発行年
七宝	七宝町史	七宝町	昭和51(1976)年
	七宝町史 追録 壱号	七宝町郷土史研究会	昭和51(1976)年
	七宝町史 追録 貳号	同上	平成元(1989)年
	尾張西部のオコワ祭調査報告書	尾張西部のオコワ祭調査委員会	平成28(2016)年
	愛知県の近代化遺産	愛知県教育委員会	平成17(2005)年
	七宝資料集 林小傳治家文書1	七宝焼アートヴィレッジ	平成20(2008)年
	七宝資料集2 林小傳治家文書2	同上	平成21(2009)年
	七宝資料集3 七宝窯元 伊藤常三郎家文書	同上	平成22(2010)年
	七宝資料集4 七宝工下絵集 糸野忠三郎・伊藤常三郎家	同上	平成23(2011)年
	七宝資料集6 遠安工業補習学校資料	同上	平成25(2013)年
	七宝資料集7 塚本貝助文書	同上	同上
	七宝資料集10 七宝歴史講座資料1	同上	平成29(2017)年
	七宝資料集11 七宝技術研究会と『七宝前史』	同上	平成30(2018)年
	七宝資料集12 林貞七宝店資料よりみる戦後の尾張七宝産業界	同上	平成31(2019)年
	七宝資料集14 『日本七宝発達史』への取り組み	同上	令和3(2021)年
	七宝資料集15 尾張七宝史	同上	令和4(2022)年
美和	美和町史	美和町	昭和57(1982)年
	美和町史 人物一	同上	平成7(1995)年
	二・二六事件 甘粕事件 軍法会議裁判官 陸軍法務官 小川關治郎	同上	平成11(1999)年
	住友銀行名誉会長 堀田庄三	同上	同上
甚目寺	甚目寺町史	甚目寺町	昭和50(1975)年
	甚目寺町文化財調査報告書Ⅰ 四反畑遺跡 清林寺遺跡 甚目寺町内の出土遺物	甚目寺町教育委員会	昭和58(1983)年
	甚目寺町文化財調査報告書Ⅱ 愛知県海部郡甚目寺町 森南遺跡 発掘調査報告書	同上	平成2(1990)年

地区	刊行物名	発行元	発行年
甚目寺	甚目寺町文化財調査報告書Ⅲ 地蔵と信仰	甚目寺町教育委員会	昭和 61 (1986) 年
	甚目寺町文化財調査報告書Ⅳ 甚目寺跡（南大門南）発掘調査概報	同上	昭和 62 (1987) 年
	甚目寺町文化財調査報告書Ⅴ 尾張の支配者と赤林氏	同上	平成元 (1989) 年
	甚目寺町文化財調査報告書Ⅵ 甚目寺遺跡	同上	平成 5 (1993) 年
	甚目寺町文化財調査報告書Ⅶ 大字の歴史と変化	同上	平成 11 (1999) 年
	甚目寺町文化財調査報告書Ⅷ 甚目寺町の寺院～縁起と由来～	同上	平成 12 (2000) 年
	仁王像修復記念 甚目寺観音展	仁王像修復記念 「甚目寺観音展」実行委員会	平成 23 (2011) 年
	甚目寺説教源氏節人形調査報告書	あま市教育委員会	平成 30 (2018) 年
全域	愛知県民俗調査報告書津島・尾張西部	愛知県	平成 13 (2001) 年

（２）市内文化財の把握状況

市内の文化財について、文化財類型別、地区別の把握状況は以下のとおりです。

類型			七宝地区	美和地区	甚目寺地区
有形文化財	建造物		△	△	○
	美術工芸品	絵画	△	△	○
		彫刻	△	△	○
		工芸品	△	△	○
		書跡・典籍	△	△	○
		古文書	△	△	○
		考古資料	—	△	○
		歴史資料	△	△	○
無形文化財			●	●	●
民俗文化財	有形の民俗文化財		△	●	△
	無形の民俗文化財		●	●	●
記念物	遺跡		●	●	●
	名勝地		—	—	△
	動物・植物・地質鉱物		△	●	△
文化的景観			△	△	△
伝統的建造物群			—	—	—

◎：把握調査済 ○：一部把握調査未実施 △：把握調査未実施

●：文献、ヒアリングなどによる把握のみ —：対象なし

2. 市民意識調査、ヒアリング調査

(1) 市民意識調査

市民、特に若い世代の文化財に対する意識の把握や、未指定の文化財を把握するためアンケート調査を実施しました。

①調査概要

	目的	調査対象	調査方法	調査期間	回収数
市民アンケート	広く市民の歴史文化に関する意識やあましの文化財、歴史文化に関する意見を把握する。	あま市在住の 18 歳以上の市民 2,000 名 (無作為抽出)	・ 郵送による調査票の配布・回収 ・ ウェブサイトでの回答	令和 4 年 10 月 5 日 ～ 10 月 24 日	729 票 回収率 36.5%
中学生・高校生アンケート		【中学生】 あま市の中学校に通学する生徒 826 名	学校を通じての依頼、ウェブサイトでの回答	令和 4 年 10 月 6 日 ～ 10 月 17 日	769 票 回収率 93.1%
		【高校生】 あま市の高校に通学する生徒 504 名			429 票 回収率 85.1%

②調査結果概要

市民アンケート	
強み	・あま市の歴史文化を保存・活用することは重要と考える人が多い。 ・歴史文化に興味のある人は、6割弱で一定数いる状況。 ・あま市にも所在する寺社や古墳などの遺跡などに興味のある人が多く、また、城や戦国武将や自然景観への関心も高い。(※市内に所在するのは城址のみ) ・あま市の歴史文化として、七宝焼・醸造文化などの伝統産業や、市内に多数ある寺社を歴史あるものとしてイメージする人が多い。 ・小学校や中学校での地域の歴史学習を記憶している人がおり、これまでの教育の成果がみられる。 ・地域の祭り、学校での学習などからあま市の歴史文化に触れている人が多い。 ・継承していくために、参加してみたいこととして、祭りへの参加やSNSなどでの情報発信、文化財の草刈りやゴミ拾い、伝統産業の継承といった活動に意欲のある人が多い。
改善点	・20代、30代の若い世代で歴史文化に興味のうすい人が多い。 ・市内の文化財について、認知度や興味関心のあるものに差があり、価値が正しく理解されていない文化財がある。 ・郷土芸能や地域の風習、文学などへの興味関心がうすい。 ・あま市の歴史文化を学習し、説明できるようになるといった文化財への正しい理解・普及に関する取組への意欲が低い。

中学生・高校生アンケート	
強み	・城や古墳などの史跡などに興味がある人が多く、戦国武将や自然景観、建造物への関心も強い。 ・七宝焼や味噌といった伝統産業や、寺社についての興味関心が強い人が多い。 ・中学生があま市の歴史文化に触れ合う機会は、祭りや学校の授業が主となっている。 ・祭りへの参加やマンガ・アニメなどを活用した歴史文化の保存・活用の取組に興味がある人が多い。
改善点	・歴史文化に興味のある人は、中学生は5割弱、高校生は5割強となっており、約半数である。 ・歴史文化について、中学生は難しいと感じており、高校生は、好きではないと感じている人が多い。 ・市内の文化財について、認知度や興味関心のあるものに差がある。 ・あま市の歴史文化に触れ合う機会として、高校生は、学校の授業もしくは特になくはない状況となっている。

(2) 市民ワークショップ

参加者とフィールドワークを実施し、七宝地区、美和地区、甚目寺地区の3地区に所在する文化財を見学しました。その上で、計画で重点的に取り上げるべき文化財や、活用アイデアについての提案をいただきました。

① 実施概要

目的	市民の視点から計画で重点的に取り上げるべき文化財や、保存・活用の取組アイデアを提案してもらうことで、意見を計画に反映するとともに、市民と協働する取組を検討する際の材料とする。
対象	あま市市民、あま市の歴史文化に興味がある人
実施期間	1回目 令和5年7月2日（日）午前9時30分～12時 2回目 令和5年7月23日（日）午前9時30分～11時30分
参加者数	1回目 30名 2回目 20名
第1回	テーマ あま市の歴史文化の魅力をみつけよう
第2回	テーマ あま市の歴史文化の魅力を語り合おう

② 実施結果概要

第1回	歴史ガイドボランティアとともに七宝、美和（戦国武将）、甚目寺の3コースに分かれ、フィールドワークを実施した。その後、コースごとに感想や魅力に思ったところを発表し共有した。
第2回	第1回で回ったコースを基にグループをつくり、グループワークを行った。あま市の文化財を一層活用していくための取組アイデアを考え、出た案について、グループごとに発表し全体で共有した。

(3) 関連団体、文化財所有者ヒアリング調査

文化財の関連団体や所有者に対し、ヒアリング調査を実施し、現況や保存・活用に関する取組、体制、課題などを把握しました。

① 調査概要

目的	関連している文化財」について、実施している保存・活用に関する取組内容や体制、現在抱えている課題などを聞き取り、各文化財についての現況を把握する。	
実施期間	令和5年2月～3月	
調査対象	寺社	・ 甚目寺観音 ・ 萱津神社
	自然景観	・ 自然環境学識者（間野隆裕氏）
	教育	・ 愛知県立美和高等学校（校長）
	伝統産業	・ 七宝組合（会長） ・ 刷毛組合（会長） ・ あま市七宝焼アートヴィレッジ
	伝統芸能	・ 甚目寺説教源氏節もくもく座
	地域の風習	・ 甚目寺地区内西今宿区（区長） ・ 美和地区内金岩地区（会長）
	歴史文化を活用したまちづくり・市民協働	・ まちづくり活動団体（代表） ・ 学生まちづくり活動団体（代表）

② 調査結果概要

調査対象	調査概要	
寺社	強み	・ 市民が境内などを活用し、集まる仕組みがある。 ・ 文化財として国に指定等されているのは、地域住民として誇りに思っている。
	改善点	・ 地域のイベントでは人は集まるが、文化財への興味関心につながっていない。 ・ 駐車場などの観光インフラに問題がある。 ・ 防犯・防災対策が十分でない。 ・ 指定文化財などの保管環境として十分でない。 ・ 文化財に何か起きた時の責任が大きい。 ・ 保存していくための費用負担が大きい。
自然景観	強み	・ 水郷文化として、豊かな水に支えられている。 ・ もともとは水田も多く、水生の動植物が豊かな地域である。
	改善点	・ 都市化や自然環境の変化により、動植物が減少している。 ・ 水田の減少とともに、田植えや稲刈り時の景観や、田植え饅頭など食の風習も失われている。
教育	強み	・ 小学校や中学校、高校と連携して地域の歴史文化を学ぶ授業を実施している。 ・ 愛知県立美和高等学校では、普通科改革の一貫として地域探求科の創設や、総合選択科目として地域探求があり、あま市の歴史文化を学ぶ機会がある。

調査対象	調査概要	
	改善点	・現状では、学校でのあま市の歴史文化についての授業は、教員の認知度や意向によって差がある状況となっている。
伝統産業	強み	・あま市七宝焼アートヴィレッジは年間3万人程度の訪問者がある。 ・あま市七宝焼アートヴィレッジは修学旅行などに対応できるため、全国の子どもに七宝焼を体験する機会を創出できる。 ・刷毛産業は出前授業を行っており、小学生へ認知を深めている。 ・刷毛産業は、既存の塗装用刷毛以外にも、工業用、料理用など他分野に対応するよう努めている。
	改善点	・伝統産業を担う人の高齢化が進んでいる。 ・七宝焼は市場規模が小さくなっており生計が立てづらいため、積極的な継承の促進が難しい。 ・技術の記録を促進していく必要がある。 ・若手を育成する教育機関がなく、就職先も少ない状況である。 ・市内に類似する産業施設などが少ないため、ターゲットを絞った市内を周遊する観光プランに組み込むのが難しい。 ・刷毛産業は、伝統の製造法では、材料の入手が難しいものがある。 ・中国製の安価な刷毛に市場を奪われてしまっている。
伝統芸能	強み	・毎年定期的に発表の機会がある。 ・子どもへの普及や聴覚に障がいのある方も楽しめるような新たな普及の工夫・取組を検討している。
	改善点	・芸能団体への新規加入者が少ない。 ・団体メンバーの固定化、高齢化が進んでいる。 ・情報発信が重要とは思っているが、広報や営業活動まで手が回らない。 ・学校の取組では、あま市の伝統芸能や歴史文化についての教育について、教師の意向によって差が出ている。
地域の風習	強み	・子どもザイレンなど地区独自の風習が今も継承されている。 ・防災など地域住民の関心が強いものと合わせて地域の寺社との関りを強める工夫を行っている。
	改善点	・子どもの減少や自治会や子ども会への加盟者が減り、地域の風習を継承しにくくなっている。
まちづくり・市民協働 歴史文化を活用した	強み	・取組内容次第で、若い世代も積極的な参加・活動がある。 ・学校などを通じて、子どもの頃に体験型で文化に触れる機会があると楽しく興味を覚えやすい。
	改善点	・歴史文化に触れる機会が少なく、歴史文化を活用したまちづくりにつながるような興味を持つきっかけが少ない。 ・合併により市域が広がったため、自分の地区以外の居住地域についての知識や関心が薄い傾向がある。

3. あま市の文化財に対する取組

(1) 文化財の保護

あま市の文化財は、指定等文化財をはじめとして、所有者や管理者による保護・管理が行われています。また、郷土芸能団体による伝承活動が行われており、これらの保護・管理や活動に対し、あま市では一部経費の負担や補助金などの交付を行っています。令和元年度から令和4年度までの負担金、補助金の交付実績は以下のとおりです。

年度	経費の負担、補助金などの交付実績
令和元年度	・ 文化財等保存顕彰事業 本市ゆかりの戦国武将の顕彰事業
令和2年度	・ 甚目寺建造物群防火・防犯設備修繕費の負担 国重要文化財建造物に付随する防災設備の修繕、防犯カメラの設置 ・ 文化財等保存顕彰事業 本市ゆかりの戦国武将の顕彰事業
令和3年度	・ 甚目寺建造物群防火・防犯設備修繕費の負担 国重要文化財建造物に付随する防災設備の修繕、防犯カメラの設置 ・ 文化財等保存顕彰事業 本市ゆかりの戦国武将の顕彰事業
令和4年度	・ 文化財等保存顕彰事業 本市ゆかりの戦国武将の顕彰事業

(2) 文化財の防災対策

国指定文化財建造物については、文化庁、愛知県の指導のもと、耐震や防火対策を行っています。直近では、令和2年度から3年度にかけて、甚目寺建造物のなかでも重要文化財に指定される南大門、三重塔、東門の防火・消火設備の改修と、新たに防犯設備を新設しました。また、毎年文化財防火デーにおいて、甚目寺観音自衛団、あま市消防団が連携し甚目寺観音にて消防訓練を合同で実施しています。消防訓練においては、甚目寺小学校の児童の見学など、次世代への文化財防災についての啓発も行っています。

平成23(2011)年度に愛知県よりデジタル文化財台帳が作成され、国・県・市指定の文化財について、基本情報を愛知県とあま市で共有しています。

(3) 歴史民俗資料館、七宝焼アートヴィレッジにおける取組

あま市には、歴史民俗資料館として、美和歴史民俗資料館と甚目寺歴史民俗資料館の2館があ

ります。また、あま市の伝統産業である七宝焼に関する複合的な施設として、七宝焼アートヴィレッジがあります。

美和歴史民俗資料館は、昭和 43（1968）年 4 月、美和町郷土館として開館しました。

収蔵品の増加に伴い展示が困難となったため、昭和 58（1983）年、現在の位置に資料館を新築し、美和歴史民俗資料館として開館しました。平成 22（2010）年 3 月、旧 3 町の合併によりあま市が誕生したことに伴い、あま市美和歴史民俗資料館に改称し、現在に至ります。



▲ 美和歴史民俗資料館

甚目寺歴史民俗資料館は、昭和 61（1986）年 11 月、甚目寺観音の南側にある甚目寺会館の 3 階に甚目寺町歴史民俗資料館として開館しました。美和歴史民俗資料館同様に、平成 22（2010）年 3 月の旧 3 町の合併に伴い、名称をあま市甚目寺歴史民俗資料館と変更し現在に至ります。



▲ 甚目寺歴史民俗資料館

七宝焼アートヴィレッジは、あま市の伝統産業である七宝焼についての複合的な施設として、平成 16（2004）年 4 月に七宝地区に七宝町七宝焼アートヴィレッジとして開館しました。歴史民俗資料館 2 館と同様に、平成 22（2010）年 3 月、3 町合併に伴う名称改変があり、あま市七宝焼アートヴィレッジとなりました。



▲ 七宝焼アートヴィレッジ

七宝焼アートヴィレッジは、七宝焼を「見て」・「触れて」・「学んで」・「体験」できる施設となっており、導入ゾーン・作品展示ゾーン・七宝焼体験ゾーン・動態展示ゾーンの 4 つのゾーンから成る七宝焼ふれあい伝承館があります。また、施設の外にはふれあい広場が広がっています。ふれあい伝承館では七宝焼の作品や道具の展示のほか、尾張七宝協同組合の職人が交代で実演や体験教室などを行っており、訪問者が七宝焼に実際に触れる機会を創出しています。また、館内にはショップがあり、七宝焼や関連商品を購入することができます。ふれあい広場には散策路が整備され、利用者や市民の交流の場となっています。

①展示

■ 美和歴史民俗資料館 ■ 所在地：あま市花正七反地 1

<1 階展示室>

「米づくりと昔の暮らし」「郷土の歴史とくらしの道具」をテーマとした民具・農具といった民俗資料を中心に展示しています。当時のあま市の生活を再現したセットも展示しています。

＜2階展示室＞

美和地区で出土した弥生時代以降の考古資料や、地元に残る条里制に基づく地名を展示しています。また、大正12（1923）年の甘粕事件や昭和11（1936）年の二・二六事件を担当した陸軍法務官・小川^{おがわ}關治郎に関する展示も行っています。あま市出身の戦国武将らの肖像画をはじめ、浮世絵などを展示する企画展を季節ごとに開催しています。

■ 甚目寺歴史民俗資料館 ■ 所在地：あま市甚目寺東大門8番地

甚目寺地区の歴史・民俗に関する資料を展示しています。甚目寺地区で実施された発掘調査による考古資料や室町時代の甚目寺を復元したミニチュア、普段見ることのできない重要文化財である涅槃図の複製など、甚目寺観音に関する資料のほか、農具・民具などの人々の暮らしの道具、伝統的な祭礼や伝統芸能にまつわる資料などを展示しています。その他、季節ごとの企画展を開催しています。

■ 七宝焼アートヴィレッジ ■ 所在地：あま市七宝町遠島十三割 2000

常設展として、七宝焼について歴史から技法、作品まで総合的に閲覧できる展示を行っています。「七宝物語」「七宝の魔術」「美を求めて」「職人の技」の4つのエリアを設け、それぞれ七宝焼の歴史の紹介、七宝焼の製作工程や製作道具の紹介、作品と七宝焼の技法の紹介、七宝焼の名品の紹介を行っています。その他季節ごとに伝統産業に関連する企画展などを開催しています。

②資料の収集・保管

■ 美和歴史民俗資料館 ■

主に美和、七宝地区に関する近世以前の文書・近現代文書などを中心に収蔵しています。

あま市に関する歴史資料や記録・図書、市に関係する人物（主に美和、七宝地区）などの文書・記録、あま市に所在した歴史的価値が高い資料、民俗芸能用具並びに儀礼・信仰関係用具（主に美和、七宝地区）、民俗事象を表す写真・映像・音源などの資料、あま市の特色を示す衣食住に関する資料、機械化されていない諸職用具、農具・養蚕具・漁具、あま市で製作、使用された機器、市内遺跡より出土した考古資料（主に美和地区）などを収蔵・保管しています。

■ 甚目寺歴史民俗資料館 ■

主に甚目寺地区に関する近世以前の文書・近現代文書などを中心に、歴史資料や記録・図書、市に関する人物（主に甚目寺地区）などを収蔵しています。その他、甚目寺地区に関連するもの

を中心に、美和歴史民俗資料館と同様の文化財を収蔵しています。また、美和歴史民俗資料館に収蔵されている資料等と重複するものも収蔵しており、収蔵品の整理が必要です。

■ 七宝焼アートヴィレッジ ■

七宝焼に関する資料等や道具、作品を収蔵しています。

尾張七宝作品（江戸末から平成まで）、当市以外の地で製造された七宝作品、七宝製造に係る道具類、七宝焼に関する文書・近現代文書など、七宝焼に関する記録・図書、関係する人物などの文書・記録、民俗事象を表す写真・映像・音源などの資料を収蔵・保管しています。

③普及・教育

あま市の文化財の普及、啓発を目的とし、歴史文化に関する以下の講座を実施しています。

講座名		内容
生涯学習講座	歴史ガイド養成講座	甚目寺観音はじめ、市の歴史文化を解説、案内するためのガイドを養成、育成する連続講座で、平成 23 年より実施している。
	あま市ものしり検定	あま市の誕生以来継続して実施する事業。あま市ものしり読本をテキストに 4 択 50 問を出題するご当地検定である。これまでの延べ 440 名が受検している。
	歴史文化 体験講座	郷土料理モロコ寿司の作り方やお雑煮など郷土の食文化を学ぶ。資料館の所蔵する江戸後期の古文書をテキストにした古文書解読講座や市内の史跡などを訪ね歩く散策も年間を通じ実施する。
出前講座	七宝焼の歴史について	七宝焼の歴史を紹介し、あま市の伝統工芸である七宝焼についての認識を深める。
	あま市の歴史文化と文化財の紹介	あま市の歴史、史跡、あま市に縁のある武将や偉人などを説明し、あま市の歴史文化と文化財の普及を推進する。
	写真で見るあま市の移り変わり	古い写真を通して、あま市の風景・お祭りなどその移り変わりを紹介する。
	地域とつながる生涯学習	生涯学習推進計画に基づく、生涯学習課の理念や目標を伝えとともに、各種実施事業を解説する。
	ご当地検定で知ろう あま市の歴史と文化	あま市の歴史文化に関わるクイズを解きながら市の歴史文化を学習し、ものしり検定の参加を促進させる。

④書籍・冊子などの発行

あま市の文化財の普及を目的とし、以下の書籍や冊子を発行しています。

・甚目寺むかしばなし ・戦後 50 年甚目寺飛行場 ・戦後 75 年甚目寺飛行場 改訂版 ・あま市ものしり読本 改訂版	・あま市と戦国武将 ・福島正則とあま市の戦国武将 ・寛政六年 蜂須賀村由来記 ・七宝資料集 5 博覧会資料 ・七宝資料集 13 遠島ゆかりの七宝窯元
--	--

（４）他部局との連携による取組

他部局と連携し、あま市の文化財に関する取組を推進しています。

担当課	取組内容
危機管理課	文化財防火デーの開催 全国一斉に行われる文化財防火デーの一環として、甚目寺観音を対象に、海部東部消防組合、あま市消防団及び甚目寺観音自衛団と協力し合同訓練を実施している。
商工観光課	観光ルートマップの作成 商工観光課及び観光協会と協力し観光ルートマップを作成している。

（５）地域との連携による取組

関連団体や学校と連携し、文化財の普及啓発を推進しています。

事業名	連携先	取組内容
出前授業	あま市立小学校	小学 6 年生を対象に授業の一環としてあま市の歴史を学ぶ講座を実施。
移動博物館		小学 3 年生を対象に学校の教室に歴史民俗資料館の収蔵資料を並べ、昔の暮らしと生活道具について学ぶ講座を実施。

（６）広域連携の取組

以下の団体に加盟し、連携体制をとって広域で文化財の保護や普及に取り組んでいます。

・愛知県博物館協会 ・海部歴史研究会

第5章 文化財の保存・活用に関する目標

1. 文化財の保存・活用に関する将来像

あま市の歴史文化は、建造物や景観、工芸品など目に見えるものだけでなく、古くから継承されている各地域の祭祀や風習、食文化、地名や地形などに、あま市独自のものとして溶け込んでいます。

これらのあま市の特徴を顕著に表し、日常の中で当たり前に継承されてきたものが、都市圏からの人口の流入や地域コミュニティの希薄化、開発にともなう環境の変化、人々の生業の変化などにより、縮小や喪失の危機を迎えています。

そのような中、あま市は市制施行10年を迎え、令和4年度に第2次あま市総合計画を策定し、将来像を「ともに想い ともに創る ずっと大好きなまち“あま”」と掲げました。この将来像のもと、あま市に関わるすべての人が、それぞれの多様性を認め合い（共想）、多様な主体が一緒になってまちづくり（共創）を進めていくことにより、すべての人にとって“あま市”がずっと大好きなまちとなることを目指しています。

本計画では、総合計画で掲げた将来像に基づき、時代の潮流^{ちやうりゆう}によって市民が多様化し、取り巻く社会や環境が変化しても、市民があま市の歴史文化を知り、それを自分たちの特性「あまらしさ」として認識し、互いにあま市民として共想することができることを目指します。そして、あま市特有の歴史文化「あまらしさ」を通じて愛着と誇りを醸成^{じやうせい}し、ともに歴史文化を活用したまちづくりをあま市全体で共創してゆくことを目指します。

以上のことを踏まえ、本計画の将来像は以下のように定めます。

将来像

「あまらしさ」が「すばらしさ」に

「あまらしさ」ってなに？

「あまらしさ」とは、あま市らしさの略語であり、市特有の歴史文化そのものを指します。さらにその個々にある背景を含めた広い範囲をも「あまらしさ」と定義します。

今後10年間、この「あまらしさ」という言葉が、市民に浸透し、その「すばらしさ」に気づき、「あまらしさ」が、地域の活力につながられるようになることを望みます。

2. 将来像に向けての基本目標と方向性

将来像の実現にあたり、まず、あま市を構成する七宝地区、美和地区、甚目寺地区の文化財を調査・再整理することで、市内の文化財の状況を把握し、適切な保存に努め、文化財の喪失を防ぐ必要があります。そして、それらを市民に発信し、共有することで市民が歴史文化に興味関心を持つきっかけをつくる必要があります。

それに加え、魅力をより広く深く普及していくことにより、あま市の文化財の保存・活用を共創していくためのひとづくりにつなげます。そしてさらに多くの人に魅力を普及させ、歴史文化が息づくまちづくりへと展開していきます。

また、こうした歴史文化の魅力を普及する取組を通じて、あま市への愛着を醸成していくことも取組を継続させていく上で、必要不可欠なものです。以上のような視点から、各段階に沿ってあま市の歴史文化についての基本目標と方向性を以下のように定めます。

基本目標と方向性

基本目標 1 「あまらしさ」を知り・守る

方向性 1 調査 あま市の歴史文化を構成する文化財を把握・整理する

方向性 2 保存 適切な手法・環境で文化財を保存する

基本目標 2 「あまらしさ」を「すばらしさ」に普及・活用する

方向性 3 普及 情報発信を充実し、歴史文化への興味を喚起する

方向性 4 活用 あま市の歴史文化を身近なものとし、愛着を醸成する

第6章 文化財の保存・活用に関する課題と方針

1. 文化財の保存・活用に関する課題

前章で示した将来像を実現するため基本的な方向性に沿って文化財の保存と活用を推進していくにあたり、現状から克服すべき課題を抽出し、以下に整理しました。

(1) 「あまらしさ」を知り・守るために克服すべき課題

■ 調査に関する課題 ■

課題①	市内2館の歴史民俗資料館の収蔵資料を再整理し、資料の保存と活用を推進する必要があります。
課題②	文化財の記録や資料を一元化し、円滑な管理を行う必要があります。
課題③	未指定文化財が十分に把握しきれておらず、消滅・散逸する可能性があります。
課題④	未指定を含めた文化財調査をするための人材が不足しています。

■ 保存に関する課題 ■

課題⑤	文化財の損壊や劣化を進める環境があります。
課題⑥	防災・防犯面で適切な保存・管理が出来ていない文化財があります。
課題⑦	歴史民俗資料館の収蔵品を継続的・計画的に保管し収蔵スペースを確保する必要があります。
課題⑧	未指定の文化財のなかには、指定に値する文化財が多く含まれています。
課題⑨	高齢化、担い手不足により伝統産業及び伝統芸能の貴重な技術が消滅する恐れがあります。
課題⑩	開発に伴う自然環境の変化により水辺の希少種が減少しています。

(2)「あまらしさ」を「すばらしさ」に普及・活用するために克服すべき課題

■ 普及に関する課題 ■

課題⑪	あま市の歴史文化に興味関心がない人の割合が多く、独自の歴史文化の継承がされていません。
課題⑫	子どもが各地域の祭りやイベントに参加する機会が少なく、地域コミュニティとの関わりが希薄になっています。
課題⑬	市民が文化財に触れる機会が少ない状況です。
課題⑭	市の歴史文化の中で、市民の興味関心や認知度の高い分野に偏りがあります。

■ 活用に関する課題 ■

課題⑮	歴史ある街道、祭り、話題性の高い武将、市内のイベント、文化財など、様々なあま市の観光資源を連携させた効果的な観光推進が必要です。
課題⑯	あま市の歴史文化の魅力を十分に伝えきれていません。
課題⑰	文化財所有者などと連携した文化財の活用が十分ではありません。
課題⑱	あま市の認知度が全国的に高くない状況です。

2. 文化財の保存・活用に関する基本方針

将来像を目指すために克服すべき課題に対し、それぞれの措置の基本方針を以下に示します。

(1)「あまらしさ」を知り・守るための基本方針

■ 調査に関する基本方針 ■

基本方針①	文化財の整理 美和歴史民俗資料館と甚目寺歴史民俗資料館の2館において独自に収集・保管している文化財を整理します。
基本方針②	文化財情報の一元管理 市内の文化財についての情報を一元化し円滑な管理を行います。
基本方針③	未指定文化財の調査・研究の推進 市内の未指定文化財の調査・研究を継続して実施し、市内文化財の把握に努めます。
基本方針④	文化財の調査体制の構築 文化財の調査について、継続的に調査できる体制を構築します。

■ 保存に関する基本方針 ■

基本方針⑤	文化財の適切な修理・保存及び維持管理 文化財が破損や劣化などしていないかを定期的に点検し、問題のあるものについては適切な修理の支援をします。
基本方針⑥	文化財の防災に関する意識の強化 災害による文化財の喪失や損壊などが起きぬよう、文化財についての防災意識を高めます。
基本方針⑦	文化財の防犯に関する意識の強化 文化財の損壊や盗難などの被害を防ぐため、文化財についての防犯意識を高めます。
基本方針⑧	歴史民俗資料館の整理と収蔵スペースの確保 収蔵方針を作成し、収蔵資料を整理します。
基本方針⑨	新たな文化財の指定等の促進 価値のある未指定文化財について指定等を行い、指定等文化財を充実させます。
基本方針⑩	伝統産業の技術の保存 あま市の歴史文化を特徴づける伝統産業の技術の記録を映像や書面、データなどで記録、保存します。
基本方針⑪	伝統芸能の技術の保存 伝統芸能の保存団体や継承者の保有する技術の喪失を防ぎます。
基本方針⑫	あま市に生息する希少種の保護 あま市に生息する希少種について、保護活動に努めます。

(2) 「あまらしさ」を「すばらしさ」に普及・活用するための基本方針

■ 普及に関する基本方針 ■

基本方針⑬	様々な手法による歴史文化への興味喚起 インターネットやSNS、マップなど様々な手法で文化財に関する情報発信を行います。
基本方針⑭	歴史文化の教育・学習環境の充実 出前講座の開設や教職員の研修など、あま市の歴史文化を学習する環境を充実します。
基本方針⑮	年代に合わせた地域の歴史文化を学ぶ機会の充実 市内の小・中学校や高校と連携し、交流しながらあま市の歴史文化を継続的に学ぶ機会を創出します。
基本方針⑯	子どもと地域との結びつきの強化 各地域の風習や祭りなど、継承されてきた行事などへの子どもの参加を促進し、地域との結びつきを強化します。
基本方針⑰	文化財に触れる機会の充実 歴史民俗資料館2館や七宝焼アートヴィレッジなどの展示会や体験教室などを充実し、文化財を身近に感じる機会を創出します。

基本方針⑱	幅広い分野にわたる歴史文化講座の充実 歴史散策や専門家の講演などの文化講座を充実し、様々な分野の歴史文化について学べる機会を充実します。
基本方針⑲	あま市の知られざる歴史文化について学ぶ機会の創出 独自の歴史検定など、様々な視点からあま市の歴史文化に触れることで、新たな発見へとつなげます。

■ 活用に関する基本方針 ■

基本方針⑳	文化財を活用した観光を推進するための人材育成 あま市の歴史文化に精通し、魅力を紹介できる人材を育成することで観光の促進につなげます。
基本方針㉑	文化財を活用した観光推進 文化財を活用し、他市町村と連携した観光や、案内看板の設置など、文化財を活用した観光を推進します。
基本方針㉒	文化財を活用した市内の周遊促進 市内にある鎌倉街道、津島街道、佐屋街道を活用した観光ルートの整備やツアーを実施し、市民や観光客の市内周遊を促進します。
基本方針㉓	歴史文化の拠点の強化と取組の充実 市民や関連団体と連携し、歴史文化の拠点を活用してイベントなどを実施することで、あま市の歴史文化の魅力を発信します。
基本方針㉔	様々な主体との協働促進 様々な文化財所有者と連携し、幅広い人が興味を持つような手法を用いてあま市の歴史文化の魅力を発信します。
基本方針㉕	あま市やあま市の魅力についての認知度の向上 特産品や市のブランド品を活用し、市外へあま市の魅力を発信します。

第7章 文化財の保存・活用に関する措置

1. 文化財の保存・活用に関する措置

あま市の将来像を実現するための方向性と現状の課題や方針を基に、本計画で推進する事業を体系的に整理します。各措置は、措置名、措置の内容、取組体制、取組年度を定め、計画的に実施します。

基本目標、方向性、課題、基本方針、措置の一覧【基本目標１ 「あまらしさ」を知り・守る】

将来像	基本目標	方向性	課題		基本方針		措置	
「あまらしさ」「すばらしさ」に	１「あまらしさ」を知り・守る	１調査	あま市の歴史文化を構成する文化財を把握・整理する	①	市内２館の歴史民俗資料館の収蔵資料を再整理し、資料の保存と活用を推進する必要がある。	①	文化財の整理	１ 資料受入れ体制の構築
				②	文化財の記録や資料を一元化し、円滑な管理を行う必要がある。	②	文化財情報の一元管理	２ 資料館収蔵資料の整理
				③	未指定文化財が十分に把握しきれておらず、消滅・散逸する可能性がある。	③	未指定文化財の調査・研究の推進	３ 市内文化財一覧リストの作成
								４ 歴史資料(古文書含む)に関する調査・研究
								５ 市内の年中行事などに関する調査・研究
								６ 無形民俗文化財に関する調査・研究
								７ 伝統産業に関する調査・研究
								８ 自然環境・希少種に関する調査・研究
								９ 出土遺物に関する調査・研究
								１０ 寺社及び寺社宝の調査・研究
				④	未指定を含めた文化財調査をするための人材が不足している。	④	文化財の調査体制の構築	１１ 分野ごとの調査体制の構築
								１２ 文化財の調査に関する補助員の育成
		２保存	適切な手法・環境で文化財を保存する	⑤	文化財の損壊や劣化を進める環境がある。	⑤	文化財の適切な修理・保存及び維持管理	１３ 文化財の損壊や劣化を食い止める適切な保存・管理の推進
				⑥	防災・防犯面で適切な保存・管理が出来ていない文化財がある。	⑥	文化財の防災に関する意識の強化	１４ 文化財防災への意識の啓発
						⑦	文化財の防犯に関する意識の強化	１５ 文化財防犯への意識の啓発
				⑦	歴史民俗資料館の収蔵品を継続的・計画的に保管し収蔵スペースを確保する必要がある。	⑧	歴史民俗資料館の整理と収蔵スペースの確保	１６ 収蔵方針の作成と計画的な資料の整理・保管の実施
				⑧	未指定の文化財のなかには、指定に値する文化財が多く含まれている。	⑨	新たな文化財の指定等の促進	１７ 文化財の指定等の促進
								１８ 文化財指定制度などについての啓発
				⑨	高齢化、担い手不足により伝統産業及び伝統芸能の貴重な技術が消滅する恐れがある。	⑩	伝統産業の技術の保存	１９ 伝統産業の技術の記録
						⑪	伝統芸能の技術の保存	２０ 伝統芸能の技術の記録
				⑩	開発に伴う自然環境の変化により水辺の希少種が減少している。	⑫	あま市に生息する希少種の保護	２１ 希少種の生息状況の見える化
								２２ 学校ビオトープを利用した保護活動の推進

基本目標、方向性、課題、基本方針、措置の一覧【基本目標2 「あまらしさ」を「すばらしさ」に普及・活用】

将来像	基本目標	方向性		課題		基本方針		措置	
「あまらしさ」が「すばらしさ」に	2 「あまらしさ」を「すばらしさ」に 普及・活用	3 普及	情報発信を充実し、歴史文化への興味を喚起する	⑪	あま市の歴史文化に興味関心がない人の割合が多く、独自の歴史文化の継承がされていない。	⑬	様々な手法による歴史文化への興味喚起	23	情報発信の充実
								24	市公式ウェブサイトの有効活用
								25	分野別文化財マップの作成
								26	文化財の公開の充実
				⑫	子どもが各地域の祭りやイベントに参加する機会が少なく、地域コミュニティとの関わりが希薄になっている。	⑭	歴史文化の教育・学習環境の充実	27	学校への出前講座の実施
								28	教職員を対象とした歴史文化を学ぶ講座の実施
						⑮	年代に合わせた地域の歴史文化を学ぶ機会の充実	29	発達段階に合わせた歴史文化を学ぶ計画の作成
								30	小中高で連携した歴史文化を学ぶ機会の創出
						⑯	子どもと地域との結びつきの強化	31	地域と連携した歴史文化に関する行事の推進
				⑬	市民が文化財に触れる機会が少ない状況になっている。	⑰	文化財に触れる機会の充実	32	歴史民俗資料館において、見て触る、体験できる機会の充実
								33	七宝焼アートヴィレッジにおいて、見て触る、体験できる機会の充実
								34	尾張七宝作品の展示場所の増設
								35	尾張七宝作品に触れ合う機会の創出
				⑭	市の歴史文化の中で、市民の興味関心や認知度の高い分野に偏りがある。	⑱	幅広い分野にわたる歴史文化講座の充実	36	市民ニーズにあった講座の実施
								37	外部専門員による歴史講座の充実
						⑲	あま市の知られざる歴史文化について学ぶ機会の創出	38	あま市の歴史文化を楽しく深掘りするしくみの構築
								39	新しい文化財について理解の促進
		4 活用	あま市の歴史文化を身近なものとし、愛着を醸成する	⑮	歴史ある街道、祭り、話題性の高い武将、市内のイベント、文化財など、様々なあま市の観光資源を連携させた効果的な観光推進が必要である。	⑳	文化財を活用した観光を推進するための人材育成	40	歴史ガイドボランティアの育成
						㉑	文化財を活用した観光推進	41	他市町村との連携による文化財の観光資源化の促進
								42	文化財の観光スポット化の促進
						㉒	文化財を活用した市内の周遊促進	43	市内の歴史ある街道の有効活用
								44	気軽に楽しく文化財に触れる観光ルートの整備
								45	文化財を活用した観光ツアーの実施
				⑯	あま市の歴史文化の魅力を十分に伝えきれていない。	㉓	歴史文化の拠点の強化と取組の充実	46	市民や関連団体などとの連携による文化財を活用したイベントの充実
				⑰	文化財所有者などと連携した文化財の活用が十分でない。	㉔	様々な主体との協働促進	47	文化財所有者などとの協働事業の実施
				⑰	あま市の認知度が全国的に高くない状況になっている。	㉕	あま市やあま市の魅力についての認知度の向上	48	特産品や歴史文化を活用した市ブランド力の向上

2. 措置の内容

前章で掲げた方針に沿って、あま市全域で取り組む措置を以下に掲げます。各取組においての主な取組体制や実施期間を設定し、アクションプランとしての実効性を確保します。

基本目標1 「あまらしさ」を知り・守る

方向性1 調査 あま市の歴史文化を構成する文化財を把握・整理する

基本方針① 文化財の整理

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間									
				R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)
1	資料受入れ体制の構築 歴史民俗資料館の資料収集方針を整備し、収蔵資料を精査します。	新規	●あま市（生涯学習課）										
2	資料館収蔵資料の整理 収蔵庫の収蔵方針を整備し、収蔵資料を整理します。	新規	●あま市（生涯学習課）										

基本方針② 文化財情報の一元管理

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間									
				R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)
3	市内文化財一覧リストの作成 文化財一覧及び調査の成果をリスト化し、関連部局との情報を共有します。	継続	●あま市（生涯学習課）										

取組体制の見方

- ⇒取組主体（取組を中心となってやる人）
- ⇒取組を協力・連携して手伝う人

基本方針③ 未指定文化財の調査・研究の推進

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間									
				R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)
4	歴史資料（古文書含む）に関する調査・研究 歴史民俗資料館収蔵資料の近世史文書の解説を進め活用します。	継続	●あま市（生涯学習課） ○学識経験者 ○文化財保護審議会委員										
5	市内の年中行事などに関する調査・研究 古老への聞き取りを基本に、年中行事や人生儀礼を取材し記録します。	継続	●あま市（生涯学習課） ○学識経験者 ○文化財保護審議会委員										
6	無形民俗文化財に関する調査・研究 各地域の寺社などで執り行われる祭事を取材し記録に留めます。定期的に調査を継続します。	継続	●あま市（生涯学習課） ○学識経験者 ○文化財保護審議会委員										
7	伝統産業に関する調査・研究 尾張七宝や刷毛産業などに関する調査・研究を推進します。	継続	●あま市（生涯学習課） ○あま市（商工観光課） ○文化財保護審議会委員 ○関連団体										
8	自然環境・希少種に関する調査・研究 「レッドデータブックあいち」に記載される希少種の確認と、その生息域を定期的に調査します。	継続	●あま市（環境衛生課） ○あま市（生涯学習課） ○学識経験者 ○文化財保護審議会委員										
9	出土遺物に関する調査・研究 出土遺物を整理し、保存・活用を図ります。	新規	●あま市（生涯学習課） ○学識経験者 ○文化財保護審議会委員										
10	寺社及び寺社宝の調査・研究 旧町時代に編纂された各町史に記載のある寺社、寺宝などの所在を再確認し、定期的に調査します。	新規	●あま市（生涯学習課） ○学識経験者 ○文化財保護審議会委員 ○文化財所有者										

基本方針④ 文化財の調査体制の構築

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間									
				R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)
11	分野ごとの調査体制の構築 文化財保護審議会委員の再編及び各委員による調査体制を構築します。	新規	●あま市（生涯学習課） ○学識経験者 ○文化財保護審議会委員 ○市民										
12	文化財の調査に関する補助員の育成 各調査の補助員を確保し、人材を育成します。	新規	●あま市（生涯学習課） ○学識経験者 ○市民										

方向性 2 保存 適切な手法・環境で文化財を保存する

基本方針⑤ 文化財の適切な修理・保存及び維持管理

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間										
				R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)	
13	文化財の損壊や劣化を食い止める適切な保存・管理の推進 指定文化財の状態を把握するため、個別の管理台帳を作成します。	新規	●あま市（生涯学習課） ●文化財所有者 ○文化財保護審議会											

基本方針⑥ 文化財の防災に関する意識の強化

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間										
				R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)	
14	文化財防災への意識の啓発	継続	●あま市（生涯学習課/ 危機管理課） ●文化財所有者 ○関係機関 ○市民											
	文化財所有者とともに文化財防火デーなどにおいて、情報発信などを行い、文化財への防災意識を高める啓発活動を実施します。													

基本方針⑦ 文化財の防犯に関する意識の強化

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間										
				R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)	
15	文化財防犯への意識の啓発 不測の事態に対応するための連絡・通報体制の整備と危機管理マニュアルの作成を行います。	新規	●あま市（生涯学習課） ○市民											

基本方針⑧ 歴史民俗資料館の整理と収蔵スペースの確保

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間									
				R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)
16	収蔵方針の作成と計画的な資料の整理・保管の実施 市内2館の資料館で保有する収蔵資料を収蔵方針に従い精査し、収蔵庫の整理を行います。	新規	●あま市（生涯学習課） ●文化財所有者 ○学識経験者										

基本方針⑨ 新たな文化財の指定等の促進

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間									
				R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)
17	文化財の指定等の促進 未指定文化財の調査・研究を行い、必要に応じて市の指定文化財、登録文化財等にします。	新規	●あま市（生涯学習課） ●文化財保護審議会 ○学識経験者 ○文化財所有者										
18	文化財指定制度などについての啓発 文化財の指定制度について、文化財保護への理解を含め、広報周知を実施します。	新規	●あま市（生涯学習課） ○学識経験者 ○文化財保護審議会 ○関連団体（観光協会/町内会）										

基本方針⑩ 伝統産業の技術の保存

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間									
				R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)
19	伝統産業の技術の記録 尾張七宝及び刷毛などに関わる人に聞き取り調査を実施します。	継続	●あま市（商工観光課） ○関連団体 ○市民										

基本方針⑪ 伝統芸能の技術の保存

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間									
				R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)
20	伝統芸能の技術の記録 甚目寺説教源氏節や各地域に伝わる手踊り、民踊、盆踊りといった民俗芸能の保存団体、継承者に聞き取り調査を実施します。	新規	●あま市（生涯学習課） ○関連団体										

基本方針⑫ あま市に生息する希少種の保護

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間									
				R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)
21	希少種の生息状況の見える化 開発部局と共有できる希少種を中心とした生き物マップを作成します。	新規	●あま市（生涯学習課） ○あま市（環境衛生課 / 都市計画課 / 土木課） ○学識経験者										
22	学校ビオトープを利用した保護活動の推進 あま市の希少種を保護し、市内小学校と協働で保護活動を実施します。	新規	●あま市（生涯学習課 / 学識経験者） ●関連団体（学校） ○学識経験者										

方向性3 普及 情報発信を充実し、歴史文化への興味を喚起し郷土愛を醸成する

基本方針⑬ 様々な手法による歴史文化への興味喚起

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間									
				R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)
23	情報発信の充実 広報、市公式ウェブサイト、SNS等を活用し、文化財の情報を発信します。	新規	●あま市（生涯学習課）										
24	市公式ウェブサイトの有効活用 未指定文化財を含めた文化財の紹介記事を連載します。	新規	●あま市（生涯学習課）										
25	分野別文化財マップの作成 指定文化財のマップ及び6類型ごとの（指定含む）未指定文化財のマップを作成、適宜更新を行います。	新規	●あま市（生涯学習課）										
26	文化財の公開の充実 デジタルミュージアムなどを通して文化財を公開します。	新規	●あま市（生涯学習課） ●文化財所有者 ○学識経験者										

基本方針⑭ 歴史文化の教育・学習環境の充実

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間									
				R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)
27	学校への出前講座の実施 小学校への出前授業を定期的実施します。	継続	●あま市（生涯学習課）										
28	教職員を対象とした歴史文化を学ぶ講座の実施 歴史文化を体験できる授業を実施します。	新規	●あま市（生涯学習課） ○関連団体（学校）										

基本方針⑮ 年代に合わせた地域の歴史文化を学ぶ機会の充実

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間											
				R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)		
29	発達段階に合わせた歴史文化を学ぶ計画の作成 ----- 中学、高校での体験に重点を置いた出前授業のプログラムを作成し実施します。	新規	●あま市（生涯学習課）												
30	小中高で連携した歴史文化を学ぶ機会の創出 ----- 小中高校生が交流しつつあま市の歴史文化を学び合う学習講座を実施します。	新規	●あま市（生涯学習課） ○市内愛知県立高等学校												

基本方針⑯ 子どもと地域との結びつきの強化

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間											
				R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)		
31	地域と連携した歴史文化に関する行事の推進 ----- 各地域で行われる行事を把握し、学校での周知や、地域ごとに子どもが行事に参加しやすいように工夫します。	新規	●あま市（生涯学習課/ 関係課）												

基本方針⑰ 文化財に触れる機会の充実

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間										
				R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)	
32	歴史民俗資料館における見て触る、体験できる機会の充実 歴史民俗資料館において、魅力ある展示会や体験できる教室を実施します。	継続	●あま市（生涯学習課） ○市民											

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間									
				R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)
33	七宝焼アートヴィレッジにおいて見て触る、体験できる機会の充実 七宝焼アートヴィレッジにおいて、魅力ある展示会や体験できる教室を実施します。	継続	●あま市（商工観光課）										
34	尾張七宝作品の展示場所の増設 尾張七宝作品を現在置いていない施設にも設置場所を設け、市内施設での展示を継続して実施します。	新規	●あま市（生涯学習課/ 商工観光課） ○関連団体（観光協会）										
35	尾張七宝作品に触れ合う機会の創出 尾張七宝作品を希望者へ貸出し、身近に置くことでその魅力を認識する機会を創出します。	新規	●あま市（生涯学習課/ 商工観光課） ○市民										

基本方針⑩ 幅広い分野にわたる歴史文化講座の充実

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間									
				R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)
36	市民ニーズにあった講座の実施 郷土の料理や偉人、美術品、風習など扱う分野やテーマを広げ、興味を惹く内容となるよう工夫し、文化財を周知できるような歴史講座や散策会を実施します。	継続	●あま市（生涯学習課） ○関連団体（観光協会） ○文化財所有者 ○市民										
37	外部専門員による歴史講座の充実 高度で専門的な歴史講演会を実施します。	継続	●あま市（生涯学習課） ○学識専門家										

基本方針⑱ あま市の知られざる歴史文化について学ぶ機会の創出

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間									
				R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)
38	あま市の歴史文化を楽しく深掘りするしくみの構築 市の歴史文化に特化したご当地検定を開催します。	継続	●あま市（生涯学習課） ○文化財所有者 ○市民										
No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間									
				R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)
39	新しい文化財について理解の促進 文化財に関する報告会を実施します。	新規	●あま市（生涯学習課） ○文化財所有者 ○市民										

方向性 4 活用 あま市の歴史文化を身近なものとし、愛着を醸成する

基本方針⑳文化財を活用した観光を推進するための人材育成

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間									
				R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)
40	歴史ガイドボランティアの育成 毎年養成講座を行い、2年目以降のガイドについてはフォローアップ講座を実施します。	継続	●あま市（生涯学習課） ●市民 ○関連団体（観光協会）										

基本方針②① 文化財を活用した観光推進

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間									
				R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)
41	他市町村との連携による文化財の観光資源化の促進 他市町村と連携した歴史文化の観光PRを推進します。	新規	●あま市（生涯学習課/ 商工観光課） ●市民 ○関連団体（観光協会） ○あま歴史研究会										
42	文化財の観光スポット化の促進 文化財の案内看板の設置や、多言語での説明・解説、QRコードを利用した視覚的な文化財の説明の補足など、様々な人が文化財の正しい知識をその場で確認できるよう整備します。	新規	●あま市（生涯学習課） ○関連団体（国際交流協会/観光協会） ○文化財所有者 ○市民										

基本方針②② 文化財を活用した市内の周遊促進

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間									
				R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)
43	歴史ある街道の有効活用 鎌倉街道、津島街道、佐屋街道を活用した歴史散策会を実施します。	新規	●あま市（生涯学習課） ●市民 ○関連団体（観光協会）										
44	気軽に楽しく文化財に触れる観光ルートの整備 文化財と連携した観光周遊ルートを整備します。	新規	●あま市（観光商工課） ●関連団体（観光協会） ○あま市（生涯学習課）										
45	文化財を活用した観光ツアーの実施 文化財と連携した観光周遊ツアーを実施します。	新規	●あま市（観光商工課） ●関連団体（観光協会） ○あま市（生涯学習課）										

基本方針②③ 歴史文化の拠点の強化と取組の充実

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間									
				R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)
46	市民や関連団体などとの連携による文化財を活用したイベントの充実 市民グループと協働でイベントを実施します。	新規	●あま市（生涯学習課/ 商工観光課） ○市民 ○関連団体（観光協会/ 商工会）										

基本方針②④ 様々な主体との協働促進

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間									
				R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)
47	文化財所有者などとの協働事業の実施 多くの人が文化財に対して興味と関心を持つきっかけとなるよう、ユニークベンチャーなどを実施します。	新規	●あま市（生涯学習課/ 商工観光課） ●関連団体（観光協会/ 商工会） ○文化財所有者 ○市民										

基本方針②⑤ あま市やあま市の魅力についての認知度の向上

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間									
				R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)
48	特産品や歴史文化を活用した市ブランド力の向上 まちづくり分野へ文化財を活用し、市のブランド力向上となるようイベントに参加します。	新規	●あま市（商工観光課） ●関連団体（観光協会/ 商工会） ○あま市（生涯学習課） ○文化財所有者										

第8章 文化財保存活用区域

1. 保存活用区域の目的

文化財保存活用区域とは、「文化財が特定の範囲に集積している場合に、当該文化財（群）をその周辺環境も含めて面的に保存・活用するために設定するもの」（『文化財保存活用地域計画パンフレット』（文化庁、2022・3））です。個別の文化財ではなく、指定・未指定を問わず様々な文化財が集中している区域全体を保存・活用することで魅力的な空間を創出することを目指すものです。あま市においても、文化財の保存・活用の促進を図り、住民と共に地域を活性化させるため、文化財保存活用区域を設定します。

2. 保存活用区域の設定の考え方

第2章で述べたように、あま市には多様な文化財が点在しており、また、第3章で示したように歴史文化にはいくつかの特徴が見られます。そこで、①文化財が集中している、②歴史や文化に特徴が見出せる、これらの考え方にに基づき文化財保存活用区域を設定しました。

3. 保存活用区域及びその保存活用計画（課題・方針・措置）

（1）文化財保存活用区域について

①文化財保存活用区域の名称

甚目寺と門前町

②文化財保存活用区域の概要

甚目寺とその門前町周辺を範囲とした文化財保存活用区域です。甚目寺は推古5（597）年に、漁師^{はだめたつまる}甚目竜麿が海中より引き上げた紫金^{しきん}の観音像を安置したことに始まるとされる古刹^{こさつ}です。^{とよとみひでよし}豊臣秀吉や^{とくがわよしなお}徳川義直など時の有力者からも庇護され、庶民に篤く信仰されてきました。境内には南大門をはじめとした文化財を多く有しています。また津島街道にも面していることから、寺周辺は門前町として栄えてきました。そのため、この一帯には寺にゆかりある文化財が集中しています。

文化財保存活用区域【甚目寺と門前町】

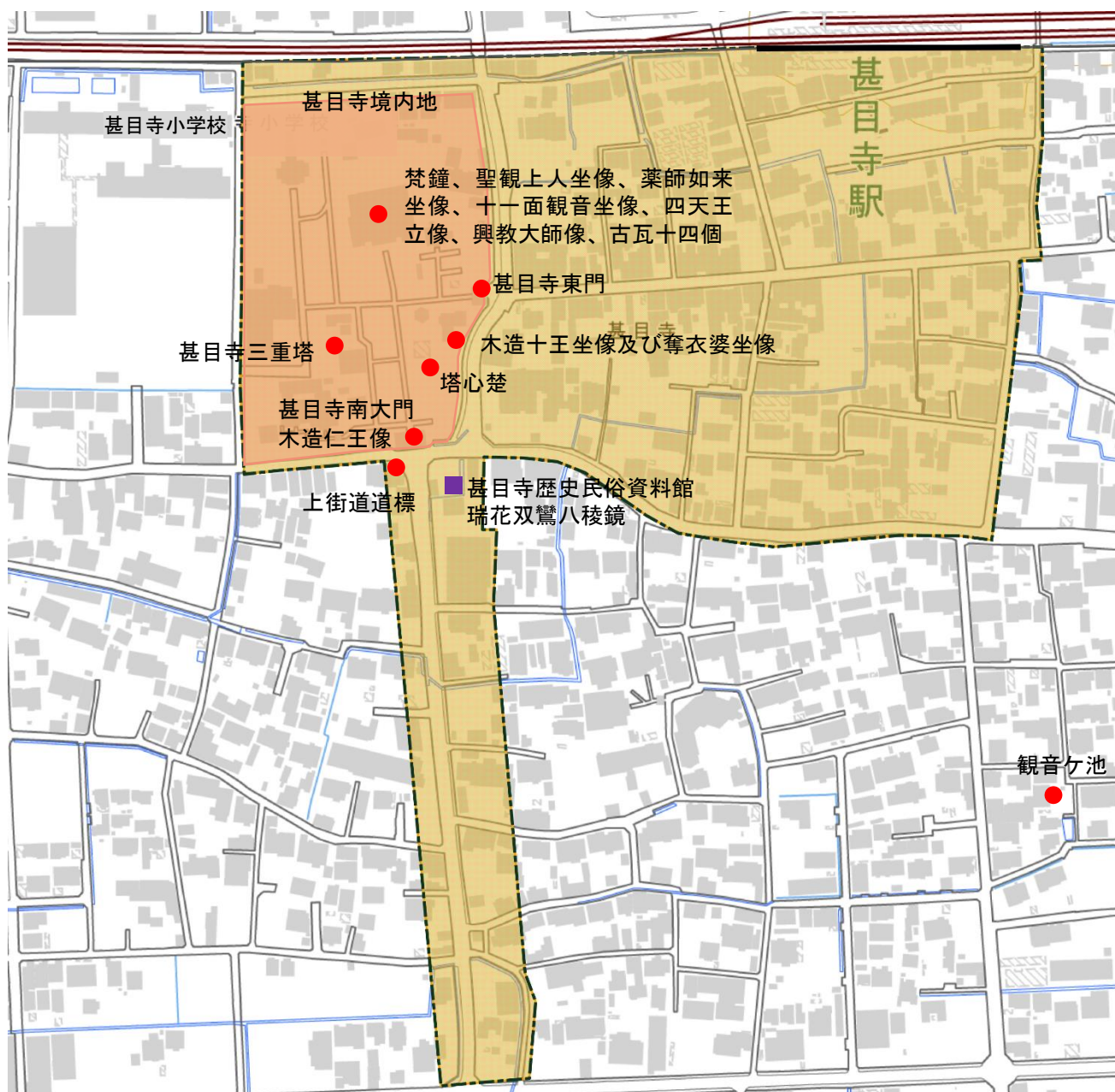


古代から現在に至るまで、さまざまな歴史と文化が育まれてきた場所であり、当市における信仰の歴史と文化を伝える貴重な区域と言えます。

③保存活用区域内の主な文化財

番号	文化財の名称	類型	指定等・未指定
1	甚目寺南大門	建造物	国指定
2	甚目寺三重塔	建造物	国指定
3	甚目寺東門	建造物	国指定
4	絹本著色不動尊像	絵画	国指定
5	絹本著色仏涅槃図	絵画	国指定
6	木造愛染明王坐像	彫刻	国指定
7	木造仁王像	彫刻	県指定
8	田中訥言画蹟	絵画	県指定
9	瑞花双鸞八稜鏡	工芸	県指定
10	梵鐘	工芸	県指定
11	甚目寺境内地	史跡	市指定
12	古瓦十四個	埋蔵文化財	未指定
13	聖観上人坐像	彫刻	未指定
14	木造十王坐像及び奪衣婆坐像	彫刻	未指定
15	十一面観音坐像	彫刻	未指定
16	四天王立像	彫刻	未指定
17	興教大師像	彫刻	未指定
18	三千仏図	絵画	未指定
19	釈迦十六善神図	絵画	未指定
20	両界曼荼羅	絵画	未指定
21	弘法大師画像	絵画	未指定
22	甚目寺縁起	歴史資料	未指定
23	紺紙金子法華経	歴史資料	未指定
24	三重塔擬宝珠	歴史資料	未指定
25	上街道道標二基	史跡	未指定
26	観音ヶ池	史跡	未指定
27	塔心礎	歴史資料	未指定

④文化財保存活用区域の地図（区域の範囲）



出典：国土地理院 地理院タイルを加工して作成

(2) 文化財保存活用区域の課題

この区域を保存活用していくにあたり、課題を以下に整理します。

課題①	甚目寺は、市内の他寺院に比べ歴史的な資料も多く残され、調査されてはいますが、民俗文化財などの調査研究が進んでいない分野があります。
課題②	甚目寺周辺には複数の寺社が所在しますが、調査研究があまり進んでいません。各寺社が所蔵する歴史資料などの調査研究を進めることにより、甚目寺との関わりを明らかにする必要があります。
課題③	甚目寺や周辺寺社が所有する貴重な文化財を災害や犯罪から守るために、区域内に所在する文化財を把握し、守る体制を構築する必要があります。
課題④	寺社が所有する未指定文化財の保存について、環境整備や修繕に係る補助金などが無い場合所有者の負担によるとなれば、保存に支障をきたす恐れがあります。
課題⑤	名鉄甚目寺駅から徒歩5分程度の好立地に位置する甚目寺ですが、寺に至るまでの道に活気があるとは言えない状況です。寺周辺の商店街の活性化が求められています。
課題⑥	甚目寺境内では、市民団体、事業者などにより定期的にイベントが開催され、多くの人が集う場にもなっています。しかし、甚目寺の文化財に対する興味関心にはうまくつながっていません。

(3) 文化財保存活用区域の方針

この区域を保存活用していくにあたっての基本方針を以下のように定めます。

基本方針①	甚目寺の調査・研究 甚目寺の年中行事を把握し、まだ把握していない民俗調査などを進め、記録に残します。
基本方針②	甚目寺周辺の寺社の調査・研究 甚目寺周辺の寺社が保存している歴史資料の調査研究を進めます。
基本方針③	文化財防災・防犯環境の整備 「国宝・重要文化財（建造物）等の防火対策ガイドライン」及び「国宝・重要文化財（美術工芸品）を保管する博物館等の防火対策ガイドライン」を基に、区域内の文化財の防火対策についての状況を把握・整理します。それらの情報を踏まえ、区域内の寺社において、文化財の保存状態や保存環境などを含めた文化財台帳を作成します。また地域住民が連携して文化財を守るための意識の啓発をすることで、防犯体制の構築を図ります。
基本方針④	未指定文化財の防災・防犯設備の整備支援 防災、防犯設備を整備するための支援を計画的に推進します。
基本方針⑤	甚目寺を中心とした周辺区域の活性化 名鉄甚目寺駅から甚目寺までの参拝道を中心とした商店街や景観などを門前町として捉え、一体的な活性化を図ります。
基本方針⑥	他分野との連携による、歴史文化への興味喚起 甚目寺の境内で開催されるイベントと連動し、あま市の歴史文化に関連する取組も同時に行い、参加者があま市の歴史文化に興味を持つきっかけを創出します。

保存活用区域の課題、基本方針、措置の一覧【甚目寺と門前町】

保存活用区域の課題		保存活用区域の基本方針		措置	
①	甚目寺は、歴史的な資料も残され調査はされてはいるが、民俗文化財などの調査研究が進んでいない分野がある。	①	甚目寺の民俗文化財などの調査・研究	49	甚目寺内の民俗文化財などの未調査の文化財についての調査・研究の推進
②	甚目寺周辺には複数の寺社が所在するが、調査研究があまり進んでいない。各寺社が所蔵する歴史資料などの調査研究を進めることにより、甚目寺との関わりを明らかにする必要がある。	②	甚目寺周辺の寺社の歴史資料の調査・研究	50	甚目寺周辺の寺社所蔵の歴史資料の調査・研究
③	甚目寺や周辺寺社が所有する貴重な文化財を災害や犯罪から守るためにも、区域内に所在する文化財を把握し、守る体制を構築する必要がある。	③	文化財防災・防犯環境の整備	51	区域内の文化財台帳の作成
				52	地域住民と連携した文化財を守る体制の構築
④	寺社が所有する未指定文化財の保存について、環境整備や修繕に係る補助金などがないため所有者の負担によれば、保存に支障をきたす恐れがある。	④	未指定文化財の防災・防犯設備の整備支援	53	未指定文化財の防災・防犯設備の整備支援
⑤	名鉄甚目寺駅から徒歩5分程度の好立地に位置する甚目寺だが、寺に至るまでの道に活気があるとは言い難い。寺周辺の商店街の活性化が求められている。	⑤	甚目寺を中心とした周辺区域の活性化	54	甚目寺と門前町の活性化
⑥	甚目寺境内では、市民団体、事業者などにより定期的にイベントが開催され、多くの人が集う場にもなっている。しかし、甚目寺の文化財に対する興味関心にはつながっていない。	⑥	他分野との連携による、歴史文化への興味喚起	55	甚目寺での民間イベントと連携した見学ツアーの実施

(4) 文化財保存活用区域に関する措置

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組主体	実施期間									
				R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)
49	甚目寺内の民俗文化財などの未調査の文化財についての調査・研究の推進 甚目寺の民俗文化財に関する所蔵資料などを継続的に調査します。	新規	●あま市 (生涯学習課) ○学識経験者 ○所有者										
50	甚目寺周辺の寺社所蔵の歴史資料の調査・研究 甚目寺周辺の寺社に所蔵されている歴史資料を継続的に調査し、甚目寺との関連性などを明らかにします。	新規	●あま市 (生涯学習課) ○学識経験者 ○所有者										
51	区域内の文化財台帳の作成 「国宝・重要文化財（建造物）等の防火対策ガイドライン」及び「国宝・重要文化財（美術工芸品）」を保管する博物館等の防火対策ガイドライン」に基づき、区域内の指定文化財・未指定文化財の文化財台帳を作成し、基本情報に加え周辺環境や保存状況を把握します。	新規	●あま市 (生涯学習課) ○文化財所有者										
52	地域住民と連携した文化財を守る体制の構築 地域住民を対象に甚目寺を中心とした文化財の防災、防犯についての情報発信などを行い、文化財への関心を高め、防災、防犯意識の啓発、体制づくりを行います。	新規	●あま市 (生涯学習課) ○文化財所有者										
53	未指定文化財の防災、防犯設備の整備支援 文化財台帳を基に、必要な防火設備や耐震設備、防犯設備などの計画的な整備を推進します。	新規	●あま市 (生涯学習課) ○文化財所有者 ○市民										
54	甚目寺と門前町の活性化 名鉄甚目寺駅から甚目寺までの参道を中心とした周辺の商店街、景観など観光拠点としての整備など活性化を図ります。	既存	●あま市 (生涯学習課) ○関連団体 (観光協会) ○文化財所有者										
55	甚目寺での民間イベントと連携した見学ツアーの実施 甚目寺境内で開催されるイベントなどと連携した文化財の公開や見学ツアーを開催し、イベント参加者が歴史文化に興味を持つきっかけを創出します。	新規	●あま市 (生涯学習課/商工観光課) ○関連団体 (観光協会) ○文化財所有者 ○市民										

第9章 文化財の防災・防犯

第7章 文化財の保存・活用に関する措置で示した取組に加え、あま市の文化財全般に関する防災・防犯における課題と方針、措置を防災においては平時、災害時で整理し、以下に示します。また、防災・防犯体制を強化し、文化財を守るために講じる措置を確実に実施します。

1. 文化財の防災・防犯に関する課題

防災、防犯に関する課題は以下のようなことが考えられます。

(1) 防災の課題

■ 平時の課題 ■

課題①	あま市は、ほぼ全域が海拔ゼロメートル以下で、市内には多数の河川が流れています。水路も多く、過去にも台風・豪雨による河川の氾濫や内水氾濫被害が発生しており、多くの地域が浸水想定区域に指定されています。しかし、市内の文化財がどこにどのような状況で所在しているのか、情報を一元化できておらず、災害時の文化財の状況確認を円滑に行うことが難しい状況です。
課題②	旧集落内の生活道路は幅員が狭い状況となっており、火災などの災害時の消火活動や避難路確保の問題があります。
課題③	人口増加や都市化の進展などにより、市街地などで居住地域が拡大しており、住宅の密集地では火災の延焼、拡大の危険性が高くなっています。
課題④	文化財の保存状態や環境が適切でなく、災害時に甚大な被害を受ける可能性のある文化財があります。
課題⑤	近年では、各地域住民による防災の取り組みが、その主体性に依るところが大きくなっていましたが、地域によってはコミュニティが希薄化しています。
課題⑥	無住の寺院が散見され所有している仏像など、災害時の保護に不安があります。また、そうした文化財を含む市内の文化財の防災に関し、連携体制を強化する必要があります。

■ 災害時の課題 ■

課題①	文化財の避難など、各地域の文化財をその地域の力で守るための防災知識や意識、体制構築が十分でなく、災害時に迅速に対応できない可能性があります。
課題②	文化財の保存に関し広域での連携体制について、連携先と連携内容が明確に把握できていない状況です。
課題③	文化財所管課の人材には限りがあり、災害の規模や被災状況によっては、災害発生時や発生直後に文化財の被害状況を把握できない可能性があります。
課題④	文化財所管課には文化財に関する専門知識を有する職員を配置していますが、すべての分野についての専門家を配置することは難しい状況です。

（２）防犯の課題

課題①	各文化財の防犯環境の整備について、所有者に依るところが大きくなっています。
課題②	他市町村で文化財の盗難が発生しており、防犯環境を強化する必要があります。
課題③	火災や破損などを防ぐ施設・設備、防犯体制が整備されていない文化財があり、消失するおそれがあります。
課題④	各地区で文化財を守る体制の構築が必要です。

2. 文化財の防災・防犯に関する方針

「国宝・重要文化財（建造物）等の防火対策ガイドライン」及び「国宝・重要文化財（美術工芸品）」を保管する博物館等の防火対策ガイドライン」に基づきながら、以下のような方針で、防火対策や耐震、防犯対策を講じます。また、国立文化財機構文化財防災センターをはじめ、愛知県や近隣市町などとの平時からの連携体制の構築を図ります。

（１）防災の方針

■ 平時の方針 ■

方針①	未指定文化財の所在や保存環境の情報を一元管理し、防災に活用します。
方針②	あま市の特徴を示す景観に配慮しつつ狭隘な道路などの整備ができるよう、関係機関に働きかけをします。
方針③	文化財への対応を含んだ防災訓練などにより災害時の危険性を低減します。
方針④	各文化財について点検や修理、保存環境の整備により災害時の被害の甚大化を防ぎます。
方針⑤	文化財に対する興味関心や防災意識の啓発を推進し、地域での防災意識の啓発や体制を構築します。
方針⑥	管理者が明確でない文化財を含む市内文化財の防災体制を強化し、文化財の保存を推進します。

■ 災害時の方針 ■

方針①	各地域で市民や所有者、団体、行政が連携して文化財を保存するための情報発信を行い、防災意識の啓発や連携体制の構築を促進します。
方針②	他市町村との連携を強化し、災害時に文化財を相互協力し保存する、広域での体制を構築します。
方針③	専門家や学識者と連携し、市内文化財の被害状況を速やかに把握します。
方針④	外部の専門家や学識者の助言に基づき、文化財の適切な保存を推進します。

(2) 防犯の方針

方針①	市内の各文化財の保存環境や防犯設備の設置状況を把握し、計画的な防犯設備の整備につなげます。
方針②	他市町村と連携し文化財の盗難情報などを迅速に把握し、防犯施設、設備の整備を行います。
方針③	市民や関連団体と行政が連携し、普段からの文化財防犯の取組を強化します。

3. 文化財の防災・防犯に関する措置

課題、方針に基づき、以下のような措置を講じます。

(1) 防災の措置

■ 平時の措置 ■

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組主体	実施期間									
				R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)
56	文化財台帳の作成 指定文化財・未指定文化財の文化財台帳を作成し、基本情報に加え周辺環境や保存状況を把握します。	新規	●あま市（生涯学習課）										
57	景観に配慮した狭 ^{きょうあい} 隘な道路の整備 あま市の特徴を示すような景観を保全しつつ災害時に危険な狭隘道路の整備を行います。	新規	●あま市（都市計画課/土木課） ○あま市（生涯学習課）										
58	防火訓練の実施 住宅の密集地や、危険物を扱う施設やその周辺を中心に実践的な防火訓練の実施を促進します。	継続	●関連団体（自主防災会） ○あま市（生涯学習課）										
59	防火設備の整備 「国宝・重要文化財（建造物）等の防火対策ガイドライン」及び「国宝・重要文化財（美術工芸品）」を保管する博物館等の防火対策ガイドラインに基づき、防火設備の設置と設備の適切な保守点検を促進します。	継続	●あま市（生涯学習課/商工観光課） ○文化財所有者 ○関連団体（消防団）										
60	文化財の修理や周辺環境の整備 文化財の点検・修理を適宜行い、周辺施設についても耐震化などを促進することで災害発生時の被害が甚大化することを防ぎます。	新規	●あま市（生涯学習課/商工観光課） ●あま市（危機管理課） ●文化財所有者										

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組主体	実施期間									
				R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)
61	地域ごとの文化財と防災の意識の醸成 地域ごとに文化財と防災をテーマにした情報発信や出前講座を実施し、文化財への興味関心を高めるとともに、地域での文化財防災に関する意識を醸成します。	新規	●あま市（生涯学習課）										
62	文化財の管理体制の整備 管理者や所有者が不明な文化財についても適切に保存されるよう、管理体制を整備します。	新規	●あま市（生涯学習課）										
63	文化財の防災体制の強化 市を中心とした消防署、関連団体、市民、所有者などによる文化財の防災体制を構築・強化し、災害時にも適切に対応できるしくみを整備します。	新規	●あま市（生涯学習課） ○あま市（危機管理課） ○関連機関（消防署） ○関連団体（文化協会/民間企業） ○市民										

■ 災害時の措置 ■

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組主体	実施期間									
				R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)
64	地域による文化財防災のしくみの構築 地域ごとに市や消防、団体、市民などが協力し文化財の避難など円滑に対応できるよう、体制の構築や役割の整理など、災害時の文化財防災のしくみを整備します。	新規	●あま市（生涯学習課） ○あま市（消防/危機管理課） ○関連団体（民間企業） ○市民										
65	地域別文化財防災マニュアルの作成 災害時に迅速な対応ができるよう、地域別に文化財防災マニュアルを作成し、所有者や市民の災害時の円滑な対応を促進します。	新規	●あま市（生涯学習課） ○あま市（危機管理課）										
66	広域連携による文化財の保存体制の強化 国立文化財機構文化財防災センターや愛知県の文化財レスキュー、近隣及び災害協定を締結している他市町村、団体、企業などとの連携を強化し、災害時に円滑に救援を依頼し合える体制を平時から構築します。	継続	●あま市（生涯学習課） ○関係機関（国、県、他市町村） ○市民										

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組主体	実施期間									
				R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)
67	専門家による被害状況の調査の実施	新規	●あま市（生涯学習課） ○学識経験者 ○文化財保護審議会										
	災害発生後速やかに専門家や学識者による被害状況の調査を実施し、被害の甚大化を防ぎます。												
68	文化財の各分野の専門家との連携推進	継続	●あま市（生涯学習課） ○学識経験者										
	文化財の各分野の専門家との連携体制を充実し、保存環境についての助言や、修理・修復の必要がある文化財について、技術的な助言や指導を求め、専門的な知見に基づいた適切な処置を行います。												

（２）防犯の措置

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組主体	実施期間									
				R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)
69	防犯設備の設置状況の把握	新規	●あま市（生涯学習課）										
	市内文化財の保存環境と防犯カメラなどの防犯設備の設置状況を把握し、文化財台帳に反映します。												
70	文化財の防犯に関する広域連携体制の強化	継続	●あま市（生涯学習課） ○関係機関（他市町村）										
	他市町村と定期的に文化財に関する情報交換を行い、盗難情報など迅速に把握し、防犯施策において連携体制を構築します。												
71	適切な防犯施設・設備の整備	継続	●あま市（生涯学習課） ○文化財所有者										
	必要な文化財に防犯カメラなど防犯設備の設置や、保存施設の整備を行います。												
72	文化財パトロールの実施	新規	●あま市（生涯学習課） ○関連団体（観光協会） ○市民										
	ガイドボランティアなど関連団体や市民、市が連携し、定期的に文化財の防犯パトロールを行います。												

4. 文化財の防災・防犯の推進体制

前項で示した措置を実施するための防災・防犯の推進体制を以下に示します。

防災においては、平時には、消防や庁内担当課、文化財所有者、関連団体、他市町村、外部団体と連携体制を構築し、非常時に迅速に救援や支援を求められる環境を整備します。また、文化財保護の補助金申請団体に対し、防犯対策についても定期的な報告を求め、防災意識の啓発を行います。

非常時には、国（国立文化財機構文化財防災センター）や県に速やかに状況を報告し、指示や支援を受けつつ、防災協定を締結している他市町村や外部の企業・団体と連携して対応します。また、文化財の各分野の専門家とも連携し、被害状況の調査や修理・修復についての助言などを受け、適切な処置を行います。

防犯については、平時には、警察、文化財の所有者、関連団体などと連携しながら文化財に異変がないか、点検・見守りを行います。また、盗難・破損などについての情報交換を迅速に行うための連携体制を構築します。

あま市文化財防災・防犯の推進体制



第10章 文化財の保存・活用の推進体制

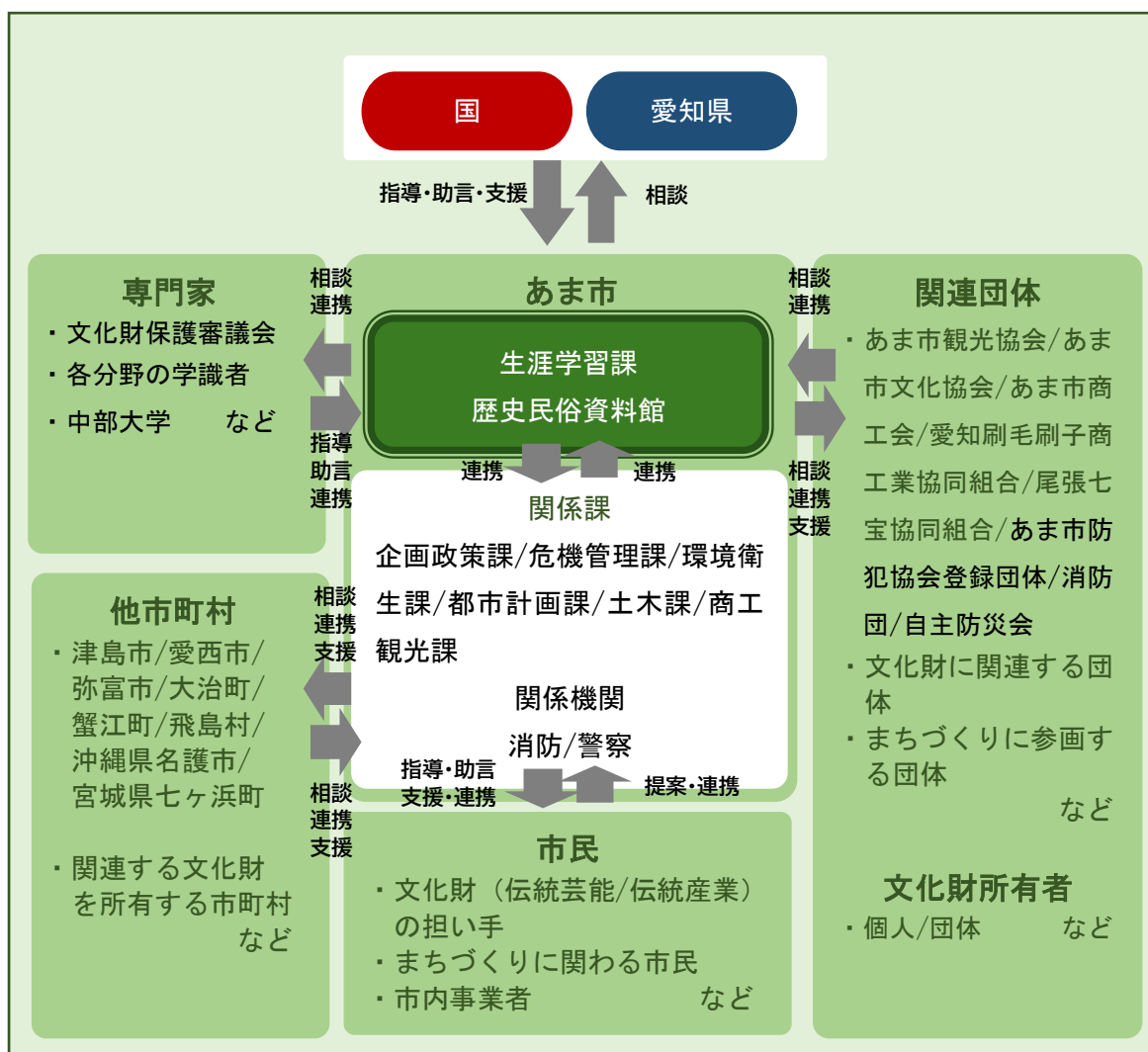
1. 文化財の保存・活用の推進体制

あま市の総合計画で掲げる将来像「ともに想い ともに創る ずっと大好きなまち“あま”」には、あま市に関わるすべての人が、それぞれの多様性を認め合い（共想）、多様な主体が一緒になってまちづくり（共創）を進めていくことにより、すべての人にとって“あま市”がずっと大好きなまちでいられるようにという願いが込められています。

文化財を保存・活用していく上でもこの将来像を目指し、市民や行政といった立場に関係なく、あま市全体でそれぞれができることを役割として主体的に取り組んでいくことが必要です。

行政においては、本計画で示した取組は文化財の保存をはじめ、周辺環境の整備や文化財を活用した観光振興、防犯・防災対策、まちの魅力情報発信など、幅広い分野にわたることから、関係部局との庁内連携を一層強化し、施策を展開する必要があります。

あま市文化財保存・活用の推進体制



2. 各主体の役割

文化財の保存・活用を推進する取組主体を以下のように構成し、それぞれの役割を定めます。

		取組主体		役割、配置状況など	
行政	国	文化庁		文化財の指定等・解除、文化財補助、文化財の保存活用についての助言、指導など	
		国立文化財機構 文化財防災センター		災害発生時の救援・支援	
	県	県民文化局文化部 文化芸術課文化財室		文化財の指定・解除、文化財補助、文化財の保存活用についての助言、指導など	
	あま市	担当課	生涯学習課	歴史民俗資料館の管理、運営 歴史文化の紹介（展示）、調査研究、情報提供、教育普及 職員４名（うち専門職員０名）	
		関係課	企画政策課	あま市の基本施策の企画、調査、総合調整、広報活動 など	
			危機管理課	防災、消防、火災予防、水防、防犯の推進	
			環境衛生課	自然環境の保全や緑化の推進	
			都市計画課	歴史文化を活かした都市計画、公園などの整備	
			土木課	道路、河川、橋梁などの整備	
			商工観光課	あま市の観光や産業振興事業や、文化財を生かした市の魅力の発信など （七宝焼アートヴィレッジ） 七宝焼の展示、技術の普及、魅力の紹介など ※商工観光課の所管 職員４名（うち専門職員０名）	
		関係機関	消防	平時の防災対策、非常時の対応	
			警察	平時の防犯対策、非常時の対応	
専門家	あま市文化財保護審議会		専門的知見によるあま市の文化財の保護や活用に関する助言や指導 委員数 ６名（考古学、歴史資料（古文書）、記念物（生物）、美術工芸（仏像）、文化財活用、民俗、地域連携、地域おこし）		
	愛知県博物館協会		県内博物館などとの交流、情報提供、学芸員の研究・交流支援など		
	中部大学		まちづくり、防災、産業振興、教育、地域文化振興など多様な分野での取組の連携		
関連団体	あま市観光協会		観光企画・案内、歴史文化の紹介、広報など		
	あま市商工会		新たな特産品の開発、市内事業者の支援		
	あま市文化協会		郷土芸能や伝統文化などの文化振興の推進・支援		
	愛知刷毛刷子商工業協同組合		刷毛産業の技術の継承、魅力の発信		

	取組主体	役割、配置状況など
関連団体	尾張七宝協同組合	尾張七宝の技術の継承、魅力の発信
	ガイドボランティア	あま市の観光スポットの紹介、歴史文化の紹介
	あま市防犯協会登録団体	平時の市民パトロールや防犯啓発活動など
	消防団	平時の避難訓練や防災・防犯の啓発、非常時の対応
	自主防災会	地域での自主的な備えや防犯・防災体制の構築
文化財所有者		文化財保護法に基づく文化財の保存・活用
市民		文化財の保存・活用推進活動への積極的な参画
他市町村	津島市/愛西市/弥富市/大治町/蟹江町/飛島村/沖縄県名護市/宮城県七ヶ浜町	文化財に関する定期的な情報交換及び災害時の相互協力による文化財の保護

資料編

1. 作成経緯

年度	月	内 容
令和4年度	令和4年 8月	第1回あま市文化財保存活用地域計画委員会 実施日 8月25日 議 題 (1) あま市文化財保存活用地域計画作成について (2) 委員会の日程及び内容について
	10月	市民アンケート調査 調査期間 10月5日～10月24日 調査対象 18歳以上のあま市市民から無作為抽出 調査方法 郵送による調査票の配布、郵送とウェブサイトでの回答回収 配布数 2,000票 回収率 729票 36.5%
		中学生・高校生アンケート調査 調査期間 10月6日～10月17日 調査対象 あま市に通学する中学2年生及び高校2年生 調査方法 学校での調査票の配布、ウェブサイトでの回答回収 配布数 中学生：826票 高校生：504票 回収率 中学生：769票 93.1% 高校生：429票 85.1%
	12月	第2回あま市文化財保存活用地域計画委員会 実施日 12月21日 議 題 (1) あま市の文化財の現状と特徴について (2) アンケート調査結果について
	令和5年 1月	文化庁協議 実施日 1月10日 協議事項 (1) 地域計画の作成にあたっての注意事項 (2) 作成までのスケジュール
	2月～3月	関連団体ヒアリング調査 調査期間 2月から3月にかけて随時実施 調査対象 甚目寺観音/萱津神社/自然環境学識者(間野隆裕氏)/愛知県立美和高等学校(校長)/七宝組合(会長)/刷毛組合(会長)/あま市七宝焼アートヴィレッジ/甚目寺説教源氏節もくもく座/甚目寺地区内西今宿区(区長)/美和地区内金岩地区(会長)/まちづくり活動団体(代表)/学生まちづくり活動団体(代表) 調査方法 対面による聞き取り調査
	3月	第3回あま市文化財保存活用地域計画委員会 実施日 3月17日 議 題 (1) ヒアリング調査報告について (2) あま市の文化財についての課題
令和5年度	6月	第1回あま市文化財保存活用地域計画委員会 実施日 6月27日 議 題 (1) あま市文化財保存活用地域計画骨子(案)について (2) 参加型ワークショップについて
	7月	市民ワークショップ 実施日 第1回：7月2日 第2回：7月23日 対象 あま市市民、あま市の歴史文化に興味がある人 参加人数 第1回：30名 第2回：20名 テーマ 第1回：あま市の歴史文化の魅力をみつけよう 第2回：あま市の歴史文化の魅力を語り合おう

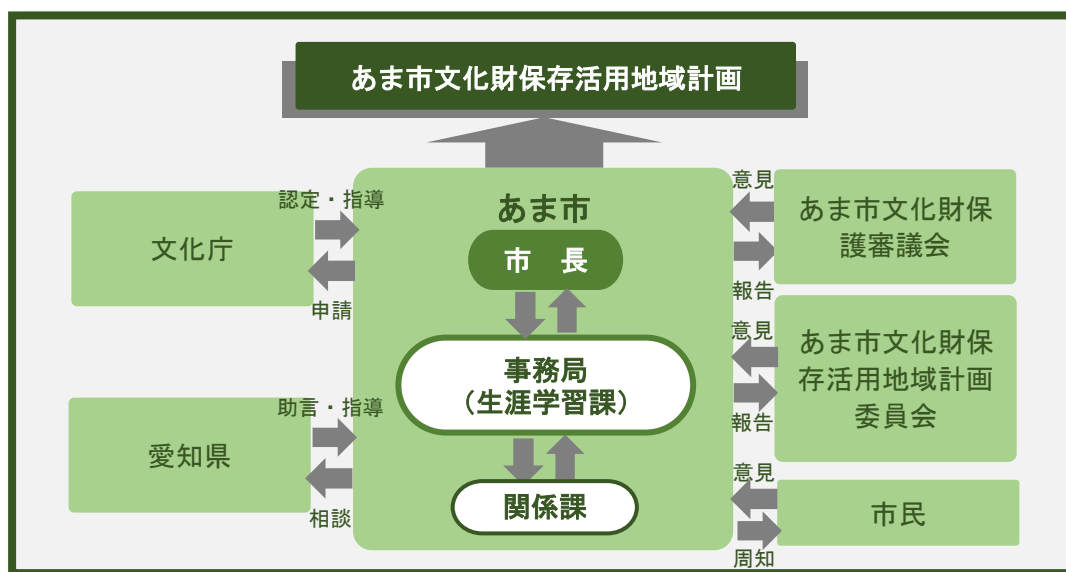
年度	月	内 容
	7 月	文化庁協議 実施日 7 月 25 日 場所 文化庁京都庁舎 内容 調査結果の報告、計画作成方針の相談、進捗の確認、スケジュールの確認など
	10 月	第 2 回あま市文化財保存活用地域計画委員会 実施日 10 月 23 日 報 告 (1) 参加型ワークショップについて (2) 文化庁事前協議について 議 題 (3) あま市措置の表(案)について (4) あま市文化財保存活用地域計画骨子(案)について
	令和 6 年 1 月	文化庁調査官現地視察 実施日 1 月 17 日 場所 あま市文化財各所 (1) 甚目寺観音 (2) 萱津神社 (3) 七宝焼アートヴィレッジ (4) 蓮華寺 (5) 菊泉院 (6) 法蔵寺 内容 市内の主な文化財について、文化庁調査官 2 名とあま市職員で現地視察を行った。
	2 月	第 3 回あま市文化財保存活用地域計画委員会 実施日 2 月 16 日 報 告 (1) 文化庁現地指導について 議 題 (1) あま市措置の表(案)について (2) あま市文化財保存活用地域計画骨子(案)について
	2 月～3 月	現地調査 実施日 調査対象 甚目寺観音、甚目寺と関連のある周辺の寺院 調査方法 各寺院へ訪問し、目視による資料の調査を行った。 内 容 文化財保存区域に設定する甚目寺周辺(甚目寺遺跡内)の寺院(甚目寺含む)について各寺院が所蔵する寺宝や資料などについて把握調査を行った。文献調査で挙げた文化財について、所在の確認を行った。
令和 6 年度	4 月	第 1 回あま市文化財保存活用地域計画委員会 実施日 4 月 30 日 議 題 (1) あま市文化財保存活用地域計画(案)について (2) パブリックコメントの実施について (3) 今後のスケジュールについて

※今後計画の認定までの経過を完了次第随時追記する。

2. 作成体制

本計画は、以下のような体制で、文化庁や愛知県からの指導のもと、あま市文化財保護審議会やあま市文化財保存活用地域計画委員会で専門家や関連団体からの意見を徴収しつつ作成しました。また、市民アンケートやワークショップ、パブリックコメントを実施し、市民の意見も踏まえて計画を作成しています。

あま市文化財保存活用地域計画作成体制図



3. 文化財リスト

あま市指定等文化財

No.	類 型	名 称	指定等	地 区
1	建造物	甚目寺 南大門	国指定	甚目寺地区
2	建造物	甚目寺 三重塔	国指定	甚目寺地区
3	建造物	甚目寺 東門	国指定	甚目寺地区
4	美術工芸品（絵画）	絹本着色不動尊像	国指定	東京国立博物館（寄託）
5	美術工芸品（絵画）	絹本着色仏涅槃図	国指定	京都国立博物館（寄託）
6	美術工芸品（彫刻）	鉄造地藏菩薩立像	国指定	美和地区
7	美術工芸品（彫刻）	木造愛染明王坐像	国指定	甚目寺地区
8	美術工芸品（絵画）	金剛界及び胎藏界曼荼羅	県指定	美和地区
9	美術工芸品（絵画）	田中訥言画蹟	県指定	甚目寺地区
10	美術工芸品（彫刻）	木造仏頭	県指定	美和地区
11	美術工芸品（彫刻）	木造仁王像	県指定	甚目寺地区
12	美術工芸品（工芸品）	瑞花双鸞八稜鏡	県指定	甚目寺地区
13	美術工芸品（工芸品）	梵鐘	県指定	甚目寺地区
14	美術工芸品（書跡・典籍）	法華經 紫紙鎌倉版	県指定	美和地区
15	名勝地	蓮華寺庭園	県指定	美和地区
16	動物・植物・地質鉱物	下萱津のフジ	県指定	甚目寺地区
17	動物・植物・地質鉱物	七宝町のラカンマキ	県指定	七宝地区
18	動物・植物・地質鉱物	蓮華寺のカヤノキ	県指定	美和地区
19	美術工芸品（彫刻）	金銅阿弥陀如来立像	市指定	美和地区
20	美術工芸品（彫刻）	二十五菩薩面	市指定	美和地区
21	美術工芸品（工芸品）	梵鐘	市指定	七宝地区
22	美術工芸品（工芸品）	雲版	市指定	七宝地区
23	美術工芸品（工芸品）	間取り花鳥文大花瓶	市指定	七宝地区
24	美術工芸品（書跡・典籍）	徳川家康筆 徳政免除證文「徳政之事」	市指定	美和地区
25	美術工芸品（書跡・典籍）	誹諧相伝名目	市指定	美和地区
26	美術工芸品（歴史資料）	尾州海東郡富塚村御縄打水帳	市指定	美和地区
27	遺跡	甚目寺境内地	市指定	甚目寺地区
28	遺跡	七宝焼原産地道標	市指定	七宝地区
29	有形の民俗文化財	甚目寺説教源氏節人形及び正本 附その関連資料	市指定	甚目寺地区
30	無形の民俗文化財	香の物祭	市指定	甚目寺地区

No.	類 型	名 称	指定等	地 区
31	無形の民俗文化財	下之森オコワ祭	市指定	七宝地区
32	無形の民俗文化財	木田八劔社湯の花神事	市指定	美和地区
33	無形の民俗文化財	二十五菩薩お練り供養	市指定	美和地区
34	建造物	實成寺 本堂	国登録	甚目寺地区
35	建造物	實成寺 山門	国登録	甚目寺地区

あま市未指定文化財

N0	類 型	名 称	地 区
1	建造物	龍泉堂跡碑	七宝地区
2	建造物	梅村先生遺愛碑及び棒の手祖先の碑	七宝地区
3	建造物	下之森の地藏堂	七宝地区
4	建造物	林小傳治翁善行碑	七宝地区
5	建造物	石灯籠	七宝地区
6	建造物	伊福郷之碑	七宝地区
7	建造物	神明社	七宝地区
8	建造物	三狐子社（旧西宮祠）	七宝地区
9	建造物	御歟神社	七宝地区
10	建造物	覚了寺	七宝地区
11	建造物	蘊徳寺	七宝地区
12	建造物	瑞圓寺	七宝地区
13	建造物	安了寺	七宝地区
14	建造物	八幡神社	七宝地区
15	建造物	七宝焼起源碑	七宝地区
16	建造物	林庄五郎翁顕彰碑	七宝地区
17	建造物	金山様	七宝地区
18	建造物	八劔社	七宝地区
19	建造物	福寿泉寺	七宝地区
20	建造物	藤島神社	七宝地区
21	建造物	直心寺	七宝地区
22	建造物	教泉寺	七宝地区
23	建造物	八劔社	七宝地区
24	建造物	神明社	七宝地区
25	建造物	広済寺	七宝地区

N0	類 型	名 称	地 区
26	建造物	法光寺	七宝地区
27	建造物	石灯籠	七宝地区
28	建造物	恩沢寺	七宝地区
29	建造物	春日神社	七宝地区
30	建造物	猪飼誉根雄の碑	七宝地区
31	建造物	河葉神社	七宝地区
32	建造物	玉泉寺	七宝地区
33	建造物	吟松寺	七宝地区
34	建造物	日妙寺	七宝地区
35	建造物	伊福部神社	七宝地区
36	建造物	東光寺	七宝地区
37	建造物	盛願寺	七宝地区
38	建造物	八幡神社	七宝地区
39	建造物	順正寺	七宝地区
40	建造物	西光寺	七宝地区
41	建造物	諏訪社	七宝地区
42	建造物	普賢教会（普賢堂）	七宝地区
43	建造物	お社宮祠	七宝地区
44	建造物	春日神社	七宝地区
45	建造物	宝長寺	七宝地区
46	建造物	熊野社	七宝地区
47	建造物	徳念寺	七宝地区
48	建造物	葛ノ葉稻荷社	美和地区
49	建造物	蜂須賀正勝家政の碑	美和地区
50	建造物	蜂須賀小六正勝公碑	美和地区
51	建造物	氏神白山社の石碑	美和地区
52	建造物	氏神白山社の灯籠	美和地区
53	建造物	嫁獅子の里の石碑	美和地区
54	建造物	蓮華寺	美和地区
55	建造物	蓮華寺仁王門	美和地区
56	建造物	福島正則生誕地碑	美和地区
57	建造物	蜂須賀城跡の石碑	美和地区
58	建造物	蜂須賀小六正勝公旧宅跡碑	美和地区
59	建造物	キリシタン灯籠	美和地区

N0	類 型	名 称	地 区
60	建造物	キリシタン灯籠	美和地区
61	建造物	大館高門の墓碑	美和地区
62	建造物	雪操庵呂江墓碑	美和地区
63	建造物	足立道雄先生碑	美和地区
64	建造物	桑光寺「楠枝先生碑」	美和地区
65	建造物	常夜灯 12 基	美和地区
66	建造物	正則小学校	美和地区
67	建造物	西之瀬古地藏堂	美和地区
68	建造物	正則保育園	美和地区
69	建造物	篠田悪水記念碑	美和地区
70	建造物	二ツ寺集会所	美和地区
71	建造物	二ツ寺日光稲荷	美和地区
72	建造物	治水記念碑「四間橋の石碑」(五八悪水記念碑)	美和地区
73	建造物	八劔社昇格記念之碑	美和地区
74	建造物	地藏堂(木田)	美和地区
75	建造物	忠魂碑	美和地区
76	建造物	雪操庵呂江墓碑	美和地区
77	建造物	足立道雄顕彰碑	美和地区
78	建造物	木村左江句碑	美和地区
79	建造物	廻国供養塔	美和地区
80	建造物	廻国供養塔	美和地区
81	建造物	二ツ寺神明社(高之宮神明社)	美和地区
82	建造物	月之宮社	美和地区
83	建造物	神明社	美和地区
84	建造物	日吉社	美和地区
85	建造物	秋葉社	美和地区
86	建造物	神明社	美和地区
87	建造物	八所神社	美和地区
88	建造物	油屋彦兵衛灯籠	美和地区
89	建造物	神明社	美和地区
90	建造物	白山社	美和地区
91	建造物	神明社	美和地区
92	建造物	白山社	美和地区
93	建造物	八幡社	美和地区
94	建造物	水野権大夫灯籠	美和地区

N0	類 型	名 称	地 区
95	建造物	白山社	美和地区
96	建造物	八剣社	美和地区
97	建造物	十二所社	美和地区
98	建造物	神明社	美和地区
99	建造物	永代常夜灯	美和地区
100	建造物	神明社	美和地区
101	建造物	八幡社	美和地区
102	建造物	八剣社	美和地区
103	建造物	花木氏秀定灯籠	美和地区
104	建造物	菅安社	美和地区
105	建造物	天神社	美和地区
106	建造物	秋葉社	美和地区
107	建造物	白山社	美和地区
108	建造物	神明社	美和地区
109	建造物	天神社	美和地区
110	建造物	秋葉社	美和地区
111	建造物	白山社	美和地区
112	建造物	縣明社	美和地区
113	建造物	秋葉社	美和地区
114	建造物	貴船社	美和地区
115	建造物	菊泉院	美和地区
116	建造物	宝篋印塔	美和地区
117	建造物	薬師堂	美和地区
118	建造物	阿弥陀寺	美和地区
119	建造物	光専寺	美和地区
120	建造物	観音寺	美和地区
121	建造物	観音寺への道標	美和地区
122	建造物	法光寺	美和地区
123	建造物	秀山の墓碑	美和地区
124	建造物	中川典高の墓碑	美和地区
125	建造物	山田彦内の墓碑	美和地区
126	建造物	竹田安太郎の碑	美和地区
127	建造物	光照寺	美和地区
128	建造物	伝キリシタン灯籠	美和地区

NO	類 型	名 称	地 区
129	建造物	普明院	美和地区
130	建造物	弘法堂	美和地区
131	建造物	浄慶寺	美和地区
132	建造物	円重寺	美和地区
133	建造物	長福寺	美和地区
134	建造物	月中庵	美和地区
135	建造物	福田寺	美和地区
136	建造物	大館一族の墓碑群	美和地区
137	建造物	竹田家の墓碑群	美和地区
138	建造物	慶雲寺	美和地区
139	建造物	法蔵寺	美和地区
140	建造物	法蔵寺道標	美和地区
141	建造物	正念寺	美和地区
142	建造物	西光寺	美和地区
143	建造物	円龍院	美和地区
144	建造物	桑光寺	美和地区
145	建造物	楠枝先生碑	美和地区
146	建造物	山田惣四郎の墓碑	美和地区
147	建造物	福栄寺	美和地区
148	建造物	宮地彦三郎の墓碑	美和地区
149	建造物	観音堂	美和地区
150	建造物	福昭寺	美和地区
151	建造物	弘誓寺	美和地区
152	建造物	泉正寺	美和地区
153	建造物	旧正則橋	美和地区
154	建造物	法性寺笠塔婆塔身	甚目寺地区
155	建造物	石灯籠	甚目寺地区
156	建造物	春日灯籠	甚目寺地区
157	建造物	石作神社	甚目寺地区
158	建造物	萱津神社	甚目寺地区
159	建造物	萱津神社神札授与所	甚目寺地区
160	建造物	萱津神社附属建物	甚目寺地区
161	建造物	新屋神社	甚目寺地区
162	建造物	中杜神社	甚目寺地区

NO	類 型	名 称	地 区
163	建造物	八幡社	甚目寺地区
164	建造物	日吉社	甚目寺地区
165	建造物	八幡社	甚目寺地区
166	建造物	日吉社	甚目寺地区
167	建造物	月之宮社	甚目寺地区
168	建造物	三社宮社	甚目寺地区
169	建造物	八幡社	甚目寺地区
170	建造物	神明社	甚目寺地区
171	建造物	八王子社	甚目寺地区
172	建造物	三島社	甚目寺地区
173	建造物	八坂社	甚目寺地区
174	建造物	八幡社	甚目寺地区
175	建造物	神明社	甚目寺地区
176	建造物	神明社	甚目寺地区
177	建造物	笠塔婆	甚目寺地区
178	建造物	笠塔婆	甚目寺地区
179	建造物	笠塔婆	甚目寺地区
180	建造物	笠塔婆	甚目寺地区
181	建造物	笠塔婆	甚目寺地区
182	建造物	宝泉寺	甚目寺地区
183	建造物	願正寺	甚目寺地区
184	建造物	普光寺	甚目寺地区
185	建造物	西光寺	甚目寺地区
186	建造物	法性寺	甚目寺地区
187	建造物	正法寺(正法禪寺)	甚目寺地区
188	建造物	妙勝寺	甚目寺地区
189	建造物	実成寺	甚目寺地区
190	建造物	円行寺	甚目寺地区
191	建造物	泉竜寺	甚目寺地区
192	建造物	正善寺	甚目寺地区
193	建造物	禪昌寺	甚目寺地区
194	建造物	延命寺	甚目寺地区
195	建造物	切支丹灯籠	甚目寺地区
196	建造物	開山甚目龍磨顯彰碑	甚目寺地区

NO	類 型	名 称	地 区
197	建造物	萱津古戦場跡碑	甚目寺地区
198	建造物	権薬師堂	甚目寺地区
199	建造物	漆部神社	甚目寺地区
200	建造物	反魂香塚の石碑	甚目寺地区
201	建造物	源氏節顯彰碑と太夫人形使いの碑	甚目寺地区
202	建造物	法界門橋	甚目寺地区
203	建造物	阿波手の森の碑	甚目寺地区
204	建造物	薬師堂	甚目寺地区
205	建造物	山崎翁頌徳碑	甚目寺地区
206	建造物	甚目寺	甚目寺地区
207	建造物	香の物殿	甚目寺地区
208	建造物	萱津神社神札授与所	甚目寺地区
209	建造物	萱津神社附属建物	甚目寺地区
210	建造物	塔心礎	甚目寺地区
211	建造物	宝篋印塔	甚目寺地区
212	建造物	宝篋印塔	甚目寺地区
213	建造物	宝篋印塔	甚目寺地区
214	建造物	善光寺如来遷座記念塔	甚目寺地区
215	建造物	松平君山遺愛碑	甚目寺地区
216	建造物	法花院	甚目寺地区
217	建造物	大徳院	甚目寺地区
218	建造物	光明寺	甚目寺地区
219	建造物	宝篋印塔基礎	甚目寺地区
220	建造物	宝篋印塔	甚目寺地区
221	建造物	笠塔婆塔身	甚目寺地区
222	建造物	笠塔婆塔身	甚目寺地区
223	建造物	宝篋印塔基礎	甚目寺地区
224	建造物	宝篋印塔基礎	甚目寺地区
225	建造物	宝篋印塔基礎	甚目寺地区
226	建造物	宝篋印塔基礎	甚目寺地区
227	建造物	宝篋印塔々身	甚目寺地区
228	建造物	宝篋印塔基礎	甚目寺地区
229	建造物	宝篋印塔基礎	甚目寺地区
230	建造物	宝篋印塔基礎	甚目寺地区

NO	類 型	名 称	地 区
231	建造物	宝篋印塔基礎破片	甚目寺地区
232	建造物	宝篋印塔基礎	甚目寺地区
233	建造物	宝篋印塔基礎	甚目寺地区
234	建造物	芭蕉句碑	甚目寺地区
235	建造物	宝篋印塔基礎	甚目寺地区
236	建造物	一石五輪塔	甚目寺地区
237	建造物	笠塔婆	甚目寺地区
238	建造物	笠塔婆	甚目寺地区
239	建造物	笠塔婆	甚目寺地区
240	建造物	笠塔婆	甚目寺地区
241	建造物	笠塔婆	甚目寺地区
242	建造物	笠塔婆	甚目寺地区
243	建造物	切支丹燈籠	甚目寺地区
244	建造物	切支丹燈籠	甚目寺地区
245	建造物	日露戦役戦病死者慰霊塔	甚目寺地区
246	建造物	元飛行場開拓記念碑	甚目寺地区
247	建造物	秋葉社	甚目寺地区
248	建造物	須佐之男社	甚目寺地区
249	建造物	金山神社	甚目寺地区
250	建造物	江上社	甚目寺地区
251	建造物	稻荷社	甚目寺地区
252	建造物	三狐社	甚目寺地区
253	建造物	白山社	甚目寺地区
254	建造物	西宮社	甚目寺地区
255	建造物	天神社	甚目寺地区
256	建造物	八百万社	甚目寺地区
257	建造物	愛宕社	甚目寺地区
258	建造物	秋葉社	甚目寺地区
259	建造物	竹生島社	甚目寺地区
260	建造物	須佐之男社	甚目寺地区
261	建造物	一万度	甚目寺地区
262	建造物	飛梅天神	甚目寺地区
263	建造物	榎明神	甚目寺地区
264	建造物	新居屋分庁御嶽教明栄教会	甚目寺地区

NO	類 型	名 称	地 区
265	建造物	御嶽教出生教会甚目寺宣教所(御嶽神社)	甚目寺地区
266	建造物	道標二基(上街道道標)	甚目寺地区
267	建造物	成就院	甚目寺地区
268	建造物	性徳院	甚目寺地区
269	建造物	釈迦院	甚目寺地区
270	建造物	宝篋印塔	甚目寺地区
271	建造物	不動寺	甚目寺地区
272	建造物	地福寺	甚目寺地区
273	建造物	実成寺須弥壇	甚目寺地区
274	建造物	妙勝寺庫裏	甚目寺地区
275	建造物	妙勝寺山門	甚目寺地区
276	建造物	宝満寺	甚目寺地区
277	建造物	日明寺	甚目寺地区
278	建造物	妙浄寺	甚目寺地区
279	建造物	宗祖六百年遠忌塔	甚目寺地区
280	建造物	妙教寺	甚目寺地区
281	建造物	漱水石	甚目寺地区
282	建造物	灯籠	甚目寺地区
283	建造物	五輪塔	甚目寺地区
284	建造物	円周寺	甚目寺地区
285	建造物	唯願寺	甚目寺地区
286	建造物	延命寺薬師堂	甚目寺地区
287	建造物	切支丹灯籠	甚目寺地区
288	建造物	光明寺	甚目寺地区
289	建造物	鳥居	甚目寺地区
290	建造物	石灯籠	甚目寺地区
291	建造物	宝篋印塔基礎	甚目寺地区
292	建造物	宝篋印塔基礎	甚目寺地区
293	建造物	笠塔婆塔身	甚目寺地区
294	建造物	笠塔婆塔身	甚目寺地区
295	建造物	地藏寺	甚目寺地区
296	建造物	釈迦堂	甚目寺地区
297	建造物	地藏堂	甚目寺地区
298	建造物	角柱	甚目寺地区

NO	類 型	名 称	地 区
299	建造物	宝篋印塔基礎	甚目寺地区
300	建造物	石造香炉	甚目寺地区
301	建造物	宝塔	甚目寺地区
302	建造物	甚目寺仁王門	甚目寺地区
303	美術工芸品（絵画）	梶常吉肖像	七宝地区
304	美術工芸品（絵画）	親鸞聖人御影（天正9年）	七宝地区
305	美術工芸品（絵画）	七宝下图1	七宝地区
306	美術工芸品（絵画）	七宝下图2	七宝地区
307	美術工芸品（絵画）	七宝下图3	七宝地区
308	美術工芸品（絵画）	七宝下图4	七宝地区
309	美術工芸品（絵画）	条野1 昆虫と瓜	七宝地区
310	美術工芸品（絵画）	条野21 花瓶菊・蜻蛉・蝶	七宝地区
311	美術工芸品（絵画）	条野12 草花	七宝地区
312	美術工芸品（絵画）	条野3 花瓶	七宝地区
313	美術工芸品（絵画）	条野63-1 条野63-2 牡丹に孔雀のつがい	七宝地区
314	美術工芸品（絵画）	条野10 鯉の滝登り	七宝地区
315	美術工芸品（絵画）	条野8 群鶴・紅葉・波	七宝地区
316	美術工芸品（絵画）	条野5 花鳥	七宝地区
317	美術工芸品（絵画）	条野6 花鳥	七宝地区
318	美術工芸品（絵画）	条野14 雙龍	七宝地区
319	美術工芸品（絵画）	条野61 花と鳥	七宝地区
320	美術工芸品（絵画）	条野18 鳳凰と桐	七宝地区
321	美術工芸品（絵画）	条野31 百合	七宝地区
322	美術工芸品（絵画）	条野32 百合の茎と葉	七宝地区
323	美術工芸品（絵画）	条野56 胡蝶花	七宝地区
324	美術工芸品（絵画）	条野38 三つ葉	七宝地区
325	美術工芸品（絵画）	条野37 糸楓	七宝地区
326	美術工芸品（絵画）	条野45 梅	七宝地区
327	美術工芸品（絵画）	条野69 燕子花	七宝地区
328	美術工芸品（絵画）	条野29 ユキノシタ	七宝地区
329	美術工芸品（絵画）	条野48 紫蘭	七宝地区
330	美術工芸品（絵画）	条野47 大名竹	七宝地区
331	美術工芸品（絵画）	条野25 アヤメ	七宝地区
332	美術工芸品（絵画）	条野55 アジサイ	七宝地区

NO	類 型	名 称	地 区
333	美術工芸品（絵画）	糸野 50 アヤメ	七宝地区
334	美術工芸品（絵画）	糸野 30 花菖蒲とつぼみ	七宝地区
335	美術工芸品（絵画）	糸野 27 甲虫	七宝地区
336	美術工芸品（絵画）	糸野 52 白銭葵	七宝地区
337	美術工芸品（絵画）	糸野 11 龍と花	七宝地区
338	美術工芸品（絵画）	糸野 60 群鶴	七宝地区
339	美術工芸品（絵画）	糸野 64 唐獅子	七宝地区
340	美術工芸品（絵画）	糸野 17 花鳥	七宝地区
341	美術工芸品（絵画）	糸野 22 花瓶・香炉のイメージ	七宝地区
342	美術工芸品（絵画）	糸野 7 菊・菖蒲・花・蝶・鳥	七宝地区
343	美術工芸品（絵画）	糸野 2 皿(唐草)	七宝地区
344	美術工芸品（絵画）	糸野 24 富士山・鶴・唐獅子・群鶴	七宝地区
345	美術工芸品（絵画）	伊藤 3 伊藤 11 双鶴	七宝地区
346	美術工芸品（絵画）	伊藤 5 伊藤 6-2 菖蒲	七宝地区
347	美術工芸品（絵画）	伊藤 33 鳳凰	七宝地区
348	美術工芸品（絵画）	伊藤 9-1, 9-2 龍	七宝地区
349	美術工芸品（絵画）	伊藤 28~31 花	七宝地区
350	美術工芸品（絵画）	伊藤 15-1, 15-2 菖蒲	七宝地区
351	美術工芸品（絵画）	伊藤 36. 37 竹	七宝地区
352	美術工芸品（絵画）	伊藤 39 花鳥	七宝地区
353	美術工芸品（絵画）	伊藤 40 花	七宝地区
354	美術工芸品（絵画）	伊藤 42 桜に鳥	七宝地区
355	美術工芸品（絵画）	伊藤 43 花鳥	七宝地区
356	美術工芸品（絵画）	伊藤 38 鶴	七宝地区
357	美術工芸品（絵画）	梶常吉肖像	七宝地区
358	美術工芸品（絵画）	下絵	七宝地区
359	美術工芸品（絵画）	赤穂浪士の図	七宝地区
360	美術工芸品（絵画）	人物図	七宝地区
361	美術工芸品（絵画）	下絵 群鶴図	七宝地区
362	美術工芸品（絵画）	下絵 鶴・鷺白鳥文	七宝地区
363	美術工芸品（絵画）	下絵 鶴図大皿	七宝地区
364	美術工芸品（絵画）	下絵 鶴図	七宝地区
365	美術工芸品（絵画）	下絵 昆虫・瓜図	七宝地区
366	美術工芸品（絵画）	下絵 牡丹・孔雀図	七宝地区

NO	類 型	名 称	地 区
367	美術工芸品（絵画）	下絵 朝顔に鳥図	七宝地区
368	美術工芸品（絵画）	下絵 双龍図	七宝地区
369	美術工芸品（絵画）	下絵 龍図	七宝地区
370	美術工芸品（絵画）	下絵 鳳凰図	七宝地区
371	美術工芸品（絵画）	下絵 菖蒲図	七宝地区
372	美術工芸品（絵画）	下絵 あやめ図	七宝地区
373	美術工芸品（絵画）	下絵 紫陽花図	七宝地区
374	美術工芸品（絵画）	下絵 紫蘭図	七宝地区
375	美術工芸品（絵画）	下絵 虎耳草図	七宝地区
376	美術工芸品（絵画）	下絵 百合図	七宝地区
377	美術工芸品（絵画）	下絵 縄模様花瓶図	七宝地区
378	美術工芸品（絵画）	下絵 花柄図	七宝地区
379	美術工芸品（絵画）	下絵 蜻蛉・蝶図	七宝地区
380	美術工芸品（絵画）	下絵 草花柄花瓶図	七宝地区
381	美術工芸品（絵画）	下絵 龍図皿	七宝地区
382	美術工芸品（絵画）	下絵 群鶴柄皿図	七宝地区
383	美術工芸品（絵画）	七宝工房スケッチ	七宝地区
384	美術工芸品（絵画）	林小傳治肖像	七宝地区
385	美術工芸品（絵画）	塚本貝助肖像	七宝地区
386	美術工芸品（絵画）	十王図	七宝地区
387	美術工芸品（絵画）	観音菩薩画	七宝地区
388	美術工芸品（絵画）	信證院真影	七宝地区
389	美術工芸品（絵画）	阿弥陀如来絵像	七宝地区
390	美術工芸品（絵画）	宜如上人真影	七宝地区
391	美術工芸品（絵画）	聖徳太子絵像	七宝地区
392	美術工芸品（絵画）	七高僧絵像	七宝地区
393	美術工芸品（絵画）	宗祖上人御絵伝	七宝地区
394	美術工芸品（絵画）	宗祖上人真影	七宝地区
395	美術工芸品（絵画）	達如上人真影	七宝地区
396	美術工芸品（絵画）	阿弥陀如来像	七宝地区
397	美術工芸品（絵画）	涅槃像	七宝地区
398	美術工芸品（絵画）	釈迦如来涅槃図	七宝地区
399	美術工芸品（絵画）	拾三之図	七宝地区
400	美術工芸品（絵画）	阿弥陀如来画像	七宝地区
401	美術工芸品（絵画）	虚空像菩薩画像	七宝地区

N0	類 型	名 称	地 区
402	美術工芸品（絵画）	法然上人一代記之図	七宝地区
403	美術工芸品（絵画）	阿弥陀如来立像	七宝地区
404	美術工芸品（絵画）	大曼荼羅	美和地区
405	美術工芸品（絵画）	堀田庄三（芦水）筆 水仙	美和地区
406	美術工芸品（絵画）	小六正勝公肖像画	美和地区
407	美術工芸品（絵画）	蜂須賀小六正勝公銅像画	美和地区
408	美術工芸品（絵画）	右田年英筆 木下藤吉郎市松の怪力に驚の図	美和地区
409	美術工芸品（絵画）	歌川国輝筆 曜斎随筆	美和地区
410	美術工芸品（絵画）	月岡芳年筆 関ヶ原勇士軍賞の図	美和地区
411	美術工芸品（絵画）	月岡芳年筆 月百姿	美和地区
412	美術工芸品（絵画）	不動明王の像（弘法大師筆蹟）	美和地区
413	美術工芸品（絵画）	光明曼荼羅（弘法大師筆蹟）	美和地区
414	美術工芸品（絵画）	二十五菩薩来迎図	美和地区
415	美術工芸品（絵画）	明治 41 年頃の木田学校	美和地区
416	美術工芸品（絵画）	福島正則肖像画	美和地区
417	美術工芸品（絵画）	十二天画像	美和地区
418	美術工芸品（絵画）	十二天画像	美和地区
419	美術工芸品（絵画）	釈迦涅槃画像	美和地区
420	美術工芸品（絵画）	三千仏画像	美和地区
421	美術工芸品（絵画）	八祖尊影	美和地区
422	美術工芸品（絵画）	不動明王画像	美和地区
423	美術工芸品（絵画）	寒山拾得画像	美和地区
424	美術工芸品（絵画）	阿弥陀如来画像	美和地区
425	美術工芸品（絵画）	薬師如来画像	甚目寺地区
426	美術工芸品（絵画）	十一面観音像	甚目寺地区
427	美術工芸品（絵画）	赤林孫七郎像	甚目寺地区
428	美術工芸品（絵画）	不動画像	甚目寺地区
429	美術工芸品（絵画）	弘法大師画像	甚目寺地区
430	美術工芸品（絵画）	十六善神画像	甚目寺地区
431	美術工芸品（絵画）	聖観音画像	甚目寺地区
432	美術工芸品（絵画）	不動明画像	甚目寺地区
433	美術工芸品（絵画）	大師像	甚目寺地区
434	美術工芸品（絵画）	薬師如来画像	甚目寺地区
435	美術工芸品（絵画）	阿弥陀如来画像	甚目寺地区

NO	類 型	名 称	地 区
436	美術工芸品（絵画）	十一面観音画像	甚目寺地区
437	美術工芸品（絵画）	釈迦三尊画像	甚目寺地区
438	美術工芸品（絵画）	十六羅漢画像	甚目寺地区
439	美術工芸品（絵画）	毘瑪代斯画像	甚目寺地区
440	美術工芸品（絵画）	宝塔会二仏並座画	甚目寺地区
441	美術工芸品（絵画）	日蓮大士六老僧画	甚目寺地区
442	美術工芸品（絵画）	三十番神画	甚目寺地区
443	美術工芸品（絵画）	敏定画像	甚目寺地区
444	美術工芸品（絵画）	曼荼羅	甚目寺地区
445	美術工芸品（絵画）	曼荼羅	甚目寺地区
446	美術工芸品（絵画）	曼荼羅	甚目寺地区
447	美術工芸品（絵画）	曼荼羅	甚目寺地区
448	美術工芸品（絵画）	曼荼羅	甚目寺地区
449	美術工芸品（絵画）	曼荼羅	甚目寺地区
450	美術工芸品（絵画）	曼荼羅	甚目寺地区
451	美術工芸品（絵画）	曼荼羅	甚目寺地区
452	美術工芸品（絵画）	曼荼羅	甚目寺地区
453	美術工芸品（絵画）	涅槃像	甚目寺地区
454	美術工芸品（絵画）	大曼荼羅	甚目寺地区
455	美術工芸品（絵画）	大曼荼羅	甚目寺地区
456	美術工芸品（絵画）	大曼荼羅	甚目寺地区
457	美術工芸品（絵画）	大曼荼羅	甚目寺地区
458	美術工芸品（絵画）	大曼荼羅等一括	甚目寺地区
459	美術工芸品（絵画）	日蓮画像	甚目寺地区
460	美術工芸品（絵画）	日長画像	甚目寺地区
461	美術工芸品（絵画）	大曼荼羅	甚目寺地区
462	美術工芸品（絵画）	大曼荼羅等一括	甚目寺地区
463	美術工芸品（絵画）	三尊来迎像	甚目寺地区
464	美術工芸品（絵画）	阿弥陀如来画像	甚目寺地区
465	美術工芸品（絵画）	実如上人画像	甚目寺地区
466	美術工芸品（絵画）	證如上人画像	甚目寺地区
467	美術工芸品（絵画）	親鸞上人伝絵	甚目寺地区
468	美術工芸品（絵画）	親鸞画像	甚目寺地区
469	美術工芸品（絵画）	聖徳太子像	甚目寺地区

NO	類 型	名 称	地 区
470	美術工芸品（絵画）	七高僧画像	甚目寺地区
471	美術工芸品（絵画）	蓮如上人画像	甚目寺地区
472	美術工芸品（絵画）	阿弥陀如来画像	甚目寺地区
473	美術工芸品（絵画）	親鸞上人画像	甚目寺地区
474	美術工芸品（絵画）	聖徳太子像	甚目寺地区
475	美術工芸品（絵画）	七高僧画像	甚目寺地区
476	美術工芸品（絵画）	宗祖画像	甚目寺地区
477	美術工芸品（絵画）	聖徳太子立像	甚目寺地区
478	美術工芸品（絵画）	阿弥陀如来画像	甚目寺地区
479	美術工芸品（絵画）	七高僧画像	甚目寺地区
480	美術工芸品（絵画）	太子画像	甚目寺地区
481	美術工芸品（絵画）	宗祖絵伝	甚目寺地区
482	美術工芸品（絵画）	涅槃像	甚目寺地区
483	美術工芸品（絵画）	涅槃像	甚目寺地区
484	美術工芸品（彫刻）	北屋敷の地藏尊	七宝地区
485	美術工芸品（彫刻）	中畑の地藏尊	七宝地区
486	美術工芸品（彫刻）	畑中の地藏尊	七宝地区
487	美術工芸品（彫刻）	南屋敷の地藏尊	七宝地区
488	美術工芸品（彫刻）	八軒屋敷の地藏尊	七宝地区
489	美術工芸品（彫刻）	出町の地藏尊	七宝地区
490	美術工芸品（彫刻）	聖徳太子木像	七宝地区
491	美術工芸品（彫刻）	釈迦如来座像（金仏）	七宝地区
492	美術工芸品（彫刻）	十一面観世音菩薩像	七宝地区
493	美術工芸品（彫刻）	勢至菩薩	七宝地区
494	美術工芸品（彫刻）	六地藏	七宝地区
495	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀如来像	七宝地区
496	美術工芸品（彫刻）	薬師如来像	七宝地区
497	美術工芸品（彫刻）	蓮如上人木像	七宝地区
498	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀如来立像	七宝地区
499	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀如来立像	七宝地区
500	美術工芸品（彫刻）	誕生仏金物	七宝地区
501	美術工芸品（彫刻）	本尊普賢菩薩木像	七宝地区
502	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀如来木像	七宝地区
503	美術工芸品（彫刻）	弘法大師木像	七宝地区

NO	類 型	名 称	地 区
504	美術工芸品（彫刻）	出産釈迦木像	七宝地区
505	美術工芸品（彫刻）	薬師如来木像	七宝地区
506	美術工芸品（彫刻）	木造阿弥陀如来立像	七宝地区
507	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀如来立像	七宝地区
508	美術工芸品（彫刻）	麟鳳飛竜	七宝地区
509	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀如来立像	七宝地区
510	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀如来立像	美和地区
511	美術工芸品（彫刻）	太子像	美和地区
512	美術工芸品（彫刻）	辻地藏（村もち） 1	美和地区
513	美術工芸品（彫刻）	辻地藏（村もち） 2	美和地区
514	美術工芸品（彫刻）	辻地藏（村もち） 3	美和地区
515	美術工芸品（彫刻）	辻地藏（村もち） 4	美和地区
516	美術工芸品（彫刻）	辻地藏（村もち） 5	美和地区
517	美術工芸品（彫刻）	辻地藏（個人もち） 1	美和地区
518	美術工芸品（彫刻）	辻地藏（個人もち） 2	美和地区
519	美術工芸品（彫刻）	千手観音像	美和地区
520	美術工芸品（彫刻）	辻地藏（村もち） 1	美和地区
521	美術工芸品（彫刻）	辻地藏（村もち） 2	美和地区
522	美術工芸品（彫刻）	辻地藏（村もち） 3	美和地区
523	美術工芸品（彫刻）	辻地藏（個人もち） 1	美和地区
524	美術工芸品（彫刻）	辻地藏（村もち） 1	美和地区
525	美術工芸品（彫刻）	辻地藏（個人もち） 1	美和地区
526	美術工芸品（彫刻）	辻地藏（個人もち） 2	美和地区
527	美術工芸品（彫刻）	聖観音像	美和地区
528	美術工芸品（彫刻）	辻地藏（村もち） 1	美和地区
529	美術工芸品（彫刻）	辻地藏（個人もち） 1	美和地区
530	美術工芸品（彫刻）	辻地藏（個人もち） 2	美和地区
531	美術工芸品（彫刻）	聖観音像	美和地区
532	美術工芸品（彫刻）	辻地藏（村もち） 1	美和地区
533	美術工芸品（彫刻）	馬頭観音像 1	美和地区
534	美術工芸品（彫刻）	馬頭観音像 2	美和地区
535	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀如来像	美和地区
536	美術工芸品（彫刻）	馬頭観音像	美和地区
537	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀如来像	美和地区

NO	類 型	名 称	地 区
538	美術工芸品（彫刻）	辻地藏（村もち） 1	美和地区
539	美術工芸品（彫刻）	辻地藏（個人もち） 1	美和地区
540	美術工芸品（彫刻）	辻地藏（個人もち） 2	美和地区
541	美術工芸品（彫刻）	馬頭観音像 1	美和地区
542	美術工芸品（彫刻）	馬頭観音像 2	美和地区
543	美術工芸品（彫刻）	十一面観音像	美和地区
544	美術工芸品（彫刻）	辻地藏（村もち）	美和地区
545	美術工芸品（彫刻）	辻地藏（村もち）	美和地区
546	美術工芸品（彫刻）	如意輪観音像	美和地区
547	美術工芸品（彫刻）	辻地藏（村もち）	美和地区
548	美術工芸品（彫刻）	辻地藏（村もち）	美和地区
549	美術工芸品（彫刻）	千手観音像	美和地区
550	美術工芸品（彫刻）	辻地藏（村もち） 1	美和地区
551	美術工芸品（彫刻）	辻地藏（村もち） 2	美和地区
552	美術工芸品（彫刻）	辻地藏（村もち） 3	美和地区
553	美術工芸品（彫刻）	辻地藏（村もち） 4	美和地区
554	美術工芸品（彫刻）	辻地藏（村もち） 5	美和地区
555	美術工芸品（彫刻）	辻地藏（村もち） 1	美和地区
556	美術工芸品（彫刻）	辻地藏（個人もち） 1	美和地区
557	美術工芸品（彫刻）	辻地藏（個人もち） 2	美和地区
558	美術工芸品（彫刻）	辻地藏（個人もち） 3	美和地区
559	美術工芸品（彫刻）	辻地藏（個人もち） 4	美和地区
560	美術工芸品（彫刻）	辻地藏（個人もち） 5	美和地区
561	美術工芸品（彫刻）	辻地藏（個人もち） 6	美和地区
562	美術工芸品（彫刻）	如意輪観音像	美和地区
563	美術工芸品（彫刻）	辻地藏（村もち）	美和地区
564	美術工芸品（彫刻）	辻地藏（個人もち）	美和地区
565	美術工芸品（彫刻）	馬頭観音像	美和地区
566	美術工芸品（彫刻）	辻地藏（村もち）	美和地区
567	美術工芸品（彫刻）	馬頭観音像	美和地区
568	美術工芸品（彫刻）	辻地藏（村もち）	美和地区
569	美術工芸品（彫刻）	毘沙門天立像	美和地区
570	美術工芸品（彫刻）	十一面観音木像	美和地区
571	美術工芸品（彫刻）	薬師如来の胎内仏（光専寺）	美和地区

NO	類 型	名 称	地 区
572	美術工芸品（彫刻）	青銅の立像釈迦仏	美和地区
573	美術工芸品（彫刻）	馬頭観音	美和地区
574	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀如来座像	美和地区
575	美術工芸品（彫刻）	薬師如来座像	美和地区
576	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀如来座像	美和地区
577	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀如来立像	美和地区
578	美術工芸品（彫刻）	薬師仏	美和地区
579	美術工芸品（彫刻）	聖観世音菩薩立像	美和地区
580	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀如来立像	美和地区
581	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀如来立像	美和地区
582	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀如来立像	美和地区
583	美術工芸品（彫刻）	弘法大師座像	美和地区
584	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀如来立像	美和地区
585	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀如来立像	美和地区
586	美術工芸品（彫刻）	愛染明王座像	美和地区
587	美術工芸品（彫刻）	歓喜聖天像	美和地区
588	美術工芸品（彫刻）	釈迦牟尼仏座像	美和地区
589	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀如来立像	美和地区
590	美術工芸品（彫刻）	聖徳太子像	美和地区
591	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀如来像	美和地区
592	美術工芸品（彫刻）	十一面観世音菩薩立像	美和地区
593	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀如来立像	美和地区
594	美術工芸品（彫刻）	釈迦涅槃像	美和地区
595	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀如来座像	美和地区
596	美術工芸品（彫刻）	正観音	美和地区
597	美術工芸品（彫刻）	不動明王	美和地区
598	美術工芸品（彫刻）	多門天王像	美和地区
599	美術工芸品（彫刻）	毘沙門天王像	美和地区
600	美術工芸品（彫刻）	地藏菩薩	美和地区
601	美術工芸品（彫刻）	仁王尊	美和地区
602	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀如来座像	美和地区
603	美術工芸品（彫刻）	釈迦涅槃像	美和地区
604	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀如来立像	美和地区
605	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀如来座像	美和地区

NO	類 型	名 称	地 区
606	美術工芸品（彫刻）	弘法大師像	美和地区
607	美術工芸品（彫刻）	法然上人像	美和地区
608	美術工芸品（彫刻）	善導大師像	美和地区
609	美術工芸品（彫刻）	地藏菩薩像	美和地区
610	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀如来立像	美和地区
611	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀如来立像	美和地区
612	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀如来立像	美和地区
613	美術工芸品（彫刻）	聖徳太子木像	美和地区
614	美術工芸品（彫刻）	本尊薬師仏座像	甚目寺地区
615	美術工芸品（彫刻）	大日如来座像	甚目寺地区
616	美術工芸品（彫刻）	弥陀三尊仏座像	甚目寺地区
617	美術工芸品（彫刻）	日光・月光二菩薩立像	甚目寺地区
618	美術工芸品（彫刻）	狛犬	甚目寺地区
619	美術工芸品（彫刻）	狛犬	甚目寺地区
620	美術工芸品（彫刻）	狛犬	甚目寺地区
621	美術工芸品（彫刻）	狛犬	甚目寺地区
622	美術工芸品（彫刻）	狛犬	甚目寺地区
623	美術工芸品（彫刻）	甚目寺観音	甚目寺地区
624	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀の木像	甚目寺地区
625	美術工芸品（彫刻）	如意輪観音	甚目寺地区
626	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀三尊立像（光明寺蔵）	甚目寺地区
627	美術工芸品（彫刻）	十王像	甚目寺地区
628	美術工芸品（彫刻）	聖観世音菩薩像	甚目寺地区
629	美術工芸品（彫刻）	聖観上人像	甚目寺地区
630	美術工芸品（彫刻）	興教大師像	甚目寺地区
631	美術工芸品（彫刻）	三十三観音	甚目寺地区
632	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀像	甚目寺地区
633	美術工芸品（彫刻）	火防観音	甚目寺地区
634	美術工芸品（彫刻）	御狢様	甚目寺地区
635	美術工芸品（彫刻）	賓頭顱像	甚目寺地区
636	美術工芸品（彫刻）	十一面観音像	甚目寺地区
637	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀如来座像	甚目寺地区
638	美術工芸品（彫刻）	善光寺如来	甚目寺地区
639	美術工芸品（彫刻）	石神一軀	甚目寺地区
640	美術工芸品（彫刻）	向背付石仏像	甚目寺地区

NO	類 型	名 称	地 区
641	美術工芸品（彫刻）	向背付石仏像	甚目寺地区
642	美術工芸品（彫刻）	正観音像	甚目寺地区
643	美術工芸品（彫刻）	弥陀如来像	甚目寺地区
644	美術工芸品（彫刻）	聖観音像	甚目寺地区
645	美術工芸品（彫刻）	観音像	甚目寺地区
646	美術工芸品（彫刻）	天満天神像	甚目寺地区
647	美術工芸品（彫刻）	懸仏	甚目寺地区
648	美術工芸品（彫刻）	織田信長画像	甚目寺地区
649	美術工芸品（彫刻）	聖観上人像	甚目寺地区
650	美術工芸品（彫刻）	将軍地藏尊	甚目寺地区
651	美術工芸品（彫刻）	聖観音	甚目寺地区
652	美術工芸品（彫刻）	薬師仏座像	甚目寺地区
653	美術工芸品（彫刻）	十一面観音立像	甚目寺地区
654	美術工芸品（彫刻）	聖観世音像	甚目寺地区
655	美術工芸品（彫刻）	延命普賢菩薩	甚目寺地区
656	美術工芸品（彫刻）	智慶上人像	甚目寺地区
657	美術工芸品（彫刻）	日輪観弘法大師	甚目寺地区
658	美術工芸品（彫刻）	善光寺如来	甚目寺地区
659	美術工芸品（彫刻）	虫歯地藏	甚目寺地区
660	美術工芸品（彫刻）	薬師仏座像	甚目寺地区
661	美術工芸品（彫刻）	大日如来座像	甚目寺地区
662	美術工芸品（彫刻）	日光・月光菩薩像	甚目寺地区
663	美術工芸品（彫刻）	銅仏	甚目寺地区
664	美術工芸品（彫刻）	最上位経王大菩薩像	甚目寺地区
665	美術工芸品（彫刻）	日蓮像	甚目寺地区
666	美術工芸品（彫刻）	聖徳太子木像	甚目寺地区
667	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀如来	甚目寺地区
668	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀如来	甚目寺地区
669	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀如来	甚目寺地区
670	美術工芸品（彫刻）	十一面観音像	甚目寺地区
671	美術工芸品（彫刻）	十一面観世音菩薩像	甚目寺地区
672	美術工芸品（彫刻）	地藏菩薩像	甚目寺地区
673	美術工芸品（彫刻）	十二神将	甚目寺地区
674	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀立像	甚目寺地区

NO	類 型	名 称	地 区
675	美術工芸品（彫刻）	三面大黒天像	甚目寺地区
676	美術工芸品（彫刻）	光背付観音立像	甚目寺地区
677	美術工芸品（彫刻）	光背付地藏立像	甚目寺地区
678	美術工芸品（彫刻）	地藏尊座像	甚目寺地区
679	美術工芸品（彫刻）	観音座像	甚目寺地区
680	美術工芸品（彫刻）	釈迦像	甚目寺地区
681	美術工芸品（彫刻）	不動像	甚目寺地区
682	美術工芸品（彫刻）	東辻の地藏	甚目寺地区
683	美術工芸品（彫刻）	字阿原の地藏	甚目寺地区
684	美術工芸品（彫刻）	蓮地の地藏	甚目寺地区
685	美術工芸品（彫刻）	池端の地藏	甚目寺地区
686	美術工芸品（彫刻）	田中地藏	甚目寺地区
687	美術工芸品（彫刻）	辻地藏	甚目寺地区
688	美術工芸品（彫刻）	池田地蔵	甚目寺地区
689	美術工芸品（彫刻）	正法寺門前の地藏	甚目寺地区
690	美術工芸品（彫刻）	水掛地藏	甚目寺地区
691	美術工芸品（彫刻）	薬師地藏	甚目寺地区
692	美術工芸品（彫刻）	神社前の地藏	甚目寺地区
693	美術工芸品（彫刻）	秋葉社内の地藏	甚目寺地区
694	美術工芸品（彫刻）	金山社前の辻地藏	甚目寺地区
695	美術工芸品（彫刻）	北屋敷地藏	甚目寺地区
696	美術工芸品（彫刻）	宿地藏	甚目寺地区
697	美術工芸品（彫刻）	辻地藏	甚目寺地区
698	美術工芸品（彫刻）	四辻の地藏	甚目寺地区
699	美術工芸品（彫刻）	四辻の地藏	甚目寺地区
700	美術工芸品（彫刻）	四辻の地藏	甚目寺地区
701	美術工芸品（彫刻）	法性寺門前の辻地藏	甚目寺地区
702	美術工芸品（工芸品）	七宝焼工程見本	七宝地区
703	美術工芸品（工芸品）	工程見本	七宝地区
704	美術工芸品（工芸品）	孔雀羽根文六角銀胎花瓶	七宝地区
705	美術工芸品（工芸品）	間取り花鳥文大花瓶	七宝地区
706	美術工芸品（工芸品）	竹に雀文花瓶	七宝地区
707	美術工芸品（工芸品）	孔雀に牡丹文大皿	七宝地区
708	美術工芸品（工芸品）	太田道灌にわか雨での傘求めの図皿	七宝地区
709	美術工芸品（工芸品）	楠木正行吉野如意輪堂の図皿	七宝地区

NO	類 型	名 称	地 区
710	美術工芸品（工芸品）	梅花鶯図花瓶	七宝地区
711	美術工芸品（工芸品）	竜門花瓶	七宝地区
712	美術工芸品（工芸品）	おしどり・菖蒲文四面取り花瓶	七宝地区
713	美術工芸品（工芸品）	泥釉鳥文花瓶	七宝地区
714	美術工芸品（工芸品）	本銀地黄色壺	七宝地区
715	美術工芸品（工芸品）	赤透花台	七宝地区
716	美術工芸品（工芸品）	茶金石古代文六角面取り大香炉	七宝地区
717	美術工芸品（工芸品）	鳥文泥七宝皿	七宝地区
718	美術工芸品（工芸品）	婦人像	七宝地区
719	美術工芸品（工芸品）	林喜兵衛 作 竜文花瓶	七宝地区
720	美術工芸品（工芸品）	布袋と月・菊花流水文飾り棚	七宝地区
721	美術工芸品（工芸品）	孔雀羽根文六角銀胎花瓶	七宝地区
722	美術工芸品（工芸品）	遊鯉図花瓶	七宝地区
723	美術工芸品（工芸品）	四季花鳥山水図四角形花瓶	七宝地区
724	美術工芸品（工芸品）	紺地花鳥図木瓜型花瓶	七宝地区
725	美術工芸品（工芸品）	桃色地旭日鳳凰文小箱	七宝地区
726	美術工芸品（工芸品）	槌起桜柳文花瓶	七宝地区
727	美術工芸品（工芸品）	紺地花鳥図木瓜型花瓶雀に桜図花瓶	七宝地区
728	美術工芸品（工芸品）	藤文花瓶	七宝地区
729	美術工芸品（工芸品）	山水文 30 花卉大皿	七宝地区
730	美術工芸品（工芸品）	やけ地松文花瓶	七宝地区
731	美術工芸品（工芸品）	面取りあおい文七宝花瓶	七宝地区
732	美術工芸品（工芸品）	紺地龍図鶴首花瓶	七宝地区
733	美術工芸品（工芸品）	藤に鳩図銀張花瓶	七宝地区
734	美術工芸品（工芸品）	紺地藤文釦	七宝地区
735	美術工芸品（工芸品）	鏡枠	七宝地区
736	美術工芸品（工芸品）	七宝の喫煙具	七宝地区
737	美術工芸品（工芸品）	飾り版	七宝地区
738	美術工芸品（工芸品）	黄色花文花瓶	七宝地区
739	美術工芸品（工芸品）	擬宝珠	七宝地区
740	美術工芸品（工芸品）	茶金石菊文花瓶	七宝地区
741	美術工芸品（工芸品）	花鳥文八角形大花瓶	七宝地区
742	美術工芸品（工芸品）	花鳩図花瓶	七宝地区
743	美術工芸品（工芸品）	富士松原文花瓶	七宝地区

NO	類 型	名 称	地 区
744	美術工芸品（工芸品）	紺地草花図四角形花瓶	七宝地区
745	美術工芸品（工芸品）	鷹に鶴図小壺	七宝地区
746	美術工芸品（工芸品）	蝶文花瓶	七宝地区
747	美術工芸品（工芸品）	花文壺	七宝地区
748	美術工芸品（工芸品）	鳳凰文箱	七宝地区
749	美術工芸品（工芸品）	六角小壺	七宝地区
750	美術工芸品（工芸品）	流水花鳥図六角花瓶	七宝地区
751	美術工芸品（工芸品）	あま市七宝焼アートヴィレッジの日本勲章展	七宝地区
752	美術工芸品（工芸品）	商標板	七宝地区
753	美術工芸品（工芸品）	博覧会受章メダル各種	七宝地区
754	美術工芸品（工芸品）	花鳩図花瓶一對	七宝地区
755	美術工芸品（工芸品）	群鶴飛翔図皿	七宝地区
756	美術工芸品（工芸品）	梅花鶯図花瓶一對	七宝地区
757	美術工芸品（工芸品）	桐鳳凰文食籠	七宝地区
758	美術工芸品（工芸品）	銀張鶴図花瓶	七宝地区
759	美術工芸品（工芸品）	磁胎花瓶仕掛品	七宝地区
760	美術工芸品（工芸品）	磁胎花瓶	七宝地区
761	美術工芸品（工芸品）	パリ万博メダル(複製)	七宝地区
762	美術工芸品（工芸品）	ニュルンベルク金工博覧会(1885)パリ万博(1889)	七宝地区
763	美術工芸品（工芸品）	太田甚之栄メダル5点	七宝地区
764	美術工芸品（工芸品）	太田甚之栄メダル4点	七宝地区
765	美術工芸品（工芸品）	太田甚之栄メダル7点	七宝地区
766	美術工芸品（工芸品）	太田藤四郎メダル5点	七宝地区
767	美術工芸品（工芸品）	七宝板額 婦人像 伝塚本貝助作	七宝地区
768	美術工芸品（工芸品）	手文庫 塚本定次作	七宝地区
769	美術工芸品（工芸品）	釉薬見本(塚本定次)	七宝地区
770	美術工芸品（工芸品）	香炉 伝梶常吉	七宝地区
771	美術工芸品（工芸品）	七宝数珠 伝梶常吉	七宝地区
772	美術工芸品（工芸品）	道具箱(梶常吉私用)(梶家使用のもの)	七宝地区
773	美術工芸品（工芸品）	カフスポタン、ブレスレット	七宝地区
774	美術工芸品（工芸品）	贈従五位位記、辞令、送付状	七宝地区
775	美術工芸品（工芸品）	牡丹石榴文花瓶	七宝地区
776	美術工芸品（工芸品）	桐鳳凰文食籠	七宝地区
777	美術工芸品（工芸品）	古代裂文花瓶	七宝地区

NO	類 型	名 称	地 区
778	美術工芸品（工芸品）	紅葉文花瓶	七宝地区
779	美術工芸品（工芸品）	雉に牡丹文化瓶	七宝地区
780	美術工芸品（工芸品）	雪ノ下文花瓶	七宝地区
781	美術工芸品（工芸品）	青地鳥菊文花瓶	七宝地区
782	美術工芸品（工芸品）	赤透花瓶	七宝地区
783	美術工芸品（工芸品）	紺地土間菊花瓶	七宝地区
784	美術工芸品（工芸品）	緑光釉四季花鳥文木瓜形花瓶	七宝地区
785	美術工芸品（工芸品）	鳳龍文花瓶	七宝地区
786	美術工芸品（工芸品）	銀彩王朝文花瓶	七宝地区
787	美術工芸品（工芸品）	牡丹唐花紋香炉	七宝地区
788	美術工芸品（工芸品）	ひととき	七宝地区
789	美術工芸品（工芸品）	ネクタイピン、カフス、ペンダント	七宝地区
790	美術工芸品（工芸品）	青地燕文花瓶	七宝地区
791	美術工芸品（工芸品）	銀胎薔薇文首飾り	七宝地区
792	美術工芸品（工芸品）	鼈甲形七宝金具（復元）	七宝地区
793	美術工芸品（工芸品）	メダル 桑野忠三郎に贈られたもの	七宝地区
794	美術工芸品（工芸品）	桐箱	七宝地区
795	美術工芸品（工芸品）	龍鳳凰文鉢 林小傳治作	七宝地区
796	美術工芸品（工芸品）	紅葉桜文ランプシェード 林小傳治作	七宝地区
797	美術工芸品（工芸品）	屏風	七宝地区
798	美術工芸品（工芸品）	花鳥文花瓶 林谷五郎	七宝地区
799	美術工芸品（工芸品）	七宝小箱	七宝地区
800	美術工芸品（工芸品）	七宝茶碗	七宝地区
801	美術工芸品（工芸品）	七宝置物	七宝地区
802	美術工芸品（工芸品）	七宝香炉 早川慶五郎	七宝地区
803	美術工芸品（工芸品）	象図皿	七宝地区
804	美術工芸品（工芸品）	花蝶図皿	七宝地区
805	美術工芸品（工芸品）	七宝数珠	七宝地区
806	美術工芸品（工芸品）	七宝風鎮	七宝地区
807	美術工芸品（工芸品）	鳳凰蝶文香炉	七宝地区
808	美術工芸品（工芸品）	古代文香炉	七宝地区
809	美術工芸品（工芸品）	陶胎七宝	七宝地区
810	美術工芸品（工芸品）	扇面文花瓶	七宝地区
811	美術工芸品（工芸品）	梅鶯文花瓶	七宝地区
812	美術工芸品（工芸品）	七宝筆入れ	七宝地区

NO	類 型	名 称	地 区
813	美術工芸品（工芸品）	梅文小箱	七宝地区
814	美術工芸品（工芸品）	雲竜文花瓶	七宝地区
815	美術工芸品（工芸品）	エマイユ七宝	七宝地区
816	美術工芸品（工芸品）	魚文花瓶 林武市	七宝地区
817	美術工芸品（工芸品）	宝石箱（半製品） 林武市	七宝地区
818	美術工芸品（工芸品）	七宝擬宝珠	七宝地区
819	美術工芸品（工芸品）	七宝花瓶	七宝地区
820	美術工芸品（工芸品）	花鳥図花瓶	七宝地区
821	美術工芸品（工芸品）	流釉花瓶	七宝地区
822	美術工芸品（工芸品）	紺地龍文花瓶	七宝地区
823	美術工芸品（工芸品）	龍文柄花瓶	七宝地区
824	美術工芸品（工芸品）	唐獅子文花瓶	七宝地区
825	美術工芸品（工芸品）	瑠璃紺地龍の図花瓶	七宝地区
826	美術工芸品（工芸品）	黄地花瓶	七宝地区
827	美術工芸品（工芸品）	群鶴飛翔図大皿	七宝地区
828	美術工芸品（工芸品）	田植え図花瓶	七宝地区
829	美術工芸品（工芸品）	三十六歌仙壁飾	七宝地区
830	美術工芸品（工芸品）	額絵	七宝地区
831	美術工芸品（工芸品）	番傘	七宝地区
832	美術工芸品（工芸品）	秤	七宝地区
833	美術工芸品（工芸品）	半製品	七宝地区
834	美術工芸品（工芸品）	芦に千鳥文花瓶	七宝地区
835	美術工芸品（工芸品）	菓子鉢	七宝地区
836	美術工芸品（工芸品）	花鳥文花瓶 林小傳治	七宝地区
837	美術工芸品（工芸品）	菓子器 林小傳治	七宝地区
838	美術工芸品（工芸品）	芦・千鳥文花瓶 林小傳治	七宝地区
839	美術工芸品（工芸品）	七宝製作風景図	七宝地区
840	美術工芸品（工芸品）	銀彩王朝文花瓶	七宝地区
841	美術工芸品（工芸品）	紺地花鳥図木瓜型花瓶 太田吉三郎	七宝地区
842	美術工芸品（工芸品）	紺地花草図四角形花瓶 太田為次郎	七宝地区
843	美術工芸品（工芸品）	水色地白鷺図花瓶 権田廣助	七宝地区
844	美術工芸品（工芸品）	紺地龍図鶴首花瓶 林要次郎	七宝地区
845	美術工芸品（工芸品）	紺地雀に桜図花瓶 林忠四郎	七宝地区
846	美術工芸品（工芸品）	紺地葡萄図花瓶 太田春治郎	七宝地区
847	美術工芸品（工芸品）	水色地龍鳳凰文六角花瓶 太田甚之栄	七宝地区
848	美術工芸品（工芸品）	桃色地旭日鳳凰文小箱 林谷五郎	七宝地区

NO	類 型	名 称	地 区
849	美術工芸品（工芸品）	紫地唐草文菓子器	七宝地区
850	美術工芸品（工芸品）	草花文磁胎七宝鶴首花瓶	七宝地区
851	美術工芸品（工芸品）	黄地花文花瓶	七宝地区
852	美術工芸品（工芸品）	槌起桜柳文花瓶（都の春花瓶）	七宝地区
853	美術工芸品（工芸品）	花鳥文八角形大花瓶	七宝地区
854	美術工芸品（工芸品）	紺地孔雀文花瓶	七宝地区
855	美術工芸品（工芸品）	蝶文花瓶	七宝地区
856	美術工芸品（工芸品）	四季花鳥山水図四角形花瓶	七宝地区
857	美術工芸品（工芸品）	青地花文壺	七宝地区
858	美術工芸品（工芸品）	紺地花文花瓶	七宝地区
859	美術工芸品（工芸品）	七宝花素地	七宝地区
860	美術工芸品（工芸品）	七宝取手下駄箱	七宝地区
861	美術工芸品（工芸品）	旭日群鷄図大香炉	七宝地区
862	美術工芸品（工芸品）	浪口鶴模様花瓶	七宝地区
863	美術工芸品（工芸品）	銀線	七宝地区
864	美術工芸品（工芸品）	山鳥・菊・萩・あやめ文四面取壺	七宝地区
865	美術工芸品（工芸品）	彫刻花瓶	七宝地区
866	美術工芸品（工芸品）	竹文花瓶	七宝地区
867	美術工芸品（工芸品）	赤透龍竹文花瓶	七宝地区
868	美術工芸品（工芸品）	ヒスイ花瓶	七宝地区
869	美術工芸品（工芸品）	ヒスイ花瓶（自動車文）	七宝地区
870	美術工芸品（工芸品）	茶金地紫陽花菊文角皿	七宝地区
871	美術工芸品（工芸品）	本銀地香炉	七宝地区
872	美術工芸品（工芸品）	瑠璃紺地龍の図花瓶	七宝地区
873	美術工芸品（工芸品）	緑透百合文銀張花瓶	七宝地区
874	美術工芸品（工芸品）	紺地蝶文花瓶	七宝地区
875	美術工芸品（工芸品）	水透釉胡蝶文花瓶	七宝地区
876	美術工芸品（工芸品）	省胎七宝製作工程見本	七宝地区
877	美術工芸品（工芸品）	黄地薔薇文花瓶	七宝地区
878	美術工芸品（工芸品）	花矢文箱	七宝地区
879	美術工芸品（工芸品）	茶金石蝶花文花瓶	七宝地区
880	美術工芸品（工芸品）	花鳥文陶胎花瓶	七宝地区
881	美術工芸品（工芸品）	紺地花鳥文花瓶・花台	七宝地区
882	美術工芸品（工芸品）	仏画	七宝地区
883	美術工芸品（工芸品）	七宝文花生	七宝地区
884	美術工芸品（工芸品）	鯉文花瓶	七宝地区

NO	類 型	名 称	地 区
885	美術工芸品（工芸品）	橙地鶉文花瓶	七宝地区
886	美術工芸品（工芸品）	青地鴨図皿	七宝地区
887	美術工芸品（工芸品）	茶金石古代文香炉	七宝地区
888	美術工芸品（工芸品）	茶金石鳳凰文小箱	七宝地区
889	美術工芸品（工芸品）	花文花瓶	七宝地区
890	美術工芸品（工芸品）	紺地藤花鳩文花瓶	七宝地区
891	美術工芸品（工芸品）	蝶花文花瓶	七宝地区
892	美術工芸品（工芸品）	盃（銀張）	七宝地区
893	美術工芸品（工芸品）	湯呑	七宝地区
894	美術工芸品（工芸品）	花文七宝入銅器	七宝地区
895	美術工芸品（工芸品）	五具足	七宝地区
896	美術工芸品（工芸品）	桃色地牡丹桜文花瓶	七宝地区
897	美術工芸品（工芸品）	七宝煙草セット	七宝地区
898	美術工芸品（工芸品）	青地牡丹雀文花瓶	七宝地区
899	美術工芸品（工芸品）	水色地桜雀文花瓶	七宝地区
900	美術工芸品（工芸品）	銀張花文香炉	七宝地区
901	美術工芸品（工芸品）	間取り富士に帆掛舟図花瓶	七宝地区
902	美術工芸品（工芸品）	槌起花蝶文花瓶	七宝地区
903	美術工芸品（工芸品）	透明釉天女文花瓶	七宝地区
904	美術工芸品（工芸品）	紫透菊文花瓶	七宝地区
905	美術工芸品（工芸品）	赤透七宝下絵	七宝地区
906	美術工芸品（工芸品）	赤透釉薬（二次焼成前焼成後）	七宝地区
907	美術工芸品（工芸品）	白梅文赤透花瓶	七宝地区
908	美術工芸品（工芸品）	赤透龍文花瓶	七宝地区
909	美術工芸品（工芸品）	七宝つなぎ文小箱	七宝地区
910	美術工芸品（工芸品）	菊鳥図赤透花台付大花瓶	七宝地区
911	美術工芸品（工芸品）	腐蝕素地	七宝地区
912	美術工芸品（工芸品）	本銀地赤透香炉	七宝地区
913	美術工芸品（工芸品）	桜花文赤透花瓶	七宝地区
914	美術工芸品（工芸品）	雲文菊花型引き手	七宝地区
915	美術工芸品（工芸品）	蝶菊文引き手	七宝地区
916	美術工芸品（工芸品）	六角小壺	七宝地区
917	美術工芸品（工芸品）	鷹に鶴図小壺	七宝地区
918	美術工芸品（工芸品）	花文壺	七宝地区
919	美術工芸品（工芸品）	流釉花瓶	七宝地区
920	美術工芸品（工芸品）	アヤメ図花瓶	七宝地区

NO	類 型	名 称	地 区
921	美術工芸品（工芸品）	七宝盃	七宝地区
922	美術工芸品（工芸品）	宝石箱	七宝地区
923	美術工芸品（工芸品）	カトリア図七宝皿	七宝地区
924	美術工芸品（工芸品）	七宝花生	七宝地区
925	美術工芸品（工芸品）	七宝壺	七宝地区
926	美術工芸品（工芸品）	磁胎七宝花瓶	七宝地区
927	美術工芸品（工芸品）	磁胎七宝花台	七宝地区
928	美術工芸品（工芸品）	四季花鳥文花瓶	七宝地区
929	美術工芸品（工芸品）	七宝急須	七宝地区
930	美術工芸品（工芸品）	七宝マッチ入れ	七宝地区
931	美術工芸品（工芸品）	竹に雀図皿	七宝地区
932	美術工芸品（工芸品）	竹に雀図四角形花瓶	七宝地区
933	美術工芸品（工芸品）	紺地花鳥文花瓶	七宝地区
934	美術工芸品（工芸品）	七宝茶碗	七宝地区
935	美術工芸品（工芸品）	六角七宝花瓶	七宝地区
936	美術工芸品（工芸品）	昆虫図七宝筆立て	七宝地区
937	美術工芸品（工芸品）	七宝小箱	七宝地区
938	美術工芸品（工芸品）	七宝皿	七宝地区
939	美術工芸品（工芸品）	七宝ティーセット	七宝地区
940	美術工芸品（工芸品）	合子	七宝地区
941	美術工芸品（工芸品）	菓子器	七宝地区
942	美術工芸品（工芸品）	七宝皿	七宝地区
943	美術工芸品（工芸品）	七宝花瓶	七宝地区
944	美術工芸品（工芸品）	紺地花鳥文六角花瓶	七宝地区
945	美術工芸品（工芸品）	香炉	七宝地区
946	美術工芸品（工芸品）	紺地花文花瓶紺地花鳥文花瓶	七宝地区
947	美術工芸品（工芸品）	パリ万博賞状額	七宝地区
948	美術工芸品（工芸品）	パリ万博メダル	七宝地区
949	美術工芸品（工芸品）	七宝ランプ	七宝地区
950	美術工芸品（工芸品）	古代文花瓶	七宝地区
951	美術工芸品（工芸品）	七宝アクセサリー	七宝地区
952	美術工芸品（工芸品）	カトリア図七宝皿	七宝地区
953	美術工芸品（工芸品）	茶碗	七宝地区
954	美術工芸品（工芸品）	七宝花瓶（高松塚古墳壁画）	七宝地区
955	美術工芸品（工芸品）	七宝梅詰花瓶	七宝地区
956	美術工芸品（工芸品）	七宝銀張花瓶	七宝地区

NO	類 型	名 称	地 区
957	美術工芸品（工芸品）	花鳥図花瓶	七宝地区
958	美術工芸品（工芸品）	風景図皿	七宝地区
959	美術工芸品（工芸品）	花鳥図皿	七宝地区
960	美術工芸品（工芸品）	花文小皿	七宝地区
961	美術工芸品（工芸品）	磁胎七宝花瓶（仕掛品）	七宝地区
962	美術工芸品（工芸品）	磁胎七宝花瓶	七宝地区
963	美術工芸品（工芸品）	磁胎七宝鉢	七宝地区
964	美術工芸品（工芸品）	漆七宝鶴首花瓶	七宝地区
965	美術工芸品（工芸品）	漆七宝花瓶	七宝地区
966	美術工芸品（工芸品）	漆七宝皿	七宝地区
967	美術工芸品（工芸品）	小箱（植線仕掛）	七宝地区
968	美術工芸品（工芸品）	花瓶（植線仕掛）	七宝地区
969	美術工芸品（工芸品）	宝石箱（植線仕掛）	七宝地区
970	美術工芸品（工芸品）	鉢（植線仕掛）	七宝地区
971	美術工芸品（工芸品）	浪口鶴模様花瓶（植線仕掛）	七宝地区
972	美術工芸品（工芸品）	雉文花瓶（植線仕掛）	七宝地区
973	美術工芸品（工芸品）	花鳩図花瓶	七宝地区
974	美術工芸品（工芸品）	鳳龍文花瓶	七宝地区
975	美術工芸品（工芸品）	旭光釉四君子文花瓶	七宝地区
976	美術工芸品（工芸品）	銀張鶴図花瓶	七宝地区
977	美術工芸品（工芸品）	鳩に蝶図花瓶	七宝地区
978	美術工芸品（工芸品）	泥七宝小皿	七宝地区
979	美術工芸品（工芸品）	水草文花瓶	七宝地区
980	美術工芸品（工芸品）	雀図襖引手	七宝地区
981	美術工芸品（工芸品）	七宝引手	七宝地区
982	美術工芸品（工芸品）	古代文花瓶	七宝地区
983	美術工芸品（工芸品）	古代裂文花瓶	七宝地区
984	美術工芸品（工芸品）	鳳凰文鉢	七宝地区
985	美術工芸品（工芸品）	七宝飾り皿	七宝地区
986	美術工芸品（工芸品）	七宝十手	七宝地区
987	美術工芸品（工芸品）	七宝柄	七宝地区
988	美術工芸品（工芸品）	竜文皿	七宝地区
989	美術工芸品（工芸品）	磁胎花瓶	七宝地区
990	美術工芸品（工芸品）	桜雀文皿	七宝地区
991	美術工芸品（工芸品）	花鳩図花瓶	七宝地区
992	美術工芸品（工芸品）	アヤメ文銀張花瓶	七宝地区

NO	類 型	名 称	地 区
993	美術工芸品（工芸品）	七宝手焙り	七宝地区
994	美術工芸品（工芸品）	竹田ほねつぎ花瓶	七宝地区
995	美術工芸品（工芸品）	更紗模様花瓶	七宝地区
996	美術工芸品（工芸品）	桜文花瓶 明治	七宝地区
997	美術工芸品（工芸品）	花文つやけし花瓶 昭和	七宝地区
998	美術工芸品（工芸品）	青地小菊花瓶 明治	七宝地区
999	美術工芸品（工芸品）	蝶図花瓶	七宝地区
1000	美術工芸品（工芸品）	青地花文花瓶 明治	七宝地区
1001	美術工芸品（工芸品）	煙草入れ 大正～昭和	七宝地区
1002	美術工芸品（工芸品）	オウム花瓶 明治	七宝地区
1003	美術工芸品（工芸品）	赤透花瓶 明治	七宝地区
1004	美術工芸品（工芸品）	展覧会メダル(太田甚之栄 受賞)	七宝地区
1005	美術工芸品（工芸品）	赤透煙草入れ 太田甚之栄	七宝地区
1006	美術工芸品（工芸品）	赤透花瓶 太田甚之栄	七宝地区
1007	美術工芸品（工芸品）	緑透金魚文花瓶 明治	七宝地区
1008	美術工芸品（工芸品）	銀張鶏文花瓶 明治	七宝地区
1009	美術工芸品（工芸品）	七宝額絵 昭和	七宝地区
1010	美術工芸品（工芸品）	文皿 明治	七宝地区
1011	美術工芸品（工芸品）	七宝マッチ入れ 明治	七宝地区
1012	美術工芸品（工芸品）	七宝徽章	七宝地区
1013	美術工芸品（工芸品）	七宝調味料入れ	七宝地区
1014	美術工芸品（工芸品）	七宝写真立て	七宝地区
1015	美術工芸品（工芸品）	香水入れ 明治	七宝地区
1016	美術工芸品（工芸品）	水滴 明治	七宝地区
1017	美術工芸品（工芸品）	ナフキン立て 明治	七宝地区
1018	美術工芸品（工芸品）	七宝風鎮 明治	七宝地区
1019	美術工芸品（工芸品）	銀張桜花瓶 明治	七宝地区
1020	美術工芸品（工芸品）	赤透煙草セット	七宝地区
1021	美術工芸品（工芸品）	波文煙草入れ 明治～大正	七宝地区
1022	美術工芸品（工芸品）	筆筒 明治	七宝地区
1023	美術工芸品（工芸品）	獅子文花瓶	七宝地区
1024	美術工芸品（工芸品）	陶七宝花瓶 昭和	七宝地区
1025	美術工芸品（工芸品）	七宝焼窯元資料一式 明治	七宝地区
1026	美術工芸品（工芸品）	龍文ヒスイ花瓶 昭和	七宝地区
1027	美術工芸品（工芸品）	菊文花瓶 昭和	七宝地区
1028	美術工芸品（工芸品）	七宝小盃	七宝地区

NO	類 型	名 称	地 区
1029	美術工芸品（工芸品）	泥七宝花瓶	七宝地区
1030	美術工芸品（工芸品）	泥七宝皿	七宝地区
1031	美術工芸品（工芸品）	泥七宝緒締玉	七宝地区
1032	美術工芸品（工芸品）	泥七宝水柱	七宝地区
1033	美術工芸品（工芸品）	陶七宝花瓶	七宝地区
1034	美術工芸品（工芸品）	陶七宝皿	七宝地区
1035	美術工芸品（工芸品）	磁胎七宝花瓶	七宝地区
1036	美術工芸品（工芸品）	磁胎七宝杯	七宝地区
1037	美術工芸品（工芸品）	赤透小箱	七宝地区
1038	美術工芸品（工芸品）	省胎七宝花瓶	七宝地区
1039	美術工芸品（工芸品）	40 玉変型 蝶	七宝地区
1040	美術工芸品（工芸品）	茶金石花瓶	七宝地区
1041	美術工芸品（工芸品）	4. 5 間取総模様花瓶	七宝地区
1042	美術工芸品（工芸品）	85 変型幽玄	七宝地区
1043	美術工芸品（工芸品）	40 玉型龍文花瓶	七宝地区
1044	美術工芸品（工芸品）	菊文小壺 明治 林小傳治作	七宝地区
1045	美術工芸品（工芸品）	雪ノ下文花瓶 林小傳治作	七宝地区
1046	美術工芸品（工芸品）	梅菊文花瓶	七宝地区
1047	美術工芸品（工芸品）	六角小壺 明治 20～30 年頃	七宝地区
1048	美術工芸品（工芸品）	ニュルンベルク金工万国博覧会 メダル	七宝地区
1049	美術工芸品（工芸品）	パリ万国博覧会 メダル	七宝地区
1050	美術工芸品（工芸品）	フィラデルフィア万国博覧会 メダル	七宝地区
1051	美術工芸品（工芸品）	ニュルンベルク金工博覧会 メダル	七宝地区
1052	美術工芸品（工芸品）	シカゴ・コロンプス万国博覧会 メダル	七宝地区
1053	美術工芸品（工芸品）	日英博覧会 メダル	七宝地区
1054	美術工芸品（工芸品）	戦時記念博覧会 メダル	七宝地区
1055	美術工芸品（工芸品）	サンフランシスコ万国博覧会メダル	七宝地区
1056	美術工芸品（工芸品）	賞状貼り込み屏風	七宝地区
1057	美術工芸品（工芸品）	磁胎花瓶素地	七宝地区
1058	美術工芸品（工芸品）	花車文七宝花瓶	七宝地区
1059	美術工芸品（工芸品）	磁胎花唐草文花瓶	七宝地区
1060	美術工芸品（工芸品）	磁胎海底図花瓶	七宝地区
1061	美術工芸品（工芸品）	磁胎鳳凰図花瓶	七宝地区
1062	美術工芸品（工芸品）	磁胎蓮に雀文花瓶	七宝地区
1063	美術工芸品（工芸品）	磁胎蝶・唐草文花瓶	七宝地区
1064	美術工芸品（工芸品）	磁胎間取花鳥文花瓶	七宝地区
1065	美術工芸品（工芸品）	磁胎蝶文花瓶	七宝地区

NO	類 型	名 称	地 区
1066	美術工芸品（工芸品）	磁胎草花文花瓶	七宝地区
1067	美術工芸品（工芸品）	磁胎花鳥文花瓶	七宝地区
1068	美術工芸品（工芸品）	磁胎花文急須	七宝地区
1069	美術工芸品（工芸品）	磁胎花文茶碗	七宝地区
1070	美術工芸品（工芸品）	磁胎急須	七宝地区
1071	美術工芸品（工芸品）	磁胎カップ・ソーサー	七宝地区
1072	美術工芸品（工芸品）	塗七宝花鳥文花瓶	七宝地区
1073	美術工芸品（工芸品）	塗七宝菖蒲鷺図花瓶	七宝地区
1074	美術工芸品（工芸品）	磁胎扇面文鉢	七宝地区
1075	美術工芸品（工芸品）	桐文陶胎花瓶	七宝地区
1076	美術工芸品（工芸品）	磁胎花文鉢	七宝地区
1077	美術工芸品（工芸品）	花唐草文陶胎七宝花瓶	七宝地区
1078	美術工芸品（工芸品）	寿文陶胎七宝菓子鉢	七宝地区
1079	美術工芸品（工芸品）	陶胎七宝德利	七宝地区
1080	美術工芸品（工芸品）	陶胎花文花瓶	七宝地区
1081	美術工芸品（工芸品）	陶胎花鳥文茶壺	七宝地区
1082	美術工芸品（工芸品）	陶胎鳥図花瓶	七宝地区
1083	美術工芸品（工芸品）	花文筒形七宝蓋物	七宝地区
1084	美術工芸品（工芸品）	磁胎秋草図花瓶	七宝地区
1085	美術工芸品（工芸品）	磁胎獅子唐草文花瓶	七宝地区
1086	美術工芸品（工芸品）	磁胎葡萄文花瓶	七宝地区
1087	美術工芸品（工芸品）	磁胎花唐草文花瓶	七宝地区
1088	美術工芸品（工芸品）	磁胎こうもり文花瓶	七宝地区
1089	美術工芸品（工芸品）	磁胎鳥文花瓶	七宝地区
1090	美術工芸品（工芸品）	磁胎花文皿	七宝地区
1091	美術工芸品（工芸品）	花文陶胎七宝小皿	七宝地区
1092	美術工芸品（工芸品）	磁胎花文花瓶	七宝地区
1093	美術工芸品（工芸品）	磁胎カップ	七宝地区
1094	美術工芸品（工芸品）	磁胎煎茶碗	七宝地区
1095	美術工芸品（工芸品）	磁胎花鳥図花瓶	七宝地区
1096	美術工芸品（工芸品）	磁胎花文筒形花瓶	七宝地区
1097	美術工芸品（工芸品）	磁胎花文鉢	七宝地区
1098	美術工芸品（工芸品）	磁胎蘭鉢	七宝地区
1099	美術工芸品（工芸品）	磁胎花文蓋物	七宝地区
1100	美術工芸品（工芸品）	塗七宝鳥文花瓶	七宝地区
1101	美術工芸品（工芸品）	塗七宝鶴文花瓶	七宝地区
1102	美術工芸品（工芸品）	塗七宝花鳥図皿	七宝地区

NO	類 型	名 称	地 区
1103	美術工芸品（工芸品）	塗七宝柿文皿	七宝地区
1104	美術工芸品（工芸品）	塗七宝花台	七宝地区
1105	美術工芸品（工芸品）	塗七宝蓋物	七宝地区
1106	美術工芸品（工芸品）	塗七宝菖蒲文花瓶	七宝地区
1107	美術工芸品（工芸品）	塗七宝鶴首花瓶	七宝地区
1108	美術工芸品（工芸品）	塗七宝鶴図花瓶	七宝地区
1109	美術工芸品（工芸品）	磁胎花瓶素地	七宝地区
1110	美術工芸品（工芸品）	磁胎七宝花瓶（欠損）	七宝地区
1111	美術工芸品（工芸品）	バックル	七宝地区
1112	美術工芸品（工芸品）	七宝素地	七宝地区
1113	美術工芸品（工芸品）	七宝記念碑拓本	七宝地区
1114	美術工芸品（工芸品）	波に鷹図花瓶	七宝地区
1115	美術工芸品（工芸品）	虎図七宝屏風	七宝地区
1116	美術工芸品（工芸品）	松紋茶碗	七宝地区
1117	美術工芸品（工芸品）	松紋棗	七宝地区
1118	美術工芸品（工芸品）	桜紋香合	七宝地区
1119	美術工芸品（工芸品）	旭光釉梅文花瓶	七宝地区
1120	美術工芸品（工芸品）	陶胎花瓶	七宝地区
1121	美術工芸品（工芸品）	梅図花瓶	七宝地区
1122	美術工芸品（工芸品）	七宝急須	七宝地区
1123	美術工芸品（工芸品）	マッチ入れ	七宝地区
1124	美術工芸品（工芸品）	筒型花瓶	七宝地区
1125	美術工芸品（工芸品）	一輪挿し	七宝地区
1126	美術工芸品（工芸品）	泥七宝蜘蛛の巣に蛾図皿	七宝地区
1127	美術工芸品（工芸品）	鳥かご図皿	七宝地区
1128	美術工芸品（工芸品）	緑透鯉図小箱	七宝地区
1129	美術工芸品（工芸品）	青透銀張金魚図花瓶	七宝地区
1130	美術工芸品（工芸品）	鵜ノ絵模様銘々皿	七宝地区
1131	美術工芸品（工芸品）	焼台	七宝地区
1132	美術工芸品（工芸品）	サヤ	七宝地区
1133	美術工芸品（工芸品）	紺地藤に燕図花瓶	七宝地区
1134	美術工芸品（工芸品）	鷹に鶴図小壺	七宝地区
1135	美術工芸品（工芸品）	六角小壺	七宝地区
1136	美術工芸品（工芸品）	紺地菖蒲図花瓶	七宝地区
1137	美術工芸品（工芸品）	桜鳥図花瓶	七宝地区
1138	美術工芸品（工芸品）	黒地桜文花瓶	七宝地区
1139	美術工芸品（工芸品）	山鳥・菊・萩・あやめ文四面取壺	七宝地区

NO	類 型	名 称	地 区
1140	美術工芸品（工芸品）	花文鶴首花瓶	七宝地区
1141	美術工芸品（工芸品）	花鳥図皿	七宝地区
1142	美術工芸品（工芸品）	雀に牡丹図皿	七宝地区
1143	美術工芸品（工芸品）	鳩に花図皿	七宝地区
1144	美術工芸品（工芸品）	鶉に花図皿	七宝地区
1145	美術工芸品（工芸品）	花図皿	七宝地区
1146	美術工芸品（工芸品）	中心円紫陽花文大皿	七宝地区
1147	美術工芸品（工芸品）	蓮文皿	七宝地区
1148	美術工芸品（工芸品）	雀・夾竹桃図皿	七宝地区
1149	美術工芸品（工芸品）	海浜図皿	七宝地区
1150	美術工芸品（工芸品）	富士に龍図皿	七宝地区
1151	美術工芸品（工芸品）	富士に町場図皿	七宝地区
1152	美術工芸品（工芸品）	鳥追い図皿	七宝地区
1153	美術工芸品（工芸品）	扇面図皿	七宝地区
1154	美術工芸品（工芸品）	唐獅子図皿	七宝地区
1155	美術工芸品（工芸品）	茶金石菊花弁蝶図皿	七宝地区
1156	美術工芸品（工芸品）	朝顔に蝶図小皿	七宝地区
1157	美術工芸品（工芸品）	菊に鳥図皿	七宝地区
1158	美術工芸品（工芸品）	花文皿	七宝地区
1159	美術工芸品（工芸品）	泥七宝花文皿	七宝地区
1160	美術工芸品（工芸品）	雁に花図皿	七宝地区
1161	美術工芸品（工芸品）	花菖蒲図皿	七宝地区
1162	美術工芸品（工芸品）	湖畔図皿	七宝地区
1163	美術工芸品（工芸品）	葡萄に鳥図皿	七宝地区
1164	美術工芸品（工芸品）	鳳凰に花図皿	七宝地区
1165	美術工芸品（工芸品）	鳳凰文皿	七宝地区
1166	美術工芸品（工芸品）	龍・花文皿	七宝地区
1167	美術工芸品（工芸品）	竜文皿外周花蝶千鳥波小円文皿	七宝地区
1168	美術工芸品（工芸品）	ききょう図皿	七宝地区
1169	美術工芸品（工芸品）	鷹・雀文大皿	七宝地区
1170	美術工芸品（工芸品）	鶯に花図皿	七宝地区
1171	美術工芸品（工芸品）	桜型白鷺文飾皿	七宝地区
1172	美術工芸品（工芸品）	茶金石龍鳳凰文輪花皿	七宝地区
1173	美術工芸品（工芸品）	鳳凰文花弁型六角皿	七宝地区
1174	美術工芸品（工芸品）	茶緑地花鳥図角皿	七宝地区
1175	美術工芸品（工芸品）	小円花文四角足付皿	七宝地区
1176	美術工芸品（工芸品）	銀張皿(Kansas city1906)	七宝地区

NO	類 型	名 称	地 区
1177	美術工芸品（工芸品）	柿に鳥図塗七宝皿	七宝地区
1178	美術工芸品（工芸品）	花瓶型紙	七宝地区
1179	美術工芸品（工芸品）	七宝龍・花文皿	七宝地区
1180	美術工芸品（工芸品）	泥七宝花文皿	七宝地区
1181	美術工芸品（工芸品）	茶金石龍図香炉	七宝地区
1182	美術工芸品（工芸品）	鳳龍図箱	七宝地区
1183	美術工芸品（工芸品）	波文煙草入れ	七宝地区
1184	美術工芸品（工芸品）	七宝香炉 梶常吉	七宝地区
1185	美術工芸品（工芸品）	緒締玉	七宝地区
1186	美術工芸品（工芸品）	煙草道具	七宝地区
1187	美術工芸品（工芸品）	泥七宝重箱	七宝地区
1188	美術工芸品（工芸品）	銚子	七宝地区
1189	美術工芸品（工芸品）	香炉	七宝地区
1190	美術工芸品（工芸品）	花活	七宝地区
1191	美術工芸品（工芸品）	七宝鉢	七宝地区
1192	美術工芸品（工芸品）	七宝花文皿	七宝地区
1193	美術工芸品（工芸品）	藤図花瓶	七宝地区
1194	美術工芸品（工芸品）	花鳥図花瓶	七宝地区
1195	美術工芸品（工芸品）	六角流水図花瓶	七宝地区
1196	美術工芸品（工芸品）	藤文花瓶	七宝地区
1197	美術工芸品（工芸品）	菊花図花瓶	七宝地区
1198	美術工芸品（工芸品）	竹に雀文花瓶	七宝地区
1199	美術工芸品（工芸品）	雉図花瓶	七宝地区
1200	美術工芸品（工芸品）	柳に雀図花瓶	七宝地区
1201	美術工芸品（工芸品）	雀に紅葉図花瓶	七宝地区
1202	美術工芸品（工芸品）	青地花鳥図花瓶	七宝地区
1203	美術工芸品（工芸品）	竹に雀図花瓶	七宝地区
1204	美術工芸品（工芸品）	古代文間取り花瓶	七宝地区
1205	美術工芸品（工芸品）	蝶図花瓶	七宝地区
1206	美術工芸品（工芸品）	鳳凰図花瓶	七宝地区
1207	美術工芸品（工芸品）	間取り花鳥図花瓶	七宝地区
1208	美術工芸品（工芸品）	龍図花瓶	七宝地区
1209	美術工芸品（工芸品）	龍鳳図花瓶	七宝地区
1210	美術工芸品（工芸品）	鯉図花瓶	七宝地区
1211	美術工芸品（工芸品）	金魚図花瓶	七宝地区
1212	美術工芸品（工芸品）	藤図花瓶	七宝地区
1213	美術工芸品（工芸品）	百合図花瓶	七宝地区

NO	類 型	名 称	地 区
1214	美術工芸品（工芸品）	鷹図花瓶	七宝地区
1215	美術工芸品（工芸品）	弁天図花瓶	七宝地区
1216	美術工芸品（工芸品）	菖蒲図花瓶	七宝地区
1217	美術工芸品（工芸品）	梅図花瓶	七宝地区
1218	美術工芸品（工芸品）	花図花瓶	七宝地区
1219	美術工芸品（工芸品）	蜻蛉図蓋物	七宝地区
1220	美術工芸品（工芸品）	茶金石鶴図花瓶	七宝地区
1221	美術工芸品（工芸品）	武将図皿	七宝地区
1222	美術工芸品（工芸品）	人物図皿	七宝地区
1223	美術工芸品（工芸品）	蝶図皿	七宝地区
1224	美術工芸品（工芸品）	花図皿	七宝地区
1225	美術工芸品（工芸品）	ぶどう図花瓶	七宝地区
1226	美術工芸品（工芸品）	風景図箱	七宝地区
1227	美術工芸品（工芸品）	鶯梅文六角花瓶	七宝地区
1228	美術工芸品（工芸品）	藤文有鳩図花瓶	七宝地区
1229	美術工芸品（工芸品）	竹雀図皿	七宝地区
1230	美術工芸品（工芸品）	間取鶴に花文花瓶	七宝地区
1231	美術工芸品（工芸品）	鶏文赤透花瓶	七宝地区
1232	美術工芸品（工芸品）	赤透四君子花瓶	七宝地区
1233	美術工芸品（工芸品）	間取花蝶文花瓶	七宝地区
1234	美術工芸品（工芸品）	間取花図花生	七宝地区
1235	美術工芸品（工芸品）	茶緑地花鳥図角皿	七宝地区
1236	美術工芸品（工芸品）	扇面文皿	七宝地区
1237	美術工芸品（工芸品）	富士図花瓶	七宝地区
1238	美術工芸品（工芸品）	鳳凰文花弁型六角皿	七宝地区
1239	美術工芸品（工芸品）	鳳凰文箱	七宝地区
1240	美術工芸品（工芸品）	鳳凰文皿	七宝地区
1241	美術工芸品（工芸品）	茶金石龍鳳凰文輪花皿	七宝地区
1242	美術工芸品（工芸品）	鳳凰図皿	七宝地区
1243	美術工芸品（工芸品）	鳳凰文花瓶	七宝地区
1244	美術工芸品（工芸品）	龍文皿	七宝地区
1245	美術工芸品（工芸品）	竜文皿外周り花蝶千鳥波小円文	七宝地区
1246	美術工芸品（工芸品）	七宝龍花文皿	七宝地区
1247	美術工芸品（工芸品）	橙地古代文花瓶	七宝地区
1248	美術工芸品（工芸品）	茶金石朝顔図花瓶	七宝地区
1249	美術工芸品（工芸品）	花文壺	七宝地区
1250	美術工芸品（工芸品）	泥七宝花文皿	七宝地区

NO	類 型	名 称	地 区
1251	美術工芸品（工芸品）	泥七宝重箱	七宝地区
1252	美術工芸品（工芸品）	鳳龍文花瓶	七宝地区
1253	美術工芸品（工芸品）	蝶花文宝石箱	七宝地区
1254	美術工芸品（工芸品）	花文鉢	七宝地区
1255	美術工芸品（工芸品）	濃尾地震で被災した花瓶	七宝地区
1256	美術工芸品（工芸品）	畳のコゲ痕付花瓶	七宝地区
1257	美術工芸品（工芸品）	鳳龍図茶金石大皿	七宝地区
1258	美術工芸品（工芸品）	群鶴飛翔図皿	七宝地区
1259	美術工芸品（工芸品）	花図皿	七宝地区
1260	美術工芸品（工芸品）	鳳凰図鉢	七宝地区
1261	美術工芸品（工芸品）	鯉に蟹図皿	七宝地区
1262	美術工芸品（工芸品）	七宝製作風景図皆具（杓立・建水・蓋置・水指）	七宝地区
1263	美術工芸品（工芸品）	七宝花台	七宝地区
1264	美術工芸品（工芸品）	花文火鉢	七宝地区
1265	美術工芸品（工芸品）	瓶掛	七宝地区
1266	美術工芸品（工芸品）	絵皿	七宝地区
1267	美術工芸品（工芸品）	額絵（トマト）	七宝地区
1268	美術工芸品（工芸品）	額絵（菖蒲）	七宝地区
1269	美術工芸品（工芸品）	泥釉装飾品	七宝地区
1270	美術工芸品（工芸品）	七宝グラス	七宝地区
1271	美術工芸品（工芸品）	陶胎盃	七宝地区
1272	美術工芸品（工芸品）	磁胎茶碗	七宝地区
1273	美術工芸品（工芸品）	磁胎花図花瓶	七宝地区
1274	美術工芸品（工芸品）	バックル（五大都市体育大会）	七宝地区
1275	美術工芸品（工芸品）	時計	七宝地区
1276	美術工芸品（工芸品）	飾皿	七宝地区
1277	美術工芸品（工芸品）	手鏡	七宝地区
1278	美術工芸品（工芸品）	灰皿	七宝地区
1279	美術工芸品（工芸品）	クリップ	七宝地区
1280	美術工芸品（工芸品）	十手	七宝地区
1281	美術工芸品（工芸品）	紫透藤図杖頭	七宝地区
1282	美術工芸品（工芸品）	緑透梅図杖頭	七宝地区
1283	美術工芸品（工芸品）	菊梅図写真立て	七宝地区
1284	美術工芸品（工芸品）	太刀拵	七宝地区
1285	美術工芸品（工芸品）	記念メダル（ストックホルムスエーデン世界卓球選手権大会）	七宝地区
1286	美術工芸品（工芸品）	バックル（大相撲名古屋本場所昇格記念）	七宝地区
1287	美術工芸品（工芸品）	花文ナブキンリング	七宝地区

NO	類 型	名 称	地 区
1288	美術工芸品（工芸品）	花図ナフキンリング	七宝地区
1289	美術工芸品（工芸品）	花蝶文水差	七宝地区
1290	美術工芸品（工芸品）	黒地鱗文胡椒入	七宝地区
1291	美術工芸品（工芸品）	七宝組合看板	七宝地区
1292	美術工芸品（工芸品）	ウマと作業台(大型花瓶用)	七宝地区
1293	美術工芸品（工芸品）	泥釉鳥文花瓶	七宝地区
1294	美術工芸品（工芸品）	ワグネル青磁草花文花瓶	七宝地区
1295	美術工芸品（工芸品）	ルリ紺地龍の図花瓶	七宝地区
1296	美術工芸品（工芸品）	間取草花文花瓶	七宝地区
1297	美術工芸品（工芸品）	青透鳳凰文花瓶	七宝地区
1298	美術工芸品（工芸品）	腐蝕素地	七宝地区
1299	美術工芸品（工芸品）	銀張あやめ模様花瓶	七宝地区
1300	美術工芸品（工芸品）	ハ寸菊文花瓶	七宝地区
1301	美術工芸品（工芸品）	陶胎皿	七宝地区
1302	美術工芸品（工芸品）	浪口鶴模様花瓶	七宝地区
1303	美術工芸品（工芸品）	青地菊文花瓶	七宝地区
1304	美術工芸品（工芸品）	たばこ入れ銀張有線七宝	七宝地区
1305	美術工芸品（工芸品）	赤透四寸皿	七宝地区
1306	美術工芸品（工芸品）	竜文花瓶 完成品未完成品	七宝地区
1307	美術工芸品（工芸品）	本銀地黄色壺	七宝地区
1308	美術工芸品（工芸品）	四寸省胎七宝	七宝地区
1309	美術工芸品（工芸品）	菓子器	七宝地区
1310	美術工芸品（工芸品）	銀台口紅入れ	七宝地区
1311	美術工芸品（工芸品）	花瓶(流釉)	七宝地区
1312	美術工芸品（工芸品）	香炷	七宝地区
1313	美術工芸品（工芸品）	銀台盃	七宝地区
1314	美術工芸品（工芸品）	高岡銅器	七宝地区
1315	美術工芸品（工芸品）	やけ地松文花瓶	七宝地区
1316	美術工芸品（工芸品）	紺地菊文花瓶	七宝地区
1317	美術工芸品（工芸品）	香鉢	七宝地区
1318	美術工芸品（工芸品）	陶胎七宝湯呑	七宝地区
1319	美術工芸品（工芸品）	鏡の枠	七宝地区
1320	美術工芸品（工芸品）	傘の柄	七宝地区
1321	美術工芸品（工芸品）	たばこ入れ	七宝地区
1322	美術工芸品（工芸品）	ナフキン置き(白梅)	七宝地区
1323	美術工芸品（工芸品）	ナフキン置き(竹梅)	七宝地区
1324	美術工芸品（工芸品）	ナフキン置き(桜)	七宝地区

NO	類 型	名 称	地 区
1325	美術工芸品（工芸品）	ナフキン置き(菊)	七宝地区
1326	美術工芸品（工芸品）	香たき	七宝地区
1327	美術工芸品（工芸品）	花器	七宝地区
1328	美術工芸品（工芸品）	陶胎皿	七宝地区
1329	美術工芸品（工芸品）	芦・千鳥文花瓶	七宝地区
1330	美術工芸品（工芸品）	陶胎七宝	七宝地区
1331	美術工芸品（工芸品）	香炉 本銀地	七宝地区
1332	美術工芸品（工芸品）	ナフキン置き	七宝地区
1333	美術工芸品（工芸品）	緑の飾り	七宝地区
1334	美術工芸品（工芸品）	輪(青)	七宝地区
1335	美術工芸品（工芸品）	宝石箱ふた	七宝地区
1336	美術工芸品（工芸品）	花瓶 あやめ図(銀地)	七宝地区
1337	美術工芸品（工芸品）	インキ壺	七宝地区
1338	美術工芸品（工芸品）	三十六歌仙 五角皿	七宝地区
1339	美術工芸品（工芸品）	八寸 花瓶(未完成品)	七宝地区
1340	美術工芸品（工芸品）	竜文花瓶	七宝地区
1341	美術工芸品（工芸品）	盃	七宝地区
1342	美術工芸品（工芸品）	竜文花瓶	七宝地区
1343	美術工芸品（工芸品）	婦人像	七宝地区
1344	美術工芸品（工芸品）	花瓶	七宝地区
1345	美術工芸品（工芸品）	50 彫刻花瓶(素地)	七宝地区
1346	美術工芸品（工芸品）	白地盛上七宝花瓶	七宝地区
1347	美術工芸品（工芸品）	根〆七宝(野点かご)	七宝地区
1348	美術工芸品（工芸品）	おしどり・菖蒲文四面取り花瓶	七宝地区
1349	美術工芸品（工芸品）	小円花文四角足付皿	七宝地区
1350	美術工芸品（工芸品）	竜文皿 外周り花鳥千鳥波小円文	七宝地区
1351	美術工芸品（工芸品）	鳳凰文花卉方六角皿	七宝地区
1352	美術工芸品（工芸品）	中心円紫陽花文大皿	七宝地区
1353	美術工芸品（工芸品）	鷹・雀文大皿	七宝地区
1354	美術工芸品（工芸品）	花模様中皿	七宝地区
1355	美術工芸品（工芸品）	蓮文大皿	七宝地区
1356	美術工芸品（工芸品）	鶯・梅文六角花瓶	七宝地区
1357	美術工芸品（工芸品）	桜・鳥文丸花瓶	七宝地区
1358	美術工芸品（工芸品）	朝顔蝶文小皿	七宝地区
1359	美術工芸品（工芸品）	鳥・蝶・梅・桜・菊文蓋付茶壺	七宝地区
1360	美術工芸品（工芸品）	薔薇・鳥・蝶文大皿	七宝地区
1361	美術工芸品（工芸品）	牡丹・双鳥文大皿	七宝地区

NO	類 型	名 称	地 区
1362	美術工芸品（工芸品）	波型バックル 薔薇 3 個文	七宝地区
1363	美術工芸品（工芸品）	円型バックル 蝶羽文の中にあやめ・梅文	七宝地区
1364	美術工芸品（工芸品）	太田道灌にわか雨での傘求めの図皿	七宝地区
1365	美術工芸品（工芸品）	かわせみ・薔薇・蓮文筒型 陶胎花瓶	七宝地区
1366	美術工芸品（工芸品）	小鳥・菊・すすき・朝顔・萩文 蛤型箱	七宝地区
1367	美術工芸品（工芸品）	鶴・鳳凰・葡萄文 扁壺	七宝地区
1368	美術工芸品（工芸品）	山鳥・菊・萩・あやめ文 四面取壺	七宝地区
1369	美術工芸品（工芸品）	黄色小鳥・薔薇・朝顔文 飾り版	七宝地区
1370	美術工芸品（工芸品）	雀・葡萄文 飾り版	七宝地区
1371	美術工芸品（工芸品）	小鳥・もみじ文 飾り版	七宝地区
1372	美術工芸品（工芸品）	蝶・すすき文 飾り版	七宝地区
1373	美術工芸品（工芸品）	蝶・花文宝石箱	七宝地区
1374	美術工芸品（工芸品）	面取りあおい文七宝花瓶	七宝地区
1375	美術工芸品（工芸品）	赤透花台	七宝地区
1376	美術工芸品（工芸品）	高岡銅器	七宝地区
1377	美術工芸品（工芸品）	古七宝花入	七宝地区
1378	美術工芸品（工芸品）	龍に鳳凰文花瓶	七宝地区
1379	美術工芸品（工芸品）	スミレ花文スタンド型鏡	七宝地区
1380	美術工芸品（工芸品）	ミルク入れ	七宝地区
1381	美術工芸品（工芸品）	陶胎花瓶	七宝地区
1382	美術工芸品（工芸品）	銀張七宝花瓶	七宝地区
1383	美術工芸品（工芸品）	楠木正行吉野如意輪堂の図皿	七宝地区
1384	美術工芸品（工芸品）	藤花有鳩図花瓶	七宝地区
1385	美術工芸品（工芸品）	孔雀羽根紋銀胎七宝花瓶	七宝地区
1386	美術工芸品（工芸品）	七宝工程見本	七宝地区
1387	美術工芸品（工芸品）	山水文 30 花卉大皿	七宝地区
1388	美術工芸品（工芸品）	布袋と月・菊花流水文飾り棚	七宝地区
1389	美術工芸品（工芸品）	茶金石古代文六角面取り大香炉	七宝地区
1390	美術工芸品（工芸品）	遊鯉図花瓶	七宝地区
1391	美術工芸品（工芸品）	白梅文赤透花瓶	七宝地区
1392	美術工芸品（工芸品）	七宝花瓶素地	七宝地区
1393	美術工芸品（工芸品）	印籠	七宝地区
1394	美術工芸品（工芸品）	流水花鳥図六角花瓶	七宝地区
1395	美術工芸品（工芸品）	梅花鶯図花瓶	七宝地区
1396	美術工芸品（工芸品）	七宝取手付下駄箱	七宝地区
1397	美術工芸品（工芸品）	七宝喫煙具	七宝地区
1398	美術工芸品（工芸品）	孔雀に牡丹文大皿	七宝地区

NO	類 型	名 称	地 区
1399	美術工芸品（工芸品）	灰皿	七宝地区
1400	美術工芸品（工芸品）	高脚灰皿	七宝地区
1401	美術工芸品（工芸品）	花生	七宝地区
1402	美術工芸品（工芸品）	香合	七宝地区
1403	美術工芸品（工芸品）	竹に雀文花瓶	七宝地区
1404	美術工芸品（工芸品）	藤文花瓶	七宝地区
1405	美術工芸品（工芸品）	六角小壺	七宝地区
1406	美術工芸品（工芸品）	鳳凰文箱	七宝地区
1407	美術工芸品（工芸品）	茶金石菊文花瓶	七宝地区
1408	美術工芸品（工芸品）	黄地花文花瓶	七宝地区
1409	美術工芸品（工芸品）	ひととき	七宝地区
1410	美術工芸品（工芸品）	赤透花瓶	七宝地区
1411	美術工芸品（工芸品）	青地燕文花瓶	七宝地区
1412	美術工芸品（工芸品）	銀彩王朝文花瓶	七宝地区
1413	美術工芸品（工芸品）	紺地花鳥文花瓶	七宝地区
1414	美術工芸品（工芸品）	緑光釉四季花鳥文木瓜形花瓶	七宝地区
1415	美術工芸品（工芸品）	鳳龍文花瓶	七宝地区
1416	美術工芸品（工芸品）	牡丹唐草紋香炉	七宝地区
1417	美術工芸品（工芸品）	花文カフス・タイピン・ペンダント	七宝地区
1418	美術工芸品（工芸品）	銀胎薔薇文首飾り	七宝地区
1419	美術工芸品（工芸品）	雲文菊花型引き手	七宝地区
1420	美術工芸品（工芸品）	蝶菊文引き手	七宝地区
1421	美術工芸品（工芸品）	紫地唐草文菓子器	七宝地区
1422	美術工芸品（工芸品）	紺地花鳥図木瓜型花瓶	七宝地区
1423	美術工芸品（工芸品）	紺地草花図四角形花瓶	七宝地区
1424	美術工芸品（工芸品）	水色地白鷺図花瓶	七宝地区
1425	美術工芸品（工芸品）	紺地龍図鶴首花瓶	七宝地区
1426	美術工芸品（工芸品）	紺地雀に桜図花瓶	七宝地区
1427	美術工芸品（工芸品）	紺地葡萄図花瓶 太田春治郎	七宝地区
1428	美術工芸品（工芸品）	水色地龍鳳凰文六角花瓶	七宝地区
1429	美術工芸品（工芸品）	紺地花鳥図六角型花瓶	七宝地区
1430	美術工芸品（工芸品）	赤透龍竹文花瓶	七宝地区
1431	美術工芸品（工芸品）	紺地藤に燕図花瓶	七宝地区
1432	美術工芸品（工芸品）	紺地藤文釦	七宝地区
1433	美術工芸品（工芸品）	花文象嵌七宝簪	七宝地区
1434	美術工芸品（工芸品）	緑透百合文銀張花瓶	七宝地区
1435	美術工芸品（工芸品）	水色地草花文磁胎合子	七宝地区

NO	類 型	名 称	地 区
1436	美術工芸品（工芸品）	草花文磁胎七宝鶴首花瓶	七宝地区
1437	美術工芸品（工芸品）	茶緑地花鳥図角皿	七宝地区
1438	美術工芸品（工芸品）	茶金地紫陽花菊文角皿	七宝地区
1439	美術工芸品（工芸品）	桃色地旭日鳳凰文小箱	七宝地区
1440	美術工芸品（工芸品）	金箔地菖蒲図三角形花瓶	七宝地区
1441	美術工芸品（工芸品）	槌起桜柳文花瓶	七宝地区
1442	美術工芸品（工芸品）	槌起白梅文四角合子	七宝地区
1443	美術工芸品（工芸品）	花文壺	七宝地区
1444	美術工芸品（工芸品）	蝶文花瓶	七宝地区
1445	美術工芸品（工芸品）	孔雀文花瓶	七宝地区
1446	美術工芸品（工芸品）	七宝煙草入れ	七宝地区
1447	美術工芸品（工芸品）	花鳥文八角形大花瓶	七宝地区
1448	美術工芸品（工芸品）	四季花鳥山水図花瓶	七宝地区
1449	美術工芸品（工芸品）	花鳥文双花瓶	七宝地区
1450	美術工芸品（工芸品）	鷹に鶴図小壺	七宝地区
1451	美術工芸品（工芸品）	七宝擬宝珠	七宝地区
1452	美術工芸品（工芸品）	桜型白鷺文飾皿	七宝地区
1453	美術工芸品（工芸品）	富士松原文七宝花瓶	七宝地区
1454	美術工芸品（工芸品）	ランプ	七宝地区
1455	美術工芸品（工芸品）	羽子板	七宝地区
1456	美術工芸品（工芸品）	桜鳩皿	七宝地区
1457	美術工芸品（工芸品）	雫齒朶文七宝花瓶	七宝地区
1458	美術工芸品（工芸品）	砥草文七宝花瓶	七宝地区
1459	美術工芸品（工芸品）	花鳩図花瓶	七宝地区
1460	美術工芸品（工芸品）	水草文花瓶	七宝地区
1461	美術工芸品（工芸品）	静震	七宝地区
1462	美術工芸品（工芸品）	60 変型薄香駿馬	七宝地区
1463	美術工芸品（工芸品）	85 変型幽玄	七宝地区
1464	美術工芸品（工芸品）	8 号変型竹文	七宝地区
1465	美術工芸品（工芸品）	南瓜型花器	七宝地区
1466	美術工芸品（工芸品）	120 鶏文赤透花瓶	七宝地区
1467	美術工芸品（工芸品）	7.5 変型玉ぶどう花瓶	七宝地区
1468	美術工芸品（工芸品）	桜	七宝地区
1469	美術工芸品（工芸品）	4.5 間取総模様花瓶	七宝地区
1470	美術工芸品（工芸品）	100 変型獅子文花瓶	七宝地区
1471	美術工芸品（工芸品）	60 変鶉薄地花瓶	七宝地区
1472	美術工芸品（工芸品）	黒地金箔地カフスセット	七宝地区

NO	類 型	名 称	地 区
1473	美術工芸品（工芸品）	ぶどう柄カフスセット	七宝地区
1474	美術工芸品（工芸品）	波形文カフスセット	七宝地区
1475	美術工芸品（工芸品）	天道中カフスセット	七宝地区
1476	美術工芸品（工芸品）	鳳柄ブローチ	七宝地区
1477	美術工芸品（工芸品）	ヒスイブローチ	七宝地区
1478	美術工芸品（工芸品）	カトリア型ブローチ	七宝地区
1479	美術工芸品（工芸品）	花柄ブローチ	七宝地区
1480	美術工芸品（工芸品）	黄地リンゴ形ペンダント	七宝地区
1481	美術工芸品（工芸品）	黒釉ペンダント	七宝地区
1482	美術工芸品（工芸品）	銅色地アクセサリー	七宝地区
1483	美術工芸品（工芸品）	菊文大花瓶	七宝地区
1484	美術工芸品（工芸品）	桜文花瓶	七宝地区
1485	美術工芸品（工芸品）	鳥文花瓶	七宝地区
1486	美術工芸品（工芸品）	竹図花瓶	七宝地区
1487	美術工芸品（工芸品）	青地花瓶	七宝地区
1488	美術工芸品（工芸品）	黒地花瓶	七宝地区
1489	美術工芸品（工芸品）	晩夏	七宝地区
1490	美術工芸品（工芸品）	花文皿	七宝地区
1491	美術工芸品（工芸品）	鶴図（蓋）	七宝地区
1492	美術工芸品（工芸品）	流釉花瓶	七宝地区
1493	美術工芸品（工芸品）	映	七宝地区
1494	美術工芸品（工芸品）	宝石箱（半製品）	七宝地区
1495	美術工芸品（工芸品）	七宝額一式（モリゾー・キッコロ）	七宝地区
1496	美術工芸品（工芸品）	赤透煙草入れ	七宝地区
1497	美術工芸品（工芸品）	赤透花瓶	七宝地区
1498	美術工芸品（工芸品）	100 淡墨桜花瓶	七宝地区
1499	美術工芸品（工芸品）	三足菊文香炉	七宝地区
1500	美術工芸品（工芸品）	6号平型紺ボカシ暮影花瓶	七宝地区
1501	美術工芸品（工芸品）	80 玉柘榴花瓶	七宝地区
1502	美術工芸品（工芸品）	9寸変型鳥瓜文花瓶	七宝地区
1503	美術工芸品（工芸品）	8寸変型 映	七宝地区
1504	美術工芸品（工芸品）	9寸砥草文花瓶	七宝地区
1505	美術工芸品（工芸品）	40 玉変型 蝶	七宝地区
1506	美術工芸品（工芸品）	80 玉型紫陽花文花瓶	七宝地区
1507	美術工芸品（工芸品）	90 変型 陽光	七宝地区
1508	美術工芸品（工芸品）	秋色文様七宝花瓶	七宝地区
1509	美術工芸品（工芸品）	40 玉型龍文花瓶	七宝地区

NO	類 型	名 称	地 区
1510	美術工芸品（工芸品）	90 変型 仔犬図	七宝地区
1511	美術工芸品（工芸品）	90 変型 紺青	七宝地区
1512	美術工芸品（工芸品）	桜	七宝地区
1513	美術工芸品（工芸品）	赤透	七宝地区
1514	美術工芸品（工芸品）	ヒスイ花瓶(自動車)	七宝地区
1515	美術工芸品（工芸品）	黄地四君子花瓶	七宝地区
1516	美術工芸品（工芸品）	カップ	七宝地区
1517	美術工芸品（工芸品）	緑地四君子花瓶	七宝地区
1518	美術工芸品（工芸品）	緑地古代文花瓶	七宝地区
1519	美術工芸品（工芸品）	黄地四君子花瓶	七宝地区
1520	美術工芸品（工芸品）	筍図一輪挿し	七宝地区
1521	美術工芸品（工芸品）	ざくろ文花瓶	七宝地区
1522	美術工芸品（工芸品）	ひすい花文花瓶	七宝地区
1523	美術工芸品（工芸品）	緑地松文花瓶	七宝地区
1524	美術工芸品（工芸品）	古代文花瓶	七宝地区
1525	美術工芸品（工芸品）	緑地花文花瓶	七宝地区
1526	美術工芸品（工芸品）	茶金石古代文花瓶	七宝地区
1527	美術工芸品（工芸品）	黄灰玉釉松文様花瓶	七宝地区
1528	美術工芸品（工芸品）	盃	七宝地区
1529	美術工芸品（工芸品）	花器	七宝地区
1530	美術工芸品（工芸品）	香炉	七宝地区
1531	美術工芸品（工芸品）	婦人像	七宝地区
1532	美術工芸品（工芸品）	泥七宝	七宝地区
1533	美術工芸品（工芸品）	不透明釉七宝	七宝地区
1534	美術工芸品（工芸品）	透明釉七宝(赤透)	七宝地区
1535	美術工芸品（工芸品）	無線七宝	七宝地区
1536	美術工芸品（工芸品）	盛上七宝	七宝地区
1537	美術工芸品（工芸品）	銀張七宝	七宝地区
1538	美術工芸品（工芸品）	省胎七宝	七宝地区
1539	美術工芸品（工芸品）	陶磁胎七宝	七宝地区
1540	美術工芸品（工芸品）	銀胎七宝	七宝地区
1541	美術工芸品（工芸品）	花鳩図花瓶	七宝地区
1542	美術工芸品（工芸品）	群鶴飛翔図七宝大皿	七宝地区
1543	美術工芸品（工芸品）	桜花群鶏旭日図大香炉	七宝地区
1544	美術工芸品（工芸品）	香炷 林庄五郎	七宝地区
1545	美術工芸品（工芸品）	婦人像 塚本貝助	七宝地区
1546	美術工芸品（工芸品）	旭日群鶏図大香炉 林喜兵衛	七宝地区

NO	類 型	名 称	地 区
1547	美術工芸品（工芸品）	林庄五郎試作 香炷	七宝地区
1548	美術工芸品（工芸品）	花器 林庄五郎	七宝地区
1549	美術工芸品（工芸品）	群鶴飛翔図七宝大皿 林小傳治作	七宝地区
1550	美術工芸品（工芸品）	三十六歌仙壁飾 林小傳治作	七宝地区
1551	美術工芸品（工芸品）	菊文小壺	七宝地区
1552	美術工芸品（工芸品）	婦人像 塚本貝助作	七宝地区
1553	美術工芸品（工芸品）	旭日群鸚図大香炉	七宝地区
1554	美術工芸品（工芸品）	磁胎七宝花文鉢	七宝地区
1555	美術工芸品（工芸品）	磁胎七宝仕掛品	七宝地区
1556	美術工芸品（工芸品）	牡丹・双鳥文大皿	七宝地区
1557	美術工芸品（工芸品）	花鳥文花瓶	七宝地区
1558	美術工芸品（工芸品）	鏡	七宝地区
1559	美術工芸品（工芸品）	鏡	七宝地区
1560	美術工芸品（工芸品）	形見の懷中時計	美和地区
1561	美術工芸品（工芸品）	黄金舍利塔陣太鼓	美和地区
1562	美術工芸品（工芸品）	各瀬古の子供獅子頭	美和地区
1563	美術工芸品（工芸品）	陶製狛犬	美和地区
1564	美術工芸品（工芸品）	金剛五鈷鈴	美和地区
1565	美術工芸品（工芸品）	松虫の鈴	美和地区
1566	美術工芸品（工芸品）	菩提樹の念珠	美和地区
1567	美術工芸品（工芸品）	水晶の念珠	美和地区
1568	美術工芸品（工芸品）	五鈷杵	美和地区
1569	美術工芸品（工芸品）	三鈷杵	美和地区
1570	美術工芸品（工芸品）	泥塔	美和地区
1571	美術工芸品（工芸品）	如意	美和地区
1572	美術工芸品（工芸品）	黒楽抹茶茶碗	美和地区
1573	美術工芸品（工芸品）	鉾	甚目寺地区
1574	美術工芸品（工芸品）	剣	甚目寺地区
1575	美術工芸品（工芸品）	曲玉	甚目寺地区
1576	美術工芸品（工芸品）	弓	甚目寺地区
1577	美術工芸品（工芸品）	矢	甚目寺地区
1578	美術工芸品（工芸品）	刀	甚目寺地区
1579	美術工芸品（工芸品）	鏡	甚目寺地区
1580	美術工芸品（工芸品）	刀	甚目寺地区
1581	美術工芸品（工芸品）	銅鏡	甚目寺地区
1582	美術工芸品（工芸品）	神鏡	甚目寺地区
1583	美術工芸品（工芸品）	古鏡	甚目寺地区

NO	類 型	名 称	地 区
1584	美術工芸品（工芸品）	短刀	甚目寺地区
1585	美術工芸品（工芸品）	古鏡	甚目寺地区
1586	美術工芸品（工芸品）	鰐口	甚目寺地区
1587	美術工芸品（工芸品）	梵鐘	甚目寺地区
1588	美術工芸品（工芸品）	梵鐘	甚目寺地区
1589	美術工芸品（工芸品）	梵鐘	甚目寺地区
1590	美術工芸品（工芸品）	鰐口	甚目寺地区
1591	美術工芸品（工芸品）	坐磬	甚目寺地区
1592	美術工芸品（工芸品）	錦袈裟	甚目寺地区
1593	美術工芸品（工芸品）	水晶数珠	甚目寺地区
1594	美術工芸品（工芸品）	鰐口	甚目寺地区
1595	美術工芸品（工芸品）	桐箱	甚目寺地区
1596	美術工芸品（工芸品）	念珠一連	甚目寺地区
1597	美術工芸品（工芸品）	舍利塔	甚目寺地区
1598	美術工芸品（工芸品）	三夕色紙	甚目寺地区
1599	美術工芸品（工芸品）	真清田神社梵鐘	甚目寺地区
1600	美術工芸品（工芸品）	建水	甚目寺地区
1601	美術工芸品（工芸品）	雲版	甚目寺地区
1602	美術工芸品（工芸品）	鰐口	甚目寺地区
1603	美術工芸品（工芸品）	磬子	甚目寺地区
1604	美術工芸品（工芸品）	喚鐘	甚目寺地区
1605	美術工芸品（工芸品）	梵鐘	甚目寺地区
1606	美術工芸品（工芸品）	古面	甚目寺地区
1607	美術工芸品（工芸品）	雲版	甚目寺地区
1608	美術工芸品（工芸品）	喚鐘	甚目寺地区
1609	美術工芸品（工芸品）	喚鐘	甚目寺地区
1610	美術工芸品（工芸品）	伝天竜寺焼青磁花瓶	甚目寺地区
1611	美術工芸品（工芸品）	鰐口	甚目寺地区
1612	美術工芸品（工芸品）	古鈴	甚目寺地区
1613	美術工芸品（工芸品）	喚鐘	甚目寺地区
1614	美術工芸品（工芸品）	仏餉器	甚目寺地区
1615	美術工芸品（工芸品）	鉦	甚目寺地区
1616	美術工芸品（工芸品）	梵鐘	甚目寺地区
1617	美術工芸品（工芸品）	梵鐘	甚目寺地区
1618	美術工芸品（工芸品）	梵鐘	甚目寺地区
1619	美術工芸品（工芸品）	喚鐘	甚目寺地区
1620	美術工芸品（工芸品）	喚鐘	甚目寺地区

NO	類 型	名 称	地 区
1621	美術工芸品（工芸品）	喚鐘	甚目寺地区
1622	美術工芸品（工芸品）	喚鐘	甚目寺地区
1623	美術工芸品（工芸品）	鰐口	甚目寺地区
1624	美術工芸品（工芸品）	鰐口	甚目寺地区
1625	美術工芸品（工芸品）	金剛板銘	甚目寺地区
1626	美術工芸品（書跡・典籍）	六字名号	七宝地区
1627	美術工芸品（書跡・典籍）	顯如上人御真筆四句壺連之御脇掛	七宝地区
1628	美術工芸品（書跡・典籍）	六字名号	七宝地区
1629	美術工芸品（書跡・典籍）	六字名号	七宝地区
1630	美術工芸品（書跡・典籍）	三部經	七宝地区
1631	美術工芸品（書跡・典籍）	花園金剛般若波羅密經	七宝地区
1632	美術工芸品（書跡・典籍）	六字名号	七宝地区
1633	美術工芸品（書跡・典籍）	十字名号	七宝地区
1634	美術工芸品（書跡・典籍）	六字名号	七宝地区
1635	美術工芸品（書跡・典籍）	六字名号	七宝地区
1636	美術工芸品（書跡・典籍）	とほ山は(大館高門の和歌)	美和地区
1637	美術工芸品（書跡・典籍）	あしたかの(大館高門の自画賛)	美和地区
1638	美術工芸品（書跡・典籍）	あらそひし(大館高門の和歌)	美和地区
1639	美術工芸品（書跡・典籍）	ふゆかれて(大館高門の和歌)	美和地区
1640	美術工芸品（書跡・典籍）	堀田庄三(芦水)自筆「誠実」	美和地区
1641	美術工芸品（書跡・典籍）	蜂須賀尋常小学校額	美和地区
1642	美術工芸品（書跡・典籍）	六字名号	美和地区
1643	美術工芸品（書跡・典籍）	般若心經	美和地区
1644	美術工芸品（書跡・典籍）	紺紙金泥の經切	美和地区
1645	美術工芸品（書跡・典籍）	舍利講式	美和地区
1646	美術工芸品（書跡・典籍）	五部秘經	美和地区
1647	美術工芸品（書跡・典籍）	秘鈔	美和地区
1648	美術工芸品（書跡・典籍）	篇額	甚目寺地区
1649	美術工芸品（書跡・典籍）	豊国大明神御神号一幅(法性寺)	甚目寺地区
1650	美術工芸品（書跡・典籍）	赤林孫七郎書像一幅(法性寺)	甚目寺地区

NO	類 型	名 称	地 区
1651	美術工芸品（書跡・典籍）	明恵上人自筆の舍利講式残編一冊	甚目寺地区
1652	美術工芸品（書跡・典籍）	法華經	甚目寺地区
1653	美術工芸品（書跡・典籍）	国訳一切經	甚目寺地区
1654	美術工芸品（書跡・典籍）	紺紙金泥法華經一部八卷	甚目寺地区
1655	美術工芸品（書跡・典籍）	祖書目次一卷	甚目寺地区
1656	美術工芸品（書跡・典籍）	祖書考正義一卷	甚目寺地区
1657	美術工芸品（書跡・典籍）	三沢妙正義一卷	甚目寺地区
1658	美術工芸品（書跡・典籍）	我宗啓運諸書集一卷	甚目寺地区
1659	美術工芸品（書跡・典籍）	新撰改正祖書四十六卷	甚目寺地区
1660	美術工芸品（書跡・典籍）	録内外版本四十四卷	甚目寺地区
1661	美術工芸品（書跡・典籍）	本満寺日重写本一卷	甚目寺地区
1662	美術工芸品（書跡・典籍）	古半古書目録二卷	甚目寺地区
1663	美術工芸品（書跡・典籍）	新撰改正祖書調目次一卷	甚目寺地区
1664	美術工芸品（書跡・典籍）	六歌仙	甚目寺地区
1665	美術工芸品（書跡・典籍）	九字名号	甚目寺地区
1666	美術工芸品（書跡・典籍）	九字名号	甚目寺地区
1667	美術工芸品（書跡・典籍）	九字名号	甚目寺地区
1668	美術工芸品（書跡・典籍）	六字名号	甚目寺地区
1669	美術工芸品（古文書）	海東郡須成村草薙鈔	七宝地区
1670	美術工芸品（古文書）	七宝焼引合帳・物品受込及精算簿・物品送込及精算簿	七宝地区
1671	美術工芸品（古文書）	遠安工業補習学校卒業證書	七宝地区
1672	美術工芸品（古文書）	遠安工業補習学校證明書	七宝地区
1673	美術工芸品（古文書）	博覧会関係資料 1 （海東郡遠島村出品記録）	七宝地区
1674	美術工芸品（古文書）	博覧会関係資料 2-1 出品願	七宝地区
1675	美術工芸品（古文書）	博覧会関係資料 3 第三回内国勸業博覧会出品願	七宝地区
1676	美術工芸品（古文書）	博覧会関係資料 4 証明書下付願	七宝地区
1677	美術工芸品（古文書）	遠安工業補習学校日誌	七宝地区
1678	美術工芸品（古文書）	遠安工業補習学校 28 年度経費予算認可	七宝地区
1679	美術工芸品（古文書）	遠安工業補習学校明治 33 年度収入支出予算表	七宝地区
1680	美術工芸品（古文書）	開申書	七宝地区
1681	美術工芸品（古文書）	遠安工業補習学校規則	七宝地区

NO	類 型	名 称	地 区
1682	美術工芸品（古文書）	元調法簿・陶器岩薬法・七宝製薬日記帳・七宝製帳 ■・七宝製薬調合控簿	七宝地区
1683	美術工芸品（古文書）	元調法簿	七宝地区
1684	美術工芸品（古文書）	七宝焼ノ由来	七宝地区
1685	美術工芸品（古文書）	瑠璃器秘訣図	七宝地区
1686	美術工芸品（古文書）	七宝焼き材料覚書	七宝地区
1687	美術工芸品（古文書）	パリ万博報告上. 下	七宝地区
1688	美術工芸品（古文書）	訳文 菊文小壺の訳	七宝地区
1689	美術工芸品（古文書）	履歴書	七宝地区
1690	美術工芸品（古文書）	林小傳治翁善行碑文	七宝地区
1691	美術工芸品（古文書）	遠安工業補習学校設置に関する申請書	七宝地区
1692	美術工芸品（古文書）	遠安工業補習学校設置に関する許可書	七宝地区
1693	美術工芸品（古文書）	遠安工業補習学校書類一式	七宝地区
1694	美術工芸品（古文書）	海東郡篠田村役場書類	七宝地区
1695	美術工芸品（古文書）	瑠璃器秘訣図	七宝地区
1696	美術工芸品（古文書）	梶常吉略沿革	七宝地区
1697	美術工芸品（古文書）	梶常吉伝	七宝地区
1698	美術工芸品（古文書）	尾張七宝焼ノ沿革	七宝地区
1699	美術工芸品（古文書）	皇国七宝焼創始者梶常吉之略伝	七宝地区
1700	美術工芸品（古文書）	梶常吉履歴書草稿	七宝地区
1701	美術工芸品（古文書）	梶常吉留帳	七宝地区
1702	美術工芸品（古文書）	第五回内国勸業博覧会出品者証	七宝地区
1703	美術工芸品（古文書）	村合併関係資料	七宝地区
1704	美術工芸品（古文書）	七宝職人出勤簿	七宝地区
1705	美術工芸品（古文書）	設立の主旨〈申請書より〉	七宝地区
1706	美術工芸品（古文書）	遠安工業補習学校規則	七宝地区
1707	美術工芸品（古文書）	履歴書①～⑨	七宝地区
1708	美術工芸品（古文書）	七宝前史	七宝地区
1709	美術工芸品（古文書）	委嘱状	七宝地区
1710	美術工芸品（古文書）	打ち合わせ会記録	七宝地区
1711	美術工芸品（古文書）	林貞七宝の保管資料群	七宝地区
1712	美術工芸品（古文書）	愛知県七宝焼工業協同組合定款	七宝地区
1713	美術工芸品（古文書）	日本七宝協同組合定款案	七宝地区
1714	美術工芸品（古文書）	七宝新作品展示会開催要項	七宝地区
1715	美術工芸品（古文書）	同業各位に訴ふ	七宝地区
1716	美術工芸品（古文書）	愛工指ニュース	七宝地区
1717	美術工芸品（古文書）	一札	七宝地区
1718	美術工芸品（古文書）	遠安工業補習学校日誌	七宝地区

NO	類 型	名 称	地 区
1719	美術工芸品（古文書）	愛知県海東郡遠安工業補習学校明治三十三年度収入支出予算表	七宝地区
1720	美術工芸品（古文書）	愛知七宝商工同業組合人名	七宝地区
1721	美術工芸品（古文書）	履歴書・林小傳治ハ塚本貝助ニ対シ本業ニ就テ年代ノ前後及ビ効績ノ優劣	七宝地区
1722	美術工芸品（古文書）	七宝新作展示会出品目録	七宝地区
1723	美術工芸品（古文書）	戸田みね氏の手記	七宝地区
1724	美術工芸品（古文書）	海外開拓者	七宝地区
1725	美術工芸品（古文書）	覚書	七宝地区
1726	美術工芸品（古文書）	立像阿弥陀如来御裏	七宝地区
1727	美術工芸品（古文書）	佐藤正満氏所蔵古文書	七宝地区
1728	美術工芸品（古文書）	古文書	美和地区
1729	美術工芸品（古文書）	蜂須賀村由来記	美和地区
1730	美術工芸品（古文書）	蜂須賀家由緒書	美和地区
1731	美術工芸品（古文書）	血脈書	美和地区
1732	美術工芸品（古文書）	為後念印置候(苗字帯刀宗門自分一札免許)	美和地区
1733	美術工芸品（古文書）	一札之事（文化元年子(1804)九月付の財産譲渡の一札）	美和地区
1734	美術工芸品（古文書）	千宗左礼状	美和地区
1735	美術工芸品（古文書）	林正一宛 堀田庄三 書簡	美和地区
1736	美術工芸品（古文書）	堀田庄三から林正一へ宛た手紙	美和地区
1737	美術工芸品（古文書）	陸軍高等軍法会議上告審判決書	美和地区
1738	美術工芸品（古文書）	源氏蜂須賀略系図	美和地区
1739	美術工芸品（古文書）	蜂須賀家政書状	美和地区
1740	美術工芸品（古文書）	福島正則公仰書之写	美和地区
1741	美術工芸品（古文書）	切死丹宗門記	美和地区
1742	美術工芸品（古文書）	縁起一卷	美和地区
1743	美術工芸品（古文書）	寺領証状二通	美和地区
1744	美術工芸品（古文書）	伊奈備前守検地証状一通	美和地区
1745	美術工芸品（古文書）	五味所佐衛門証状一通	美和地区
1746	美術工芸品（古文書）	感謝状(榊 38 本の献木)	美和地区
1747	美術工芸品（古文書）	漬物協会長の表彰状	美和地区
1748	美術工芸品（古文書）	美和村の土地台帳	美和地区
1749	美術工芸品（古文書）	戦死者記念碑建設費募集	美和地区
1750	美術工芸品（古文書）	慶安御触書	美和地区
1751	美術工芸品（古文書）	御触状写之覚帳	美和地区
1752	美術工芸品（古文書）	免定	美和地区
1753	美術工芸品（古文書）	免定	美和地区
1754	美術工芸品（古文書）	法華寺年貢差上書(御勘定差上申[])	美和地区

NO	類 型	名 称	地 区
1755	美術工芸品（古文書）	覚（納米麦の覚）	美和地区
1756	美術工芸品（古文書）	質流譲り渡申高田地之事（年貢、役銀を納めるための借用証文）	美和地区
1757	美術工芸品（古文書）	綿布御役銀差上覚帳	美和地区
1758	美術工芸品（古文書）	覚（通船御改め願い）	美和地区
1759	美術工芸品（古文書）	為取替申証文之事（道切り広め御頼りに付き）	美和地区
1760	美術工芸品（古文書）	御用御触書（大江川通船計画のこと）	美和地区
1761	美術工芸品（古文書）	恐乍う御届奉申上候御事（大江川通船計画のこと）	美和地区
1762	美術工芸品（古文書）	亥之年福田井筋検地之覚（正保四年二ツ寺井筋拡幅時検地）	美和地区
1763	美術工芸品（古文書）	二ツ寺井筋内杵下ヨリ西条立切迄間尺改指上帳（福田川の川幅、堤敷調査帳）	美和地区
1764	美術工芸品（古文書）	指出申書付之事（二ツ寺井筋定凌書付）	美和地区
1765	美術工芸品（古文書）	約定書	美和地区
1766	美術工芸品（古文書）	歎願書	美和地区
1767	美術工芸品（古文書）	乍恐奉願上候御事	美和地区
1768	美術工芸品（古文書）	為取換約定証券	美和地区
1769	美術工芸品（古文書）	添約定証	美和地区
1770	美術工芸品（古文書）	篠田村境堤修覆見分帳	美和地区
1771	美術工芸品（古文書）	指上申済口証文之事	美和地区
1772	美術工芸品（古文書）	議決書（地租改正議決書）	美和地区
1773	美術工芸品（古文書）	田畑宅前等反別收穫地佃明細書（地租改正の為の田畑宅地明細書 下書）	美和地区
1774	美術工芸品（古文書）	海東郡乙之子村六段帳下書（地租改正関係下書）	美和地区
1775	美術工芸品（古文書）	地租改正決算額の書付	美和地区
1776	美術工芸品（古文書）	海部郡美和村農会々則	美和地区
1777	美術工芸品（古文書）	有限責任甚目寺信用購買販売生産組合便覧（大正の産業組合に関する書類）	美和地区
1778	美術工芸品（古文書）	甚目寺町組合雑報	美和地区
1779	美術工芸品（古文書）	花正村物産取調書	美和地区
1780	美術工芸品（古文書）	土地改良に関する書類（土地改良ニ関スル決議録ほか）	美和地区
1781	美術工芸品（古文書）	寺子屋で使用された村付	美和地区
1782	美術工芸品（古文書）	趣意書（宮治周平追善趣意書）	美和地区
1783	美術工芸品（古文書）	請合申証文之事（乙之子村若衆宛証文：太鼓購入につき）	美和地区
1784	美術工芸品（古文書）	奉願御事（社殿の修復願い）	美和地区
1785	美術工芸品（古文書）	修復願書（社殿の修復願い）	美和地区
1786	美術工芸品（古文書）	寺社奉行所宛書状	美和地区
1787	美術工芸品（古文書）	古文書	美和地区
1788	美術工芸品（古文書）	古文書	美和地区
1789	美術工芸品（古文書）	足利将軍 9 代常徳院（足利義尚）真筆の書幅一軸	美和地区

NO	類 型	名 称	地 区
1790	美術工芸品（古文書）	由緒書	美和地区
1791	美術工芸品（古文書）	大館高門・本居宣長の書幅	美和地区
1792	美術工芸品（古文書）	縁起文	美和地区
1793	美術工芸品（古文書）	寺領の安堵状	美和地区
1794	美術工芸品（古文書）	本尊縁起文	美和地区
1795	美術工芸品（古文書）	伊奈備前守寺領検地帳一冊	甚目寺地区
1796	美術工芸品（古文書）	正保二年寺領検地帳一冊	甚目寺地区
1797	美術工芸品（古文書）	縁起一卷(法性寺)	甚目寺地区
1798	美術工芸品（古文書）	縁起一卷(妙勝寺)	甚目寺地区
1799	美術工芸品（古文書）	性高院君(松平直吉) 御書	甚目寺地区
1800	美術工芸品（古文書）	上古大伽欄藍の旧記二通	甚目寺地区
1801	美術工芸品（古文書）	縁起一卷	甚目寺地区
1802	美術工芸品（古文書）	縁起一卷	甚目寺地区
1803	美術工芸品（古文書）	文和 3 年(1354) 治卿法橋宛、法眼憲晴書状	甚目寺地区
1804	美術工芸品（古文書）	天正 11 年(1583)9 月 12 日付、織田信雄寄進状	甚目寺地区
1805	美術工芸品（古文書）	文禄 4 年(1595)8 月 3 日付、豊臣秀吉寄進状	甚目寺地区
1806	美術工芸品（古文書）	年不詳 7 月 26 日付、福島正則書状	甚目寺地区
1807	美術工芸品（古文書）	天正 18 年(1590)9 月 3 日付、田中兵部大輔書状	甚目寺地区
1808	美術工芸品（古文書）	年不詳 9 月 5 日付、松平薩摩守(松平忠吉) 禁制	甚目寺地区
1809	美術工芸品（古文書）	文和 6 年(1620)9 月朔日付、徳川義利(義直) 寄進状	甚目寺地区
1810	美術工芸品（古文書）	慶安 2 年(1649)4 月 15 日付、徳川義直禁制	甚目寺地区
1811	美術工芸品（古文書）	天正 11 年(1583)7 月 10 日付、曾我兵庫・矢部甚兵衛・松庵書状	甚目寺地区
1812	美術工芸品（古文書）	天正 11 年(1583)11 月 3 日付、根村嘉蔵・伊藤新六書状	甚目寺地区
1813	美術工芸品（古文書）	慶長 18 年(1613)2 月 7 日付、伊奈備前守書状	甚目寺地区
1814	美術工芸品（古文書）	年不詳 12 月 20 日付、駒井八右衛門書状	甚目寺地区
1815	美術工芸品（古文書）	福島正則書状	甚目寺地区
1816	美術工芸品（古文書）	長福寺文書	甚目寺地区
1817	美術工芸品（古文書）	甚目寺古誌記一卷	甚目寺地区
1818	美術工芸品（古文書）	過去帳	甚目寺地区
1819	美術工芸品（古文書）	過去帳	甚目寺地区
1820	美術工芸品（古文書）	織田大和守敏定寄進状	甚目寺地区
1821	美術工芸品（古文書）	寛村寄進状	甚目寺地区
1822	美術工芸品（古文書）	松平忠吉書状	甚目寺地区
1823	美術工芸品（古文書）	原田右衛門書状	甚目寺地区
1824	美術工芸品（古文書）	福島正則書状	甚目寺地区
1825	美術工芸品（古文書）	豊臣秀吉堀尾茂助宛書状	甚目寺地区

NO	類 型	名 称	地 区
1826	美術工芸品（古文書）	豊臣秀吉禁制	甚目寺地区
1827	美術工芸品（古文書）	前田玄以書状	甚目寺地区
1828	美術工芸品（古文書）	本国寺日恒書翰	甚目寺地区
1829	美術工芸品（古文書）	本国寺日恒書翰	甚目寺地区
1830	美術工芸品（古文書）	坂東諸寺院定	甚目寺地区
1831	美術工芸品（古文書）	長正山来由歴代記	甚目寺地区
1832	美術工芸品（古文書）	当寺御礼座配之此	甚目寺地区
1833	美術工芸品（古文書）	納経由来書	甚目寺地区
1834	美術工芸品（古文書）	小川泰堂筆遺文録原稿並二書状	甚目寺地区
1835	美術工芸品（古文書）	福島正則書翰	甚目寺地区
1836	美術工芸品（古文書）	松平忠吉寄進状	甚目寺地区
1837	美術工芸品（古文書）	日蓮書翰	甚目寺地区
1838	美術工芸品（古文書）	実如消息	甚目寺地区
1839	美術工芸品（古文書）	西光寺什物帳	甚目寺地区
1840	美術工芸品（古文書）	慶長縁起	甚目寺地区
1841	美術工芸品（古文書）	藪香物伝記写	甚目寺地区
1842	美術工芸品（考古資料）	弥生中期壺形土器	美和地区
1843	美術工芸品（考古資料）	篠田廃寺跡（如来遺跡）出土品	美和地区
1844	美術工芸品（考古資料）	揚山遺跡出土品	美和地区
1845	美術工芸品（考古資料）	五反地遺跡出土品	美和地区
1846	美術工芸品（考古資料）	東高須賀遺跡出土品	美和地区
1847	美術工芸品（考古資料）	鬼田 A 遺跡出土品	美和地区
1848	美術工芸品（考古資料）	上長遺跡出土品	美和地区
1849	美術工芸品（考古資料）	鬼田 B 遺跡出土品	美和地区
1850	美術工芸品（考古資料）	屋敷遺跡出土品	美和地区
1851	美術工芸品（考古資料）	古道遺跡出土品	美和地区
1852	美術工芸品（考古資料）	薬師寺遺跡出土品	美和地区
1853	美術工芸品（考古資料）	伊豆明遺跡出土品	美和地区
1854	美術工芸品（考古資料）	西屋敷遺跡出土品	美和地区
1855	美術工芸品（考古資料）	寄附遺跡出土品	美和地区
1856	美術工芸品（考古資料）	うしや遺跡出土品	美和地区
1857	美術工芸品（考古資料）	山之神遺跡出土品	美和地区
1858	美術工芸品（考古資料）	元柳遺跡出土品	美和地区
1859	美術工芸品（考古資料）	大寺遺跡出土品	美和地区
1860	美術工芸品（考古資料）	下郷合遺跡出土品	美和地区
1861	美術工芸品（考古資料）	三本松遺跡出土品	美和地区
1862	美術工芸品（考古資料）	水筒先遺跡出土品	美和地区

NO	類 型	名 称	地 区
1863	美術工芸品(考古資料)	中橋遺跡出土品	美和地区
1864	美術工芸品(考古資料)	道上遺跡出土品	美和地区
1865	美術工芸品(考古資料)	阿弥陀堂遺跡出土品	美和地区
1866	美術工芸品(考古資料)	高代遺跡出土品	美和地区
1867	美術工芸品(考古資料)	廻間遺跡出土品	美和地区
1868	美術工芸品(考古資料)	杉ノ木遺跡出土品	美和地区
1869	美術工芸品(考古資料)	内花之木出土品	美和地区
1870	美術工芸品(考古資料)	札掛遺跡出土品	美和地区
1871	美術工芸品(考古資料)	正則小学校鬼瓦	美和地区
1872	美術工芸品(考古資料)	森南遺跡の灰釉系陶器碗	甚目寺地区
1873	美術工芸品(考古資料)	鍍瓦	甚目寺地区
1874	美術工芸品(考古資料)	古瓦十四個	甚目寺地区
1875	美術工芸品(歴史資料)	下之森八幡社の棟札	七宝地区
1876	美術工芸品(歴史資料)	緑綬褒賞	七宝地区
1877	美術工芸品(歴史資料)	パリ万博(1889)賞状(銅賞)	七宝地区
1878	美術工芸品(歴史資料)	パリ万博(1889)褒状	七宝地区
1879	美術工芸品(歴史資料)	パリ万博賞状(銅賞)	七宝地区
1880	美術工芸品(歴史資料)	ニュルンベルク金工博覧会(1885)林小傳治	七宝地区
1881	美術工芸品(歴史資料)	パリ万国博覧会(1889)林直右衛門	七宝地区
1882	美術工芸品(歴史資料)	パリ万国博覧会(1889)伊藤常三郎	七宝地区
1883	美術工芸品(歴史資料)	パリ万国博覧会(1889)糸野忠三郎	七宝地区
1884	美術工芸品(歴史資料)	パリ万国博覧会(1889)林小傳治	七宝地区
1885	美術工芸品(歴史資料)	シカゴ万国博覧会(1893)林小傳治	七宝地区
1886	美術工芸品(歴史資料)	パリ万国博覧会(1900)宝産社	七宝地区
1887	美術工芸品(歴史資料)	パリ万国博覧会(1900)林喜兵衛	七宝地区
1888	美術工芸品(歴史資料)	フィラデルフィア万国博覧会(1926)林喜兵衛	七宝地区
1889	美術工芸品(歴史資料)	フィラデルフィア万国博覧会(1926)林小傳治	七宝地区
1890	美術工芸品(歴史資料)	第三回内国勸業博覧会(1891)林小傳治	七宝地区
1891	美術工芸品(歴史資料)	第四回内国勸業博覧会(1895)林小傳治	七宝地区
1892	美術工芸品(歴史資料)	第五回内国勸業博覧会(1903)林小傳治	七宝地区
1893	美術工芸品(歴史資料)	博覧会関係資料 5 博覧会褒賞類写	七宝地区
1894	美術工芸品(歴史資料)	遠安工業補習学校賞状 2 点	七宝地区
1895	美術工芸品(歴史資料)	遠安工業補習学校敷地建物の図面	七宝地区
1896	美術工芸品(歴史資料)	塚本貝助肖像	七宝地区
1897	美術工芸品(歴史資料)	塚本定次肖像	七宝地区
1898	美術工芸品(歴史資料)	銀杯下賜証状	七宝地区
1899	美術工芸品(歴史資料)	賞状(林小傳治宛)	七宝地区

NO	類 型	名 称	地 区
1900	美術工芸品（歴史資料）	訳文	七宝地区
1901	美術工芸品（歴史資料）	賞状(糸野忠三郎宛)	七宝地区
1902	美術工芸品（歴史資料）	賞状(林喜兵宛)	七宝地区
1903	美術工芸品（歴史資料）	賞状(宝産宛)	七宝地区
1904	美術工芸品（歴史資料）	賞状(ニュルンベルグのもの)	七宝地区
1905	美術工芸品（歴史資料）	商札	七宝地区
1906	美術工芸品（歴史資料）	ニュルンベルク金工万国博覧会賞状 明治 18 年 (1885)	七宝地区
1907	美術工芸品（歴史資料）	パリ万国博覧会賞状 明治 22 年(1889)	七宝地区
1908	美術工芸品（歴史資料）	第三回内国勸業博覧会賞状 明治 23 年(1890)	七宝地区
1909	美術工芸品（歴史資料）	博覧会出品目録	七宝地区
1910	美術工芸品（歴史資料）	ニュルンベルク金工万国博覧会賞状 糸野忠三郎	七宝地区
1911	美術工芸品（歴史資料）	七宝商鑑札	七宝地区
1912	美術工芸品（歴史資料）	林小傳治受賞賞状・メダル	七宝地区
1913	美術工芸品（歴史資料）	林喜兵衛受賞賞状	七宝地区
1914	美術工芸品（歴史資料）	糸野忠三郎受賞賞状	七宝地区
1915	美術工芸品（歴史資料）	ニュルンベルク金工万国博覧会 賞状	七宝地区
1916	美術工芸品（歴史資料）	パリ万国博覧会 賞状	七宝地区
1917	美術工芸品（歴史資料）	フィラデルフィア万国博覧会 賞状	七宝地区
1918	美術工芸品（歴史資料）	シカゴ・コロンプス万国博覧会 賞状	七宝地区
1919	美術工芸品（歴史資料）	第三回競技会(日本金工協会) 賞状	七宝地区
1920	美術工芸品（歴史資料）	ハノイ博覧会 賞状	七宝地区
1921	美術工芸品（歴史資料）	第 39 回美術展覧会 賞状	七宝地区
1922	美術工芸品（歴史資料）	凱旋記念内国製産品博覧会 賞状	七宝地区
1923	美術工芸品（歴史資料）	セントルイス万国博覧会 賞状	七宝地区
1924	美術工芸品（歴史資料）	第三回内国勸業博覧会 賞状	七宝地区
1925	美術工芸品（歴史資料）	第四回内国勸業博覧会 賞状	七宝地区
1926	美術工芸品（歴史資料）	五二会全国品評会 賞状	七宝地区
1927	美術工芸品（歴史資料）	第 18 次奈良博覧会 賞状	七宝地区
1928	美術工芸品（歴史資料）	第二回愛知県五二会品評会 賞状	七宝地区
1929	美術工芸品（歴史資料）	美術展覧会 賞状	七宝地区
1930	美術工芸品（歴史資料）	第二回五二会品評会 賞状	七宝地区
1931	美術工芸品（歴史資料）	第三回愛知県五二会品評会 賞状	七宝地区
1932	美術工芸品（歴史資料）	第四回愛知県五二会品評会 賞状	七宝地区
1933	美術工芸品（歴史資料）	第八回新古美術品展覧会 賞状	七宝地区
1934	美術工芸品（歴史資料）	五二会全国品評会 賞状	七宝地区
1935	美術工芸品（歴史資料）	全国製産品博覧会 賞状	七宝地区
1936	美術工芸品（歴史資料）	第十二回競技会 賞状	七宝地区

NO	類 型	名 称	地 区
1937	美術工芸品（歴史資料）	第十三回競技会 賞状	七宝地区
1938	美術工芸品（歴史資料）	第十四回競技会 賞状	七宝地区
1939	美術工芸品（歴史資料）	第十五回競技会 賞状	七宝地区
1940	美術工芸品（歴史資料）	第十六回競技会 賞状	七宝地区
1941	美術工芸品（歴史資料）	第十七回競技会 賞状	七宝地区
1942	美術工芸品（歴史資料）	第二回五二会全国品評会 賞状	七宝地区
1943	美術工芸品（歴史資料）	全国貿易品博覧会 賞状	七宝地区
1944	美術工芸品（歴史資料）	美術研究大会 賞状	七宝地区
1945	美術工芸品（歴史資料）	新古美術品展覧会 賞状	七宝地区
1946	美術工芸品（歴史資料）	全国意匠工芸博覧会 賞状	七宝地区
1947	美術工芸品（歴史資料）	第二回東海実業区五県連合五二会品評会 賞状	七宝地区
1948	美術工芸品（歴史資料）	五二会臨時品評会 賞状	七宝地区
1949	美術工芸品（歴史資料）	第五回愛知県五二会品評会 賞状	七宝地区
1950	美術工芸品（歴史資料）	第一回全国窯業品共進会 賞状	七宝地区
1951	美術工芸品（歴史資料）	内国製産品共進会 賞状	七宝地区
1952	美術工芸品（歴史資料）	第一回青年研究会 賞状	七宝地区
1953	美術工芸品（歴史資料）	名古屋物産展覧会 賞状	七宝地区
1954	美術工芸品（歴史資料）	京都物産陳列大会協賛品評会 賞状	七宝地区
1955	美術工芸品（歴史資料）	第二回全国製産品博覧会 賞状	七宝地区
1956	美術工芸品（歴史資料）	第五回内国勸業博覧会 賞状	七宝地区
1957	美術工芸品（歴史資料）	愛知七宝商工同業組合人名簿	七宝地区
1958	美術工芸品（歴史資料）	セントルイス博出品記念写真	七宝地区
1959	美術工芸品（歴史資料）	七宝工房写真	七宝地区
1960	美術工芸品（歴史資料）	七宝のしおり	七宝地区
1961	美術工芸品（歴史資料）	愛知県の七宝	七宝地区
1962	美術工芸品（歴史資料）	林庄五郎翁顕彰碑式典時の写真(昭和 37 年(1962))	七宝地区
1963	美術工芸品（歴史資料）	遠安工業補習学校平面図	七宝地区
1964	美術工芸品（歴史資料）	林庄五郎翁小傳	七宝地区
1965	美術工芸品（歴史資料）	八鈕社棟札	七宝地区
1966	美術工芸品（歴史資料）	神明社棟札	七宝地区
1967	美術工芸品（歴史資料）	御みよし神社棟札	七宝地区
1968	美術工芸品（歴史資料）	棟札	七宝地区
1969	美術工芸品（歴史資料）	本堂為修覆講	美和地区
1970	美術工芸品（歴史資料）	蓮華寺本堂棟札	美和地区
1971	美術工芸品（歴史資料）	小川關治郎草稿（狂俳集など）	美和地区
1972	美術工芸品（歴史資料）	小川關治郎愛読書の数々	美和地区
1973	美術工芸品（歴史資料）	小川關治郎愛読書の数々	美和地区

NO	類 型	名 称	地 区
1974	美術工芸品（歴史資料）	小川關治郎受賞勲二等瑞宝賞	美和地区
1975	美術工芸品（歴史資料）	小川關治郎軍服	美和地区
1976	美術工芸品（歴史資料）	小川關治郎受賞の勲章の数々	美和地区
1977	美術工芸品（歴史資料）	福島正則の位牌（海福寺殿三品相公月翁正印大居士）	美和地区
1978	美術工芸品（歴史資料）	富塚学校発行の表彰状	美和地区
1979	美術工芸品（歴史資料）	地籍字分全図（海東郡木田村）	美和地区
1980	美術工芸品（歴史資料）	明治 42 年～43 年（1909～1910）頃木田商店街	美和地区
1981	美術工芸品（歴史資料）	木田商店街（大正 4 年（1915）頃）	美和地区
1982	美術工芸品（歴史資料）	木田商店街（大正 14 年（1925）頃）	美和地区
1983	美術工芸品（歴史資料）	木田商店街（昭和 10 年（1935）頃）	美和地区
1984	美術工芸品（歴史資料）	木田商店街（昭和 20 年（1945）頃）	美和地区
1985	美術工芸品（歴史資料）	木田商店街（昭和 30 年（1955）頃）	美和地区
1986	美術工芸品（歴史資料）	木田商店街（昭和 40 年（1965）頃）	美和地区
1987	美術工芸品（歴史資料）	校旗	美和地区
1988	美術工芸品（歴史資料）	美和小学校校旗	美和地区
1989	美術工芸品（歴史資料）	正則小学校校旗	美和地区
1990	美術工芸品（歴史資料）	篠田小学校校旗	美和地区
1991	美術工芸品（歴史資料）	美和中学校校旗	美和地区
1992	美術工芸品（歴史資料）	神明社棟札	美和地区
1993	美術工芸品（歴史資料）	神明社棟札	美和地区
1994	美術工芸品（歴史資料）	日吉社棟札	美和地区
1995	美術工芸品（歴史資料）	八所神社棟札	美和地区
1996	美術工芸品（歴史資料）	白山社棟札	美和地区
1997	美術工芸品（歴史資料）	白山社棟札	美和地区
1998	美術工芸品（歴史資料）	八幡社棟札	美和地区
1999	美術工芸品（歴史資料）	白山社棟札	美和地区
2000	美術工芸品（歴史資料）	白山社棟札	美和地区
2001	美術工芸品（歴史資料）	貴船社棟札	美和地区
2002	美術工芸品（歴史資料）	灌頂秘密函	美和地区
2003	美術工芸品（歴史資料）	棟札	甚目寺地区
2004	美術工芸品（歴史資料）	棟札	甚目寺地区
2005	美術工芸品（歴史資料）	棟札	甚目寺地区
2006	美術工芸品（歴史資料）	甚目寺所蔵資料一括	甚目寺地区
2007	美術工芸品（歴史資料）	光明寺所蔵資料一括	甚目寺地区
2008	美術工芸品（歴史資料）	実成寺所蔵資料一括	甚目寺地区
2009	美術工芸品（歴史資料）	釈迦院所蔵資料一括	甚目寺地区
2010	美術工芸品（歴史資料）	釈迦堂所蔵資料一括	甚目寺地区

NO	類 型	名 称	地 区
2011	美術工芸品（歴史資料）	日吉社所蔵資料一括	甚目寺地区
2012	美術工芸品（歴史資料）	漆部神社所蔵資料一括	甚目寺地区
2013	美術工芸品（歴史資料）	法性寺所蔵資料一括	甚目寺地区
2014	美術工芸品（歴史資料）	寺歴証明木片	甚目寺地区
2015	美術工芸品（歴史資料）	反魂香謡本	甚目寺地区
2016	美術工芸品（歴史資料）	大正 13 年代 遠島職業別分布図	七宝地区
2017	美術工芸品（歴史資料）	明治 31 年代 遠島付近之図	七宝地区
2018	美術工芸品（歴史資料）	昭和 29 年 遠島附近之図	七宝地区
2019	美術工芸品（歴史資料）	天保 12 年の村絵図(大字森)	甚目寺地区
2020	美術工芸品（歴史資料）	天保 12 年の村絵図(大字方領)	甚目寺地区
2021	美術工芸品（歴史資料）	天保 12 年の村絵図(大字石作)	甚目寺地区
2022	美術工芸品（歴史資料）	天保 12 年の村絵図(大字小路)	甚目寺地区
2023	美術工芸品（歴史資料）	天保 12 年の村絵図(大字新居屋)	甚目寺地区
2024	美術工芸品（歴史資料）	天保 12 年の村絵図(大字甚目寺)	甚目寺地区
2025	美術工芸品（歴史資料）	天保 12 年の村絵図(本郷)	甚目寺地区
2026	美術工芸品（歴史資料）	天保 12 年の村絵図(大字坂牧)	甚目寺地区
2027	美術工芸品（歴史資料）	天保 12 年の村絵図(大字西今宿・栄)	甚目寺地区
2028	美術工芸品（歴史資料）	天保 12 年の村絵図(大字上萱津)	甚目寺地区
2029	美術工芸品（歴史資料）	天保 12 年の村絵図(大字中萱津)	甚目寺地区
2030	美術工芸品（歴史資料）	天保 12 年の村絵図(大字下萱津)	甚目寺地区
2031	美術工芸品（歴史資料）	甚目寺図会	甚目寺地区
2032	美術工芸品（歴史資料）	小田切春江甚目寺図	甚目寺地区
2033	美術工芸品（歴史資料）	甚目寺蔵甚目寺図	甚目寺地区
2034	無形文化財	芝居	七宝地区
2035	無形文化財	安寧祈念の木	七宝地区
2036	無形文化財	男獅子	七宝地区
2037	無形文化財	手踊り	七宝地区
2038	無形文化財	ワラ細工	七宝地区
2039	無形文化財	秋竹の棒の手	七宝地区
2040	無形文化財	住吉手踊り	七宝地区
2041	無形文化財	佐織縞	美和地区
2042	無形文化財	絹織物	美和地区
2043	無形文化財	ニツ寺大根	美和地区
2044	無形文化財	ニツ寺の手踊り	美和地区
2045	無形文化財	浄瑠璃	美和地区
2046	無形文化財	刷毛生産	甚目寺地区
2047	無形文化財	福田源蔵マッチ「山源燐寸」	甚目寺地区

NO	類 型	名 称	地 区
2048	無形文化財	甘露松	甚目寺地区
2049	無形文化財	持国天を田植毘沙門	甚目寺地区
2050	無形文化財	ヒシャク集めをする赤オニ	甚目寺地区
2051	無形文化財	義太夫	あま市全域
2052	無形文化財	島畑	あま市全域
2053	無形文化財	田植え饅頭	あま市全域
2054	無形文化財	モロコずし	あま市全域
2055	無形文化財	方領大根（尾張大根）	あま市全域
2056	無形文化財	橘田茄子	あま市全域
2057	無形文化財	尾張白蕪	あま市全域
2058	無形文化財	萱津南瓜	あま市全域
2059	無形文化財	尾張節成胡瓜	あま市全域
2060	無形文化財	木折の嫁獅子（獅子芝居）	美和地区・甚目寺地区
2061	無形文化財	嫁獅子	美和地区・甚目寺地区
2062	有形の民俗文化財	沖之島文久神楽（神明社）	七宝地区
2063	有形の民俗文化財	遠島神楽（八幡神社）	七宝地区
2064	有形の民俗文化財	秋竹神楽（藤島神社）	七宝地区
2065	有形の民俗文化財	桂神楽（八剱社）	七宝地区
2066	有形の民俗文化財	伊福神楽（伊福部神社）	七宝地区
2067	有形の民俗文化財	木田八剱社 湯の花神事用湯釜	美和地区
2068	有形の民俗文化財	ダンゴモライ	美和地区
2069	有形の民俗文化財	北苅の神楽	美和地区
2070	有形の民俗文化財	篠田の神楽	美和地区
2071	有形の民俗文化財	絵馬	甚目寺地区
2072	無形の民俗文化財	獅子頭（子供獅子）	七宝地区
2073	無形の民俗文化財	下之森の正月行事	七宝地区
2074	無形の民俗文化財	下之森の春夏の行事	七宝地区
2075	無形の民俗文化財	下之森の盆の行事	七宝地区
2076	無形の民俗文化財	下之森の秋冬の行事	七宝地区
2077	無形の民俗文化財	オシタケ	七宝地区
2078	無形の民俗文化財	虫送り	七宝地区
2079	無形の民俗文化財	子供角力	七宝地区
2080	無形の民俗文化財	お天王祭	七宝地区
2081	無形の民俗文化財	お日待	七宝地区
2082	無形の民俗文化財	盆踊り	七宝地区
2083	無形の民俗文化財	地藏尊への祈願	七宝地区
2084	無形の民俗文化財	厄祝	七宝地区

NO	類 型	名 称	地 区
2085	無形の民俗文化財	還暦祝(本卦廻り)	七宝地区
2086	無形の民俗文化財	七十七の祝	七宝地区
2087	無形の民俗文化財	左義長(三毬打)	七宝地区
2088	無形の民俗文化財	八幡講	七宝地区
2089	無形の民俗文化財	地藏祭	七宝地区
2090	無形の民俗文化財	天王祭	七宝地区
2091	無形の民俗文化財	秋葉祭	七宝地区
2092	無形の民俗文化財	はな披露	七宝地区
2093	無形の民俗文化財	土用干	七宝地区
2094	無形の民俗文化財	秋葉講	七宝地区
2095	無形の民俗文化財	津島太々講	七宝地区
2096	無形の民俗文化財	金山様の秋例祭	七宝地区
2097	無形の民俗文化財	お初穂	七宝地区
2098	無形の民俗文化財	御法事	七宝地区
2099	無形の民俗文化財	講組	七宝地区
2100	無形の民俗文化財	女人講	七宝地区
2101	無形の民俗文化財	子供祭礼	七宝地区
2102	無形の民俗文化財	御太子様	七宝地区
2103	無形の民俗文化財	下田の御みよし行事	七宝地区
2104	無形の民俗文化財	宮田祭	七宝地区
2105	無形の民俗文化財	御鋤祭	七宝地区
2106	無形の民俗文化財	川部の御みよし行事	七宝地区
2107	無形の民俗文化財	新賞祭献穀栗摘穂祭	美和地区
2108	無形の民俗文化財	ダンゴモライ	美和地区
2109	無形の民俗文化財	茅の輪神事(八劔社)	美和地区
2110	無形の民俗文化財	おんか祭り(虫送り)	美和地区
2111	無形の民俗文化財	お鋤祭	美和地区
2112	無形の民俗文化財	お練りと山車	美和地区
2113	無形の民俗文化財	コンスタンチノにまつわる伝承	美和地区
2114	無形の民俗文化財	木田八剣社の力持ち石競い	美和地区
2115	無形の民俗文化財	三輪町盆踊り大会	美和地区
2116	無形の民俗文化財	三鷹金属盆踊り大会	美和地区
2117	無形の民俗文化財	正則地区盆踊り大会	美和地区
2118	無形の民俗文化財	篠田地区盆踊り大会	美和地区
2119	無形の民俗文化財	三輪地区盆踊り大会	美和地区
2120	無形の民俗文化財	三輪音頭	美和地区
2121	無形の民俗文化財	お正月	美和地区

NO	類 型	名 称	地 区
2122	無形の民俗文化財	正月三日	美和地区
2123	無形の民俗文化財	焼き餅	美和地区
2124	無形の民俗文化財	羽子板唄	美和地区
2125	無形の民俗文化財	左義長	美和地区
2126	無形の民俗文化財	蜂が刺いた	美和地区
2127	無形の民俗文化財	猫の目	美和地区
2128	無形の民俗文化財	おっさあら	美和地区
2129	無形の民俗文化財	一にたちばな	美和地区
2130	無形の民俗文化財	こうぼとけ	美和地区
2131	無形の民俗文化財	ぼんさん	美和地区
2132	無形の民俗文化財	俵のねずみ	美和地区
2133	無形の民俗文化財	おおなみなみ	美和地区
2134	無形の民俗文化財	つぼどん	美和地区
2135	無形の民俗文化財	この指とまれ	美和地区
2136	無形の民俗文化財	お稲なりさんへ	美和地区
2137	無形の民俗文化財	げんげのはな	美和地区
2138	無形の民俗文化財	かごめかごめ	美和地区
2139	無形の民俗文化財	でんでんむし	美和地区
2140	無形の民俗文化財	ほたる来い	美和地区
2141	無形の民俗文化財	がんがん	美和地区
2142	無形の民俗文化財	おっ月さま	美和地区
2143	無形の民俗文化財	お月さま	美和地区
2144	無形の民俗文化財	からすからす	美和地区
2145	無形の民俗文化財	一番はじめは	美和地区
2146	無形の民俗文化財	一もんめの一助さん	美和地区
2147	無形の民俗文化財	花いちもんめ	美和地区
2148	無形の民俗文化財	通りゃんせ	美和地区
2149	無形の民俗文化財	芋むし	美和地区
2150	無形の民俗文化財	ふくろう	美和地区
2151	無形の民俗文化財	おんま	美和地区
2152	無形の民俗文化財	草履かくし	美和地区
2153	無形の民俗文化財	大寒小寒	美和地区
2154	無形の民俗文化財	臼挽き唄	美和地区
2155	無形の民俗文化財	田の草とり唄	美和地区
2156	無形の民俗文化財	米搗き唄	美和地区
2157	無形の民俗文化財	糸紡ぎ唄	美和地区

NO	類 型	名 称	地 区
2158	無形の民俗文化財	機織唄	美和地区
2159	無形の民俗文化財	祇園祭	甚目寺地区
2160	無形の民俗文化財	天王祭	甚目寺地区
2161	無形の民俗文化財	毘沙門天奇瑞(一遍上人七日間法要)	甚目寺地区
2162	無形の民俗文化財	踊り毘沙門	甚目寺地区
2163	無形の民俗文化財	絵馬の伝記	甚目寺地区
2164	遺跡	大淵遺跡	七宝地区
2165	遺跡	桂城跡	七宝地区
2166	遺跡	お鉄砲様遺蹟	七宝地区
2167	遺跡	深田城跡	七宝地区
2168	遺跡	弓掛松	七宝地区
2169	遺跡	裾衣橋の跡	七宝地区
2170	遺跡	馬馳場	七宝地区
2171	遺跡	土産神跡	七宝地区
2172	遺跡	蜂須賀小六正勝旧宅跡	美和地区
2173	遺跡	札掛けの松跡	美和地区
2174	遺跡	福島正則生誕地	美和地区
2175	遺跡	二ツ寺神明社古墳	美和地区
2176	遺跡	蜂須賀遺跡	美和地区
2177	遺跡	篠田廃寺跡(如来遺跡)	美和地区
2178	遺跡	三位法印宅跡	美和地区
2179	遺跡	コンスタンチノの屋敷跡	美和地区
2180	遺跡	狐塚	美和地区
2181	遺跡	蜂塚	美和地区
2182	遺跡	蜂須賀城跡	美和地区
2183	遺跡	萱津古戦場跡	甚目寺地区
2184	遺跡	阿波手の森	甚目寺地区
2185	遺跡	萱津古駅(萱津の宿・萱津里)	甚目寺地区
2186	遺跡	阿弥陀寺遺跡	甚目寺地区
2187	遺跡	森南遺跡	甚目寺地区
2188	遺跡	大淵遺跡	甚目寺地区
2189	遺跡	法性寺跡	甚目寺地区
2190	遺跡	清林寺遺跡(清林寺址)	甚目寺地区
2191	遺跡	真奈長者屋敷	甚目寺地区
2192	遺跡	鴻之巣長者の屋敷跡	甚目寺地区
2193	遺跡	上野長者の屋敷跡	甚目寺地区

NO	類 型	名 称	地 区
2194	遺跡	阿波手の浦	甚目寺地区
2195	遺跡	作戦司令室跡（清洲飛行場作戦室跡）	甚目寺地区
2196	遺跡	親牧	甚目寺地区
2197	遺跡	反魂香塚	甚目寺地区
2198	遺跡	陸軍清洲飛行場跡（甚目寺飛行場）	甚目寺地区
2199	遺跡	揚山遺跡	美和地区
2200	遺跡	五反地遺跡	美和地区
2201	遺跡	東高須賀遺跡	美和地区
2202	遺跡	鬼田 A 遺跡	美和地区
2203	遺跡	ニツ寺神明社古墳	美和地区
2204	遺跡	上長遺跡	美和地区
2205	遺跡	鬼田 B 遺跡	美和地区
2206	遺跡	屋敷遺跡	美和地区
2207	遺跡	古道遺跡	美和地区
2208	遺跡	薬師寺遺跡	美和地区
2209	遺跡	伊豆明遺跡	美和地区
2210	遺跡	西屋敷遺跡	美和地区
2211	遺跡	寄附遺跡	美和地区
2212	遺跡	うしや遺跡	美和地区
2213	遺跡	山之神遺跡	美和地区
2214	遺跡	元柳遺跡	美和地区
2215	遺跡	大寺遺跡	美和地区
2216	遺跡	下郷合遺跡	美和地区
2217	遺跡	三本松遺跡	美和地区
2218	遺跡	水筒先遺跡	美和地区
2219	遺跡	中橋遺跡	美和地区
2220	遺跡	道上遺跡	美和地区
2221	遺跡	阿弥陀堂遺跡	美和地区
2222	遺跡	高代遺跡	美和地区
2223	遺跡	廻間遺跡	美和地区
2224	遺跡	杉ノ木遺跡	美和地区
2225	遺跡	内花之木遺跡	美和地区
2226	遺跡	札掛遺跡	美和地区
2227	遺跡	東浦遺跡	美和地区
2228	遺跡	清明塚	甚目寺地区
2229	遺跡	小町塚	甚目寺地区

NO	類 型	名 称	地 区
2230	遺跡	山伏塚	甚目寺地区
2231	遺跡	一里塚	甚目寺地区
2232	遺跡	庚申塚	甚目寺地区
2233	名勝地	萱津神社の社叢	甚目寺地区
2234	動物・植物・地質鉱物	御杖銀杏	甚目寺地区
2235	動物・植物・地質鉱物	連理の榊	甚目寺地区
2236	動物・植物・地質鉱物	八房梅	甚目寺地区
2237	動物・植物・地質鉱物	樅樹	甚目寺地区
2238	動物・植物・地質鉱物	カワバタモロコ	あま市全域
2239	文化的景観	宮田用水大江幹川	美和地区
2240	文化的景観	巡見街道(検見街道)	美和地区
2241	文化的景観	宮田用水新大江井筋	美和地区
2242	文化的景観	古大江用水取入口	美和地区
2243	文化的景観	ニツ寺井筋旧ニツ寺元杣	美和地区
2244	文化的景観	元ニツ寺堰杭	美和地区
2245	文化的景観	ニツ寺井筋	美和地区
2246	文化的景観	古道立切	美和地区
2247	文化的景観	証文之事(新居屋村より古道への証文)	美和地区
2248	文化的景観	指出申証文之事	美和地区
2249	文化的景観	鎌倉街道	甚目寺地区
2250	文化的景観	木曾八流	あま市全域
2251	文化的景観	宮田用水	あま市全域